DAIKIN

取扱説明書

ワイヤードリモコン
（コントロールパネル）
BRC1G シリーズ

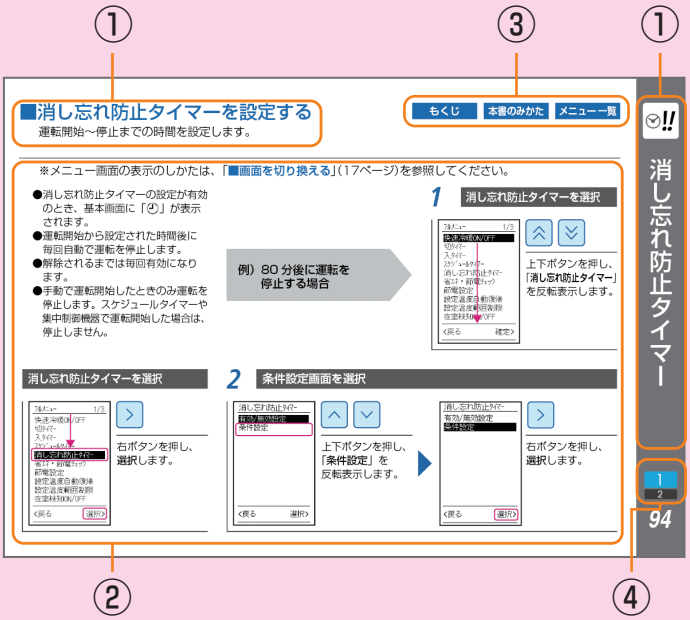
※以降、コントロールパネルについてもリモコンと表記します。

上手に使って
上手に省エネ

- このたびはワイヤードリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、リモコンの詳しい内容や注意事項を記載しております。かんたんマニュアル（本体に同梱）にて、不明な点は本書をお読みください。また、お使いになる方が代わる場合は、この取扱説明書のある弊社ウェブサイト（かんたんマニュアルにURL記載）をお伝えください。

■本書のみかたについて

本書では、メニュー機能の操作手順を
以下のとおり説明します。



①タイトル

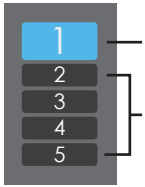
②操作手順の説明
機能ごとに操作説明をしています。

③ページリンク（PDF で見る場合）
クリックすると各項目の説明ページに移動します。

もくじ　本書のみかた　メニュー一覧

もくじ　もくじに移動します。
本書のみかた　本書のみかたに移動します。
メニュー一覧　メニュー一覧に移動します。

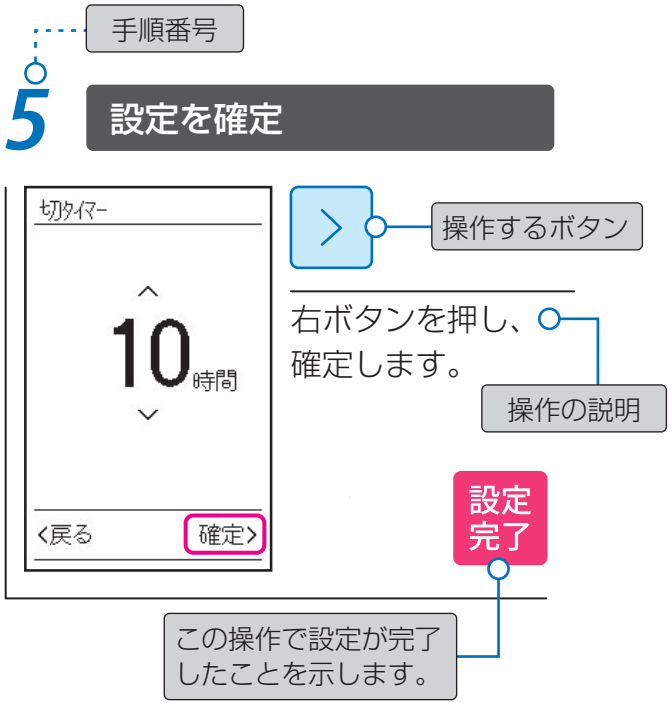
④ページナビゲーション
各項目の説明が複数ページにわたる場合、
総ページ数と現在閲覧中のページを表します。



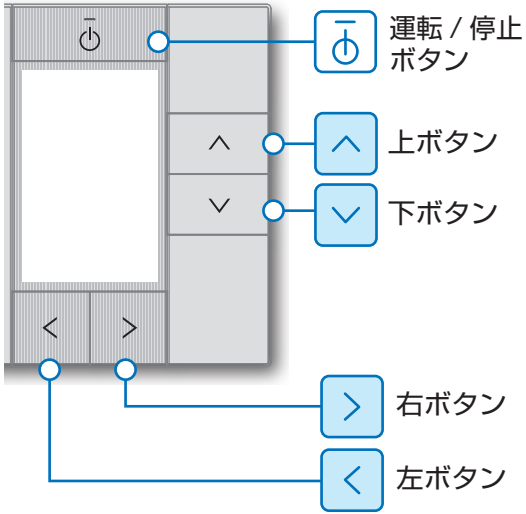
閲覧中のページです。
続きの説明ページになります。

■操作手順の説明とボタン絵表示について

この取扱説明書では、メニュー操作の手順を次のように説明します。



操作ボタンは以下の絵表示を使って
説明します。



ボタン絵表示が
こんなときは

矢印が２重
複数回押してください。

色が反転
長押ししてください。

省エネ運転がしたい

消費電力を
一定に抑えるようにしたい

節電設定を使う 100

一定時間が経過したら
設定温度を自動で戻したい

設定温度自動復帰を使う 113

設定できる
温度範囲を制限したい

設定温度範囲制限を使う 116

タイマー機能を使いたい

指定時間後に
エアコンを運転
または停止したい

入・切タイマーを使う 74,76

曜日ごとに1週間分の
スケジュールの
タイマー設定をしたい

スケジュールタイマーを使う 79

エアコンを運転するたびに
一定時間で
運転を停止したい

消し忘れ防止タイマーを使う 94

快適な設定にしたい

今すぐ
冷やしたい/暖めたい
↳ 快速冷暖ON/OFFを使う 57

自分だけ風が当たらないように吹出口ごとに
風向きを変更したい
↳ 風向個別設定を使う 58

お客様の混み具合に
合わせて温度管理をしたい
↳ スケジュールタイマーを使う 79

その他の便利な機能

液晶表示の
文字を大きくしたい
↳ ユーザモード切換を使う 152

困りごとを解決したい

便利な機能を使用したいけど

メニューに表示されていない

メニュー表示設定 → 149

冷房または暖房に変更したいけど

変更できない

冷暖選択権の設定 → 42

設定温度を変えたいけど変えられない

ある範囲以上変わらない

設定温度範囲制限 → 116

エアコンが勝手に止まってしまう

いつも決まった時間運転したあとに止まる

消し忘れ防止タイマー → 94

その他の場合

スケジュールタイマー → 79

設定温度が勝手に変わってしまう

高温みまもり → 67
スケジュールタイマー → 79
設定温度自動復帰 → 113

■ ご使用の前に

本書のみかた …… 2
目的で探す …… 4
もくじ …… 7
安全について …… 9
リモコン各部の名前と働き …… 15
液晶表示部について …… 16
画面の切換えについて …… 17
基本操作画面について …… 18
インフォメーション画面について …… 19
メニュー画面について …… 20
フルメニュー画面について …… 21
表示アイコン一覧 …… 22
表示メッセージ一覧 …… 24

■ 基本操作

基本操作について …… 28
温度設定 …… 29
運転切換(モード) …… 30
風量調節 …… 35
風向設定 …… 36
マイコンドライ運転 …… 39
換気運転 …… 41
冷暖選択権 …… 42

■ メニュー操作

メニュー操作について …… 49
メニュー一覧 …… 50
メニュー設定の有効/無効 …… 54

快適機能

サーキュレーション気流 …… 55
快速冷暖ON/OFF …… 57
風向個別設定 …… 58
風向範囲切換 …… 62
自動風あて・風よけ …… 64
自動ドラフト低減 …… 66
高温みまもりモード …… 67
静音モード …… 71

タイマー機能

切タイマー …… 74
入タイマー …… 76
入・切タイマー使用例 …… 78
スケジュールタイマー …… 79
スケジュールタイマー使用例 …… 92
消し忘れ防止タイマー …… 94

省エネ・節電機能

省エネ・節電チェック …… 96
節電設定 …… 100

エコモード設定 …… 110
設定温度自動復帰 …… 113
設定温度範囲制限 …… 116
在室検知ON/OFF …… 119
不在時省エネ運転モード …… 122
待機電力低減 …… 123
待機電力設定確認 …… 125
ディスプレイ自動OFF …… 127

制御機能

ローテーション運転 …… 128
ニオイ抑制設定 …… 131

換気

換気量 …… 134
換気モード …… 136
加湿換気 …… 138
調湿モード …… 139

初期設定

時計設定 …… 141
サービス連絡先/機種名 …… 145
設定状況一覧 …… 146
言語切換 …… 147
ピクト表示設定 …… 148
メニュー表示設定 …… 149
お好み表示 …… 150
ユーザモード切換 …… 152
コントラスト調整 …… 156
運転ランプ輝度調整 …… 157
バックライト輝度調整 …… 158

■ お手入れについて

！脱臭フィルターサインリセット …… 160
！フィルター交換サインリセット …… 161
！フィルターサインリセット …… 162
！ダストボックスサインリセット …… 163
お手入れについて …… 165

■ 知っておいてください

エラーコードの表示 …… 167
故障かな？と思ったら …… 168
アフターサービス …… 173
お客様ご相談窓口 …… 174

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
	絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		

■リモコンについて

⚠警告

禁止

●分解や改造・修理をしない
内部を手で触れると、故障や感電・火災の原因になります。
内部の点検調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。

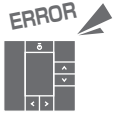
禁止

●可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）はリモコンの近くで使用しない
ベンジン・シンナーでリモコンをふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

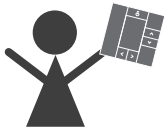
●異常時（焦げ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。



⚠注意

禁止

●リモコンで遊ばせない
誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●ぬれた手で操作しない / リモコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

■室内ユニット・室外ユニットについて

⚠警告

禁止

●長時間冷（温）風を体に直接当てない、冷やし過ぎ（暖め過ぎ）ない
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。

禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

禁止

●電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない
火災や水漏れの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。

■室内ユニット・室外ユニットについて

⚠ 警告

禁止

●別売品の取付けは、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。

アース線を接続せよ

●アース工事を行う
アースが不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

●漏電遮断器を取り付ける
取り付けないと感電や火災の原因になります。

●異常時（焦げ臭いなど）は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買い上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。

●冷媒漏れ対策は、販売店に相談する
万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように対策する必要があります。

●室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

■室内ユニット・室外ユニットについて

⚠注意

●特殊用途には使用しない
精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特殊用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。

●室外ユニットの吹出口を取り外さない
高速で回転するファンにより、けがの原因になることがあります。

●長期使用などで傷んだままの据付台を使用しない
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。

●室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

●吸込口や吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になることがあります。

●室内・室外ユニットの吸込口・吹出口やアルミフィンにさわらない
けがの原因になることがあります。

●室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない
運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口の詰りで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。

●エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

●室内ユニットの真下や近くでほかの暖房器具を使わない
暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。

●動植物に直接風を当てない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

■室内ユニット・室外ユニットについて

⚠注意

禁止

●吹出口の近くにスプレー缶などを置かない
室内・室外ユニットからの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれがあります。

禁止

●フィルター交換のときは電動機部に触れない
電動機部が熱くなっており、やけどの原因
になることがあります。

禁止

●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない
万一、ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、
発火の原因になることがあります。

禁止

●室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない
落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、
故障や発煙・発火の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

**●床置形室内ユニット・室外ユニットの上に
花びん・植木鉢など、水の入った容器を置かない**
内部に水が浸入して感電や火災の原因になる
ことがあります。

水ぬれ禁止

●室内・室外ユニットを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になる
ことがあります。

●ときどき換気を行う
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になる
ことがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。

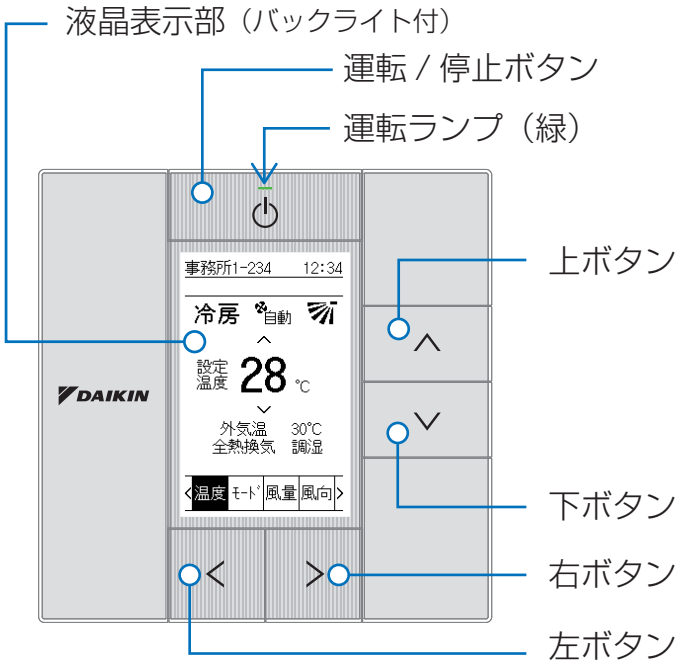
●長期間使用しないときは、電源ブレーカーを遮断する
ホコリがたまって発熱・発火の原因になる
ことがあります。

●高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒により
けがの原因になることがあります。

●ドレン配管は、確実に排水するように施工する
不備があると、屋内に水漏れし、汚れや
故障の原因になることがあります。

**●お手入れのときは必ず運転を停止し、
電源ブレーカーを遮断する**
電源を遮断しないと、感電やけがの原因
になることがあります。

■リモコン各部の名前と働き



運転 / 停止ボタン

● 1 度押すと運転し、再度押すと停止します。

運転ランプ（緑）

●運転中：緑色に点灯
●停止中：消灯
●エラー発生時：緑色で点滅

液晶表示部（バックライト付）

●操作ボタンのどれかを押すとバックライトが約 30 秒間点灯します。
●ボタン操作は、バックライト点灯中に行ってください。
（ただし、運転 / 停止ボタンを除きます。）
●1 台の室内ユニットに 2 台のリモコンが接続されている場合、先にボタン操作したリモコンのみバックライトが点灯します。
（ボタン操作については、バックライトが 消灯しているリモコンでも有効です。）

左・右・上・下ボタン

●反転表示を左右上下方向に移動するとき、または選択・設定の確定を行うときに使用します。

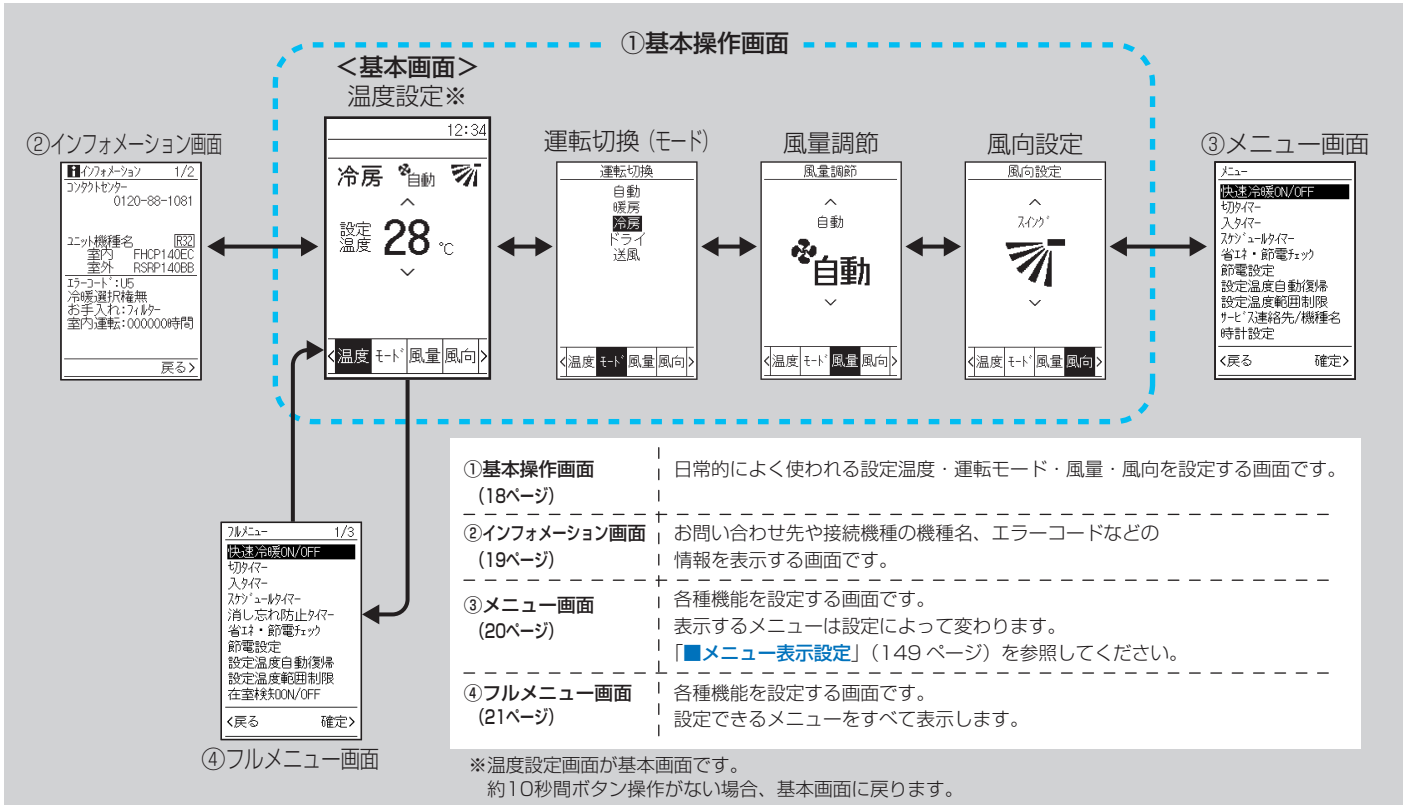
お願い

●リモコンは直射日光の当たる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
●リモコンコードを引っ張ったり、ねじったりしないでください。故障の原因になることがあります。
●リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。

■液晶表示部について

液晶表示部にはいろいろな画面が表示されます。

画面の種類と構成は次のとおりです。各画面の詳細については、下記の参照ページでご確認ください。

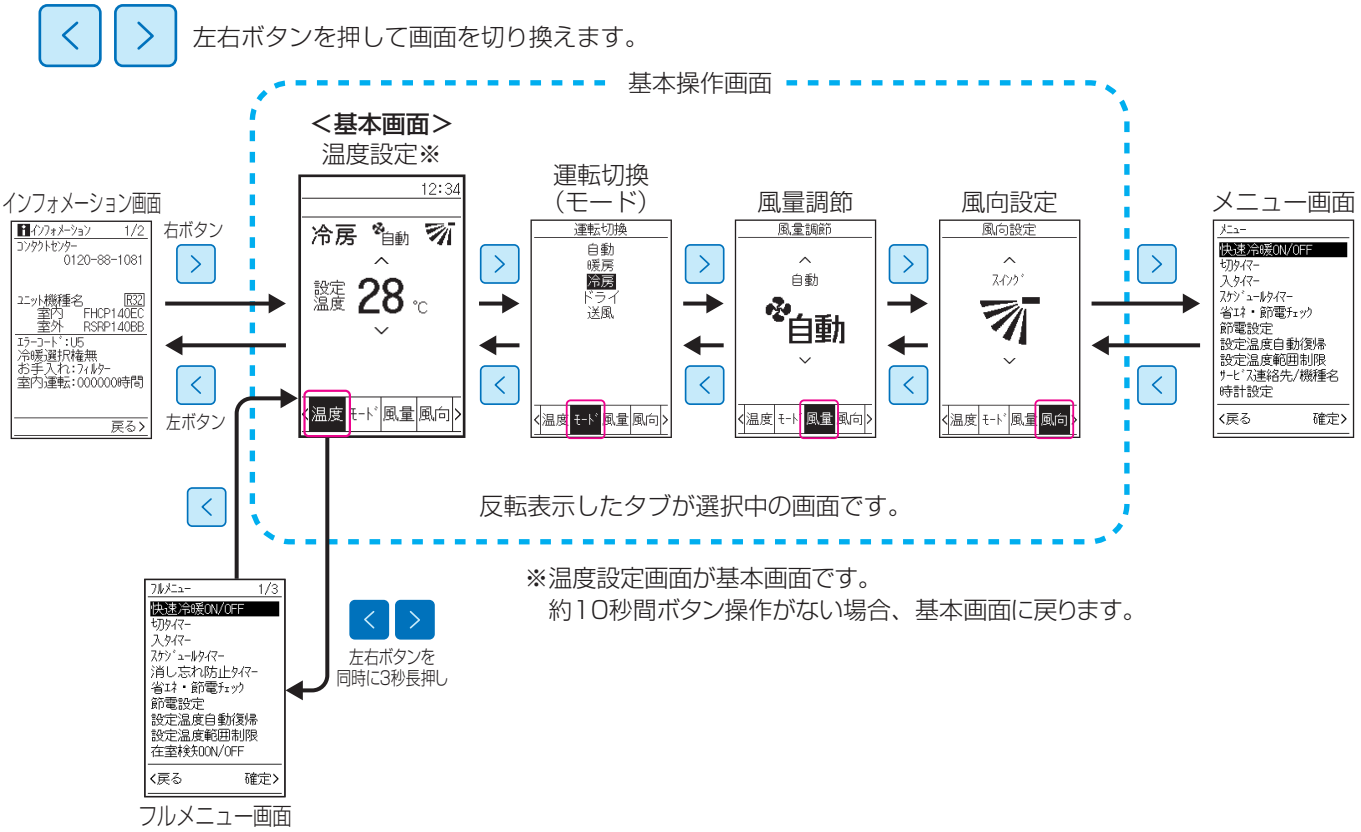


①基本操作画面（18ページ）	日常的によく使われる設定温度・運転モード・風量・風向を設定する画面です。
②インフォメーション画面（19ページ）	お問い合わせ先や接続機種の機種名、エラーコードなどの情報を表示する画面です。
③メニュー画面（20ページ）	各種機能を設定する画面です。 表示するメニューは設定によって変わります。 「**■メニュー表示設定**」（149 ページ）を参照してください。
④フルメニュー画面（21ページ）	各種機能を設定する画面です。 設定できるメニューをすべて表示します。

※温度設定画面が基本画面です。
約10秒間ボタン操作がない場合、基本画面に戻ります。

■画面を切り換える

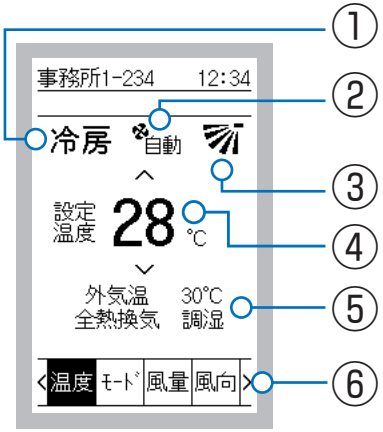
画面の切換えは、左右ボタンを使います。



■基本画面について

基本操作画面は、「**温度**」・「**モード**」・「**風量**」・「**風向**」を設定する４種類の画面があります。
このうち「**温度**」画面は、下記のとおり「**基本画面**」とも呼ばれ、運転開始直後や一定時間ボタン操作がない場合に表示される画面です。

（詳細画面の例）



＜基本画面＞

●基本画面のユーザ別表示設定には、「**標準**」・「**詳細**」・「**ホテル向け**」・「**かんたん**」の４種類があります。初期設定は標準表示になっています。
●表示設定の切換えはフルメニューのユーザモード切換で変更します。
●連動する機器の運転モードにより、画面表示内容は異なります。
（上記の画面は、連動する調湿ユニットが調湿運転しているときの表示です。）

基本画面の表示説明

① 運転モード

●運転状態（「**冷房**」・「**暖房**」・「**換気**」・「**送風**」・「**ドライ**」・「**自動**」）を表示します。

② 風量

●設定した風量を表示します。
●風量調節がない機種の場合は表示しません。

③ 風向

●設定した風向 / 風向スイングを表示します。
●風向設定がない機種の場合は表示しません。
●運転中のみ表示します。

④ 設定温度

●設定温度を表示します。

⑤ お好み表示（換気モード・調湿モード・清浄表示）

●標準表示画面は１項目、詳細表示画面は２項目が表示可能です。全熱交換器ユニットと連動している場合は、換気モードが表示され、調湿外気処理ユニットと連動している場合は、調湿モードが表示されます。空気清浄ユニット（除菌・脱臭を含む）が接続されているときは「清浄」を表示します。

⑥ 操作タブ

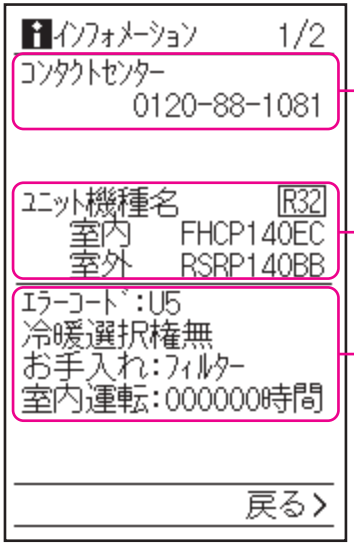
●左右ボタンを押して各タブに移動します。
反転表示したタブが選択中の画面です。

温度	温度設定（基本画面）	風量	風量調節画面
ﾓｰﾄﾞ	運転切換（モード）画面	風向	風向設定画面

■インフォメーション画面について

お問い合わせ先やエラーコードなどの情報を表示します。

※インフォメーション画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。



上段

- ●サービス連絡先
- ●ご使用中のユニット機種名

下段

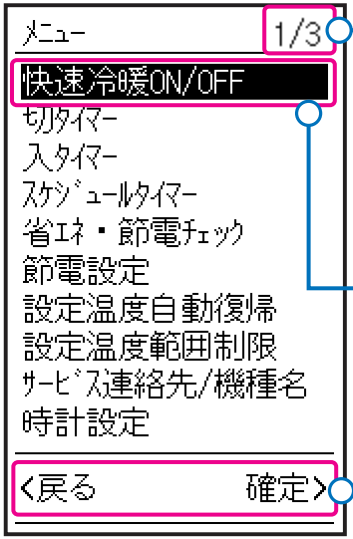
- ●エラーコード
- ●現在の設定状況
- ●交換・お手入れ情報
- ●本取扱説明書をダウンロードできる弊社ウェブサイトへリンクするQRコードなど

上下ボタンを押すと**下段**の画面が切り換わります。

■メニュー画面について

お使いのユニットや機種により設定できる項目が異なります。

メニューの種類は「**■メニュー 一覧**」(50ページ)を参照してください。



現在の画面 / 画面総数

表示項目が 11 件以上ある場合に「**1/2**」や「**1/3**」と表示されます。

1 行目が反転表示しているときに ∧ ボタンで前の画面に変わります。

10 行目が反転表示しているときに ∨ ボタンで次の画面に変わります。

反転表示

現在選択している項目です。

∧ ∨ ボタンで移動します。

操作ボタンガイド

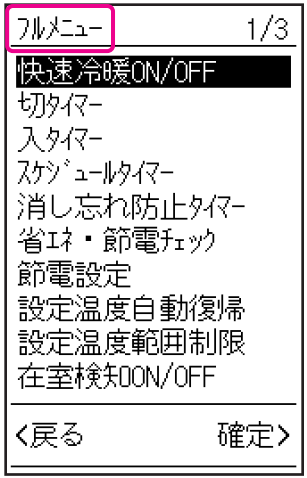
< > ボタンの操作が有効なときに表示します。

■フルメニュー画面について

お使いのユニットで設定可能なメニューをすべて表示します。

メニュー画面の表示設定は、「標準」と「詳細」を選ぶことができます。「**■メニュー表示設定**」（149ページ）
「標準」表示設定にしている場合に、表示中のメニュー以外の項目を設定したいときは、
フルメニュー画面を表示して設定操作してください。

基本画面を表示した状態で、左右ボタンを同時に**3秒長押し**します。



フルメニュー画面が表示されます。

■アイコンが表示されたとき

エアコンの設定状況がアイコンで表示されます。
※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

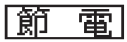
タイマー（設定中）

入切タイマー・スケジュールタイマー・消し忘れ防止タイマーのいずれかが設定されています。

時計未設定

時計設定が必要です。

節電運転　設定中



節電機能（節電モード・最大出力・節電スケジュール）で能力を制限した「**節電運転**」が設定されています。

節電運転　動作中

設定した「**節電運転**」が動作中です。

高温みまもりモード

運転停止中に室温が高くなりすぎた場合、自動で冷房運転を開始します。
30 分間の運転後、自動で運転を停止します。

静音モード

静音性を優先して運転しています。

静音モード　無効

時計設定が必要です。
（静音モードが有効でない状態です。）

ローテーション運転

エアコンの運転時間が偏らないように、1 システムずつ順番に停止します。
（グループ制御のみ）

バックアップ運転中

室外ユニットの圧縮機が 1 台故障して残りの圧縮機だけで運転しています。

R32 冷媒使用

R32 冷媒を使用したシステムです。
R410A 冷媒に比べ、環境対応性に優れます。

エコモード　設定中

消費エネルギーを抑えた「**エコモード**」が設定されています。

エコモード　運転中

設定した「**エコモード**」で運転中です。

ナイトパージ運転

「**ナイトパージ運転**」を行っています。
（全熱交換器ユニット・調湿ユニットを連動させている場合）注 1）

24 時間換気

「**24 時間換気運転**」を行っています。
（全熱交換器ユニット・調湿ユニットを連動させている場合）注 1）

冷暖選択権無

この表示のあるリモコンでは冷暖房の運転モードを切換えできません。

注1）機能をもっているユニットであっても表示されない場合があります。

■アイコンが表示されたとき

ピクト表示設定をONにすると、タブや運転モードがアイコンで表示されます。
また、英語モードでは一部のモード表示がアイコン化されます。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

操作タブ							
	温度設定		運転切換(モード)		風量調節		風向設定

運転モード					
	自動(暖房)		自動(冷房)		暖房
	冷房		ドライ		送風
	換気		清浄		換気清浄

全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニット接続時の英語モードで表示されるアイコン

換気モード					
	全熱交換		普通換気		自動換気

調湿モード							
	調湿		換気		除湿		加湿

■メッセージが表示されたとき

液晶画面に下記のメッセージが表示されることがあります。
※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

本機能はありません	接続中のユニットはこの機能に対応していません。 または、現在の運転モードにより機能が制限されています。
ｴﾗｰ:＜を押す 警報：＜を押す	エラーを検知したときに表示します。 ＜ ボタンを押して、インフォメーション画面に表示している「エラーコード」「機種名」を確認し、「サービス連絡先」または「コンタクトセンター」にご連絡ください。
ｴﾗｰ発生中 警報発生中	ユーザモードが「ホテル向け」「かんたん」の場合に、エラーを検知したときに表示します。 ＜ ボタンを3秒長押しして、インフォメーション画面に表示している「エラーコード」「機種名」を確認し、「サービス連絡先」またはコンタクトセンターにご連絡ください。
快速冷暖	快速冷暖モードがONに設定されています。
除霜/ﾎｯﾄｽﾀｰﾄ	除霜運転またはホットスタートを行っています。
換気運転中	24時間換気やナイトパージが動作している場合、運転停止中でも換気運転を行っているときに表示します。
換気待機中	冷房(暖房)運転開始直後に、エネルギーロスを軽減するために換気運転を一時的に停止しているときに表示します。
ﾌｨﾙﾀｰ自動清掃中	フィルターを自動で清掃しています。
脱臭ﾌｨﾙﾀｰ交換	脱臭フィルターの交換時期です。
ﾎｺﾘ回収	ダストボックスのホコリが満タンです。ホコリ回収が必要です。
ﾌｨﾙﾀｰ交換	フィルターの交換時期です。
ﾌｨﾙﾀｰ/ｴﾚﾒﾝﾄお手入れ	フィルターとエレメントのお手入れ時期です。

■メッセージが表示されたとき

液晶画面に下記のメッセージが表示されることがあります。
※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

ﾌｨﾙﾀｰお手入れ	フィルターのお手入れ時期です。
ｴﾚﾒﾝﾄお手入れ	エレメントのお手入れ時期です。
時計設定が必要です	(停電などにより)時計設定がリセットされました。　再度、時計設定を行ってください。
待機電力未設定	待機電力低減機能を使用するためには、室外ユニットの設定が必要です。 現在は室外ユニットが設定されていない状態です。
冷暖選択権無	この表示のあるリモコンでは冷暖房の運転モードを切換えできません。
冷房専用設定中	室外ユニットが冷房専用に設定されており、暖房モードが選択できない場合に表示されます。
集中管理中 このﾘﾓｺﾝからは 操作できません	集中制御機器(別売品)で管理されているため、この表示のあるリモコンからできない操作をしようとしたときに表示します。
時計設定を行って ください	時計設定が未設定です。選択したメニューはリモコンの時計を設定する必要があります。 時計設定メニューで、現在の時刻を設定してください。「**■時計を設定する**」(141ページ参照) (時計設定が必要なメニュー：スケジュールタイマー、節電スケジュール、 フィルター自動清掃設定、静音モード)
接続確認中 しばらく お待ちください	始動直後に表示されます。しばらくすると基本画面を表示します。
冷暖選択権を取得するには 上ﾎﾞﾀﾝを押してください	上ボタンを押すと、このリモコンに冷暖選択権が設定され、 ご希望の運転切換操作が可能となります。『冷暖選択権無』の表示は消えます。

■メッセージが表示されたとき

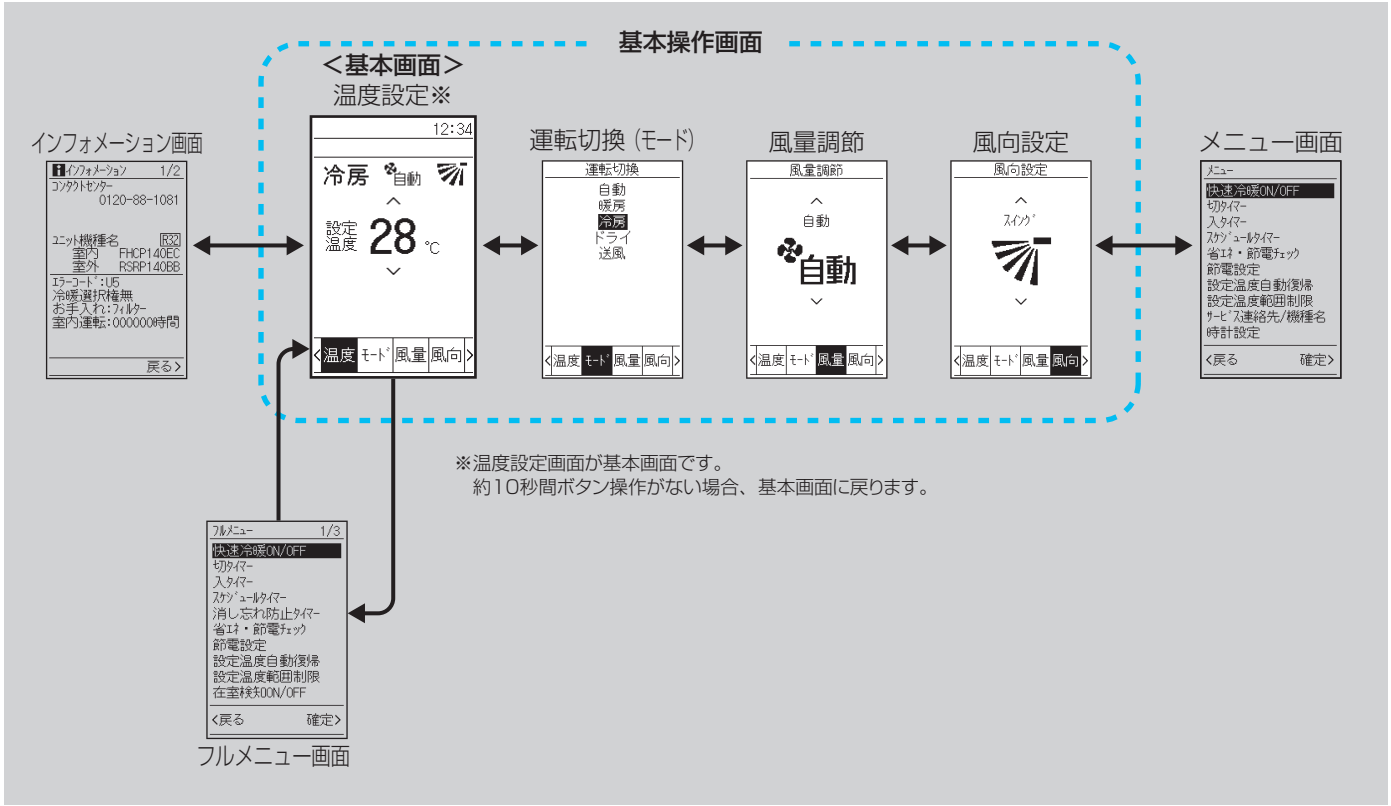
液晶画面に下記のメッセージが表示されることがあります。
※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

ﾌｨﾙﾀｰ清掃時期です 2回に1回は全熱交換器の ｴﾚﾒﾝﾄも清掃して ください	フィルターの清掃時期になりました。フィルターを清掃してください。 また２回に１回は全熱交換器のエレメントも清掃してください。
ﾌｨﾙﾀｰ自動清掃禁止に 設定されています ﾌｨﾙﾀｰ自動清掃試運転 を行うことが できません	設定によりフィルター自動清掃が禁止されています。フィルター自動清掃禁止を 解除するには、お買い上げの販売店にご相談ください。
待機電力低減機能を 使用するためには 室外ﾕﾆｯﾄの設定が 必要です 設定する場合は 販売店にご連絡 ください	待機電力低減機能が使えるシステムですが、室外ユニットの設定がされていないお知らせです。 待機電力を使用する場合は、「**前画面に戻る**」を選んだうえで、お買い上げの販売店に ご依頼ください。 待機電力を使用しない場合は、「**設定しない**」を選んでください。

基本操作

■基本操作について

基本操作画面では、設定温度・運転モード・風量・風向の設定ができます。



■設定温度を変更する

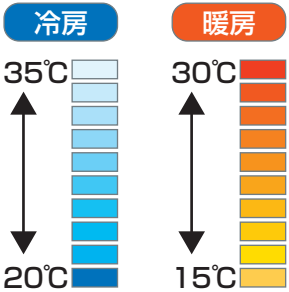
（スカイエア・ビル用マルチの場合）

準備

●機械保護のため、運転を開始する 6 時間以上前に電源を入れてください。
●シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。

1 設定温度を変更

上ボタンを押すごとに 1℃ずつ上がり、下ボタンを押すごとに 1℃ずつ下がります。



●設定可能範囲は
冷房 20 ～ 35℃、暖房 15 ～ 30℃です。
（外気処理エアコンの場合は
冷房 13 ～ 25℃、暖房 18 ～ 30℃）
※機種によっては上記以外の場合もあります。

●送風運転の場合は設定できません。

■運転モードを切り換える
（冷房・暖房・自動・ドライ・送風）（スカイエア・ビル用マルチの場合）

※運転切換（モード）画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

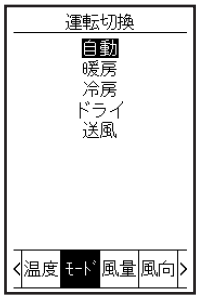
準備

- **機械保護のため、運転を開始する 6 時間以上前に電源を入れてください。**
- **シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。**

お願い

- 運転の切換えは『**冷暖選択権無**』の表示のないリモコンで行ってください。
  表示のあるリモコンでは冷房・暖房の切換えができません。
  『**冷暖選択権無**』の表示が点滅している場合は、「**■冷暖選択権とは**」（42 ページ）を参照してください。

1 運転モードを変更



上下ボタンを押し、「**自動**」・「**暖房**」・「**冷房**」・「**ドライ**」・「**送風**」のうちご希望の運転に切り換えます。

- 設定できない運転モードは表示されません。
- 冷房専用タイプの場合は「**冷房**」・「**ドライ**」・「**送風**」のみ設定可能です。
- ビル用マルチの場合、冷暖同時運転システムのみ「**自動**」の設定が可能です。
- ビル用マルチの冷房専用システムの場合はすべてのリモコンに『**冷暖選択権無**』の表示が出ますが、「**冷房**」・「**ドライ**」・「**送風**」のみ設定可能です。
- 機種によって設定できる運転モードは異なります。

■運転モードを切り換える
（冷房・暖房・自動・ドライ・送風）（スカイエア・ビル用マルチの場合）

使用条件

スカイエア

運転モード	タイプ		使用条件（室内ユニット吸込空気）	
			温度	湿度
冷　房	冷暖房兼用 冷房専用		21～32℃	80%以下
暖　房	冷暖房兼用		15～27℃	—
自　動	冷暖房兼用	冷 房	21～32℃	80%以下
		暖 房	15～27℃	—

ビル用マルチ

運転モード	タイプ		使用条件（室内ユニット吸込空気）	
			温度	湿度
冷　房	冷暖房兼用 冷房専用		21～35℃ 注)2	80%以下
暖　房	冷暖房兼用		15～27℃	—
自　動	冷暖房兼用	冷 房	21～35℃ 注)2	80%以下
		暖 房	15～27℃	—

注)1. 室外ユニットの使用条件は接続する室外ユニットにより異なります。
室外ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。
2. 水熱源ユニットに接続した場合の室内使用温度条件は、21～32℃です。
3. ビル用マルチ外気処理エアコンの使用条件は、当該機種の取扱説明書をご覧ください。

上記以外の使用条件で長時間運転すると、安全装置が働き運転しないことや室内ユニットから露が落ちたり、または室内ユニット内部で凍結し、水漏れの原因になることがあります。

■運転モードを切り換える
（冷房・暖房・自動・ドライ・送風）（スカイエア・ビル用マルチの場合）

運転の内容と働き

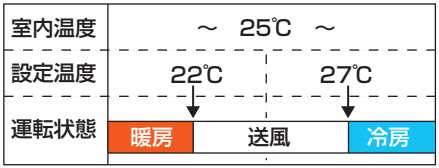
冷房 おすすめ設定温度は、26～28℃です。

暖房 おすすめ設定温度は、18～23℃です。

送風 室内の空気を循環させます。

自動
（冷暖自動）
- ●運転中、ある室内温度を境に冷房運転 ←→ 暖房運転が自動で切り換わります。
- ●設定温度は変更できますが、運転内容が切り換わると設定温度も自動で変更します。
  （室温を一定に保つ運転ではありません。）
  「**自動冷房**」→「**自動暖房**」時は5℃設定温度が下がります。
  「**自動暖房**」→「**自動冷房**」時は5℃設定温度が上がります。
- ●「**自動**」運転にすると設定温度に対して体感温度の補正を行うので、
  年間を通じて快適さを保ちながらさらに省エネ運転ができます。

（例）「**自動冷房**」で27℃にセットされた状態から、室内温度が下がり25℃以下になると「**自動暖房**」に切り換わります。
そのとき、設定温度は22℃に変更され、送風運転になり、さらに室内温度が下がり22℃以下になったところで暖房運転が始まります。暖房→冷房のときも同様になります。



- ●ビル用マルチ外気処理エアコンに関しては、当該機種の取扱説明書をご覧ください。

■運転モードを切り換える
（冷房・暖房・自動・ドライ・送風）（スカイエア・ビル用マルチの場合）

冷房運転の特性（冷房・自動冷房運転）

●水平吹出しまたは下吹出しの状態で連続運転した場合、風向羽根に結露しないように一定の間、設定と異なる風向で運転します。（リモコンには設定した風向が表示されます。）
●室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が付き冷房能力が下がる場合があります。その場合、しばらくの間、自動で除霜運転を行います。除霜運転中に溶けた水が飛ぶのを防ぐため、風量「弱」運転になります。（リモコンには設定した風量が表示されます。）
●外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。
※機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

■運転モードを切り換える
（冷房・暖房・自動・ドライ・送風）（スカイエア・ビル用マルチの場合）

暖房運転の特性（暖房・自動暖房運転）

運転開始について

●一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

除霜運転

（室外ユニットの霜取り運転）

●室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するため、除霜運転に自動で切り換わります。
●温風が止まり、リモコンに「**除霜/ホットスタート**」が表示されます。
●約6～8分（最長15分）で、元の運転に戻ります。
●除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。
●特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがする場合があります。

ホットスタート

●暖房運転開始時、除霜運転時など、冷たい空気が吹き出すのを防ぐため送風を停止します。
このときリモコンに「**除霜/ホットスタート**」と表示します。
●約6～8分（最長15分）で、元の運転に戻ります。

弱風量運転

●暖房運転時に冷たい空気が吹出すのを防ぐために自動で弱風量になる場合があります。
（リモコンには設定した風量が表示されます。）

外気温度と暖房能力について

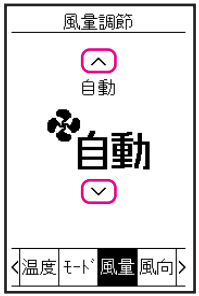
●外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。このような場合はほかの暖房器具を併用してお使いください。
（燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。）エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
●温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ（室内循環用ファン）のご使用をおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
●室内温度が設定温度以上になった場合、エアコンの風は微風運転になります。（リモコンには設定した風量・風向が表示されます。）

■風量を変更する

※風量調節画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

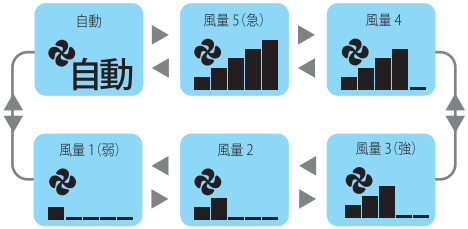
●室内ユニットの種類により「**弱**」「**強**」の２段階調節の場合もあります。
●自動 は設定温度と室温により風量を調節しています。
　ただし、送風運転時は「**風量 3(強)**」または「**強**」と同じ風量になります。
　(室内ユニットの機種により本機能がない場合があります。)
●機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
●室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。
　またファンが停止することがありますが、異常ではありません。
●風量の切換完了まで数秒かかる場合がありますが、異常ではありません。

1 風量を変更

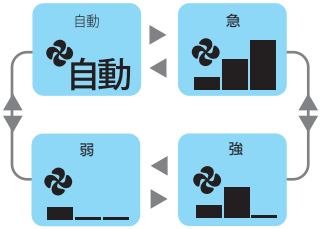


上下ボタンを押し、
お好みの風量に
切り換えます。

●ボタンを押すごとに以下の順に変わります。



5 段階時

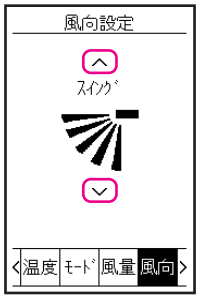


3 段階時

■風向を変更する

※風向設定画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

1 風向を変更

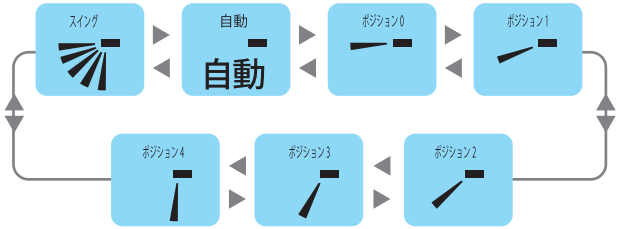


上下ボタンを押し、
お好みの風向に
切り換えます。

●「**スイング**」は風向羽根をポジション0からポジション4の範囲で往復動作します。
●「**自動**」は風向を室温や人の有無により変化させます。
　ただし、送風運転時は「**ポジション0**」になります。
　(室内ユニットの機種により本機能がない場合があります。)
●風向を固定する場合は5段階(ポジション0～4)のうちでご希望の位置を選択します。
●風向個別設定については、「**■風向を個別に設定する**」(58ページ)を参照してください。

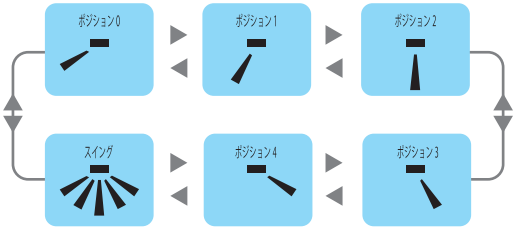
上下風向

ボタンを押すごとに以下の順に変わります。



左右風向

ボタンを押すごとに以下の順に変わります。

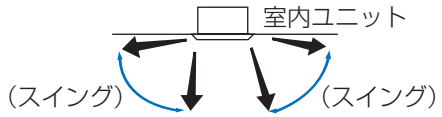


■風向を変更する

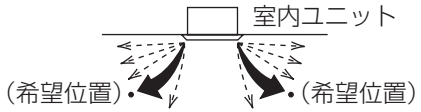
風向設定について

風向設定には基本的に次の3通りがあります。

風向スイング 機械が自動で風向羽根を上下させます。



風向固定 ご希望の位置に風向を5段階に固定することができます。
（風向羽根の角度ではありません。）



風向自動 室温や人の有無により、風向を自動で変化します。
本機能は機種によってはないものがあります。

機種によっては、リモコンの「風向個別設定」メニューで、吹出口ごとに風向を設定することができます。
風向個別設定については、「■風向を個別に設定する」（58ページ）を参照してください。

風向個別 上記、3通りの風向を吹出口ごとに設定することができます。
本機能は機種によってはないものがあります。

■風向を変更する

上下風向羽根の動きについて

下記の運転状態のときは自動で風向をコントロールするので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	
	●設定温度より室温が高いとき(暖房運転の場合) （風が直接体に当たらないように水平吹出しとなります。） **●暖房運転開始時、除霜運転時(暖房運転の場合)** （冷風が直接体に当たらないように水平吹出しとなります。） **●下吹出しの状態で連続運転したとき**（※1） （風向羽根が結露しないように一定の間、自動設定された風向に吹き出します。） **●水平吹出しの状態で連続運転したとき**（※2） （風向羽根が結露しないように一定の間、自動設定された風向に吹き出します。） **●スマート学習節電機能が有効なとき** （工場出荷時は冷房運転時「スイング」、暖房運転時「水平吹き」です。） **●自動風あて・風よけ機能が有効なとき** （人を検知して、風向を自動で設定します。） **●自動ドラフト低減機能が有効なとき** （人を検知して、風が直接体に当たらないように、吹出し風向を水平にします。） **●ニオイ抑制設定が有効なとき** （においが出ることを抑えるために一定の間、水平吹出しになる場合があります。） **●エコモードが有効で室温が設定温度に近いとき(暖房運転の場合)** （風が直接体に当たらないように、一定の間、水平吹出しになります。）

暖房運転は、「自動」運転の場合も含みます。
（※1、2)機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。

■マイコンドライ運転について

冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返し、
温度と風量を自動でコントロールすることで湿気を取ります。

準備

●機械保護のため、運転を開始する 6 時間以上前に電源を入れてください。
●シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。
●冷暖選択権のないリモコンでは「ドライ」への切換えができない場合があります。
（詳しくは「■冷暖選択権とは」（42 ページ ）を参照してください。）

マイコンドライ運転について

●室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、ドライ運転開始時の室内温度が設定温度になります。
そのとき風量・温度を自動で設定するため、リモコンには風量・設定温度の表示はされません。
室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。
室内温度が下がった場合、エアコンの風が止まる場合があります。
●水平吹出しまたは下吹出しの状態で連続運転した場合、風向羽根に結露しないように一定の間、
設定と異なる風向で運転します。（リモコンには設定した風向が表示されます。）
●室内温度が低い状態でマイコンドライ運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が付く場合があります。
その場合、しばらくの間、自動で除霜運転を行います。
※機種によって異なりますので、室内ユニットの取扱説明書をご確認ください。
●ビル用マルチの場合、エコモード設定中は一定時間で冷房運転に切り換わります。
（運転停止を抑制し、システム全体で省エネ運転を行うためです。）

お願い

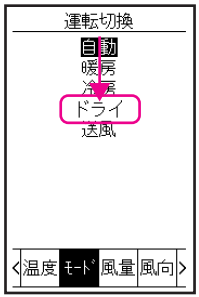
●冷えすぎる場合は、いったん運転を停止し、適温になってから再度マイコンドライ運転をしてください。
※室温が 20℃以下の場合、マイコンドライ運転はできません。

■マイコンドライ運転を設定する

冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返し、
温度と風量を自動でコントロールすることで湿気を取ります。

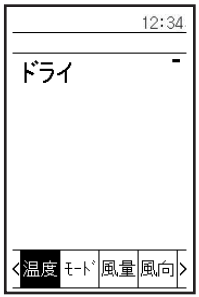
※運転切換(モード)画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

1 ドライモードに設定



上下ボタンを押し、
「**ドライ**」を
反転表示します。

2 運転を開始



運転/停止ボタンを
押します。
マイコンドライ運転
を開始します。
運転ランプ(緑)が
点灯します。

運転を開始

※温度と風量はマイコンが自動で
コントロールするので、運転中は
リモコンでの設定はできません。
※室温が 20℃以下のときは
マイコンドライ運転はできません。
※湿度の設定はできません。

■換気運転をする

（エアコンと全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットを連動させている場合）

※運転切換（モード）画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

準備

- **機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。**
- **シーズン中は電源を遮断しないでください。始動を円滑にするためです。**

- 全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットと連動している場合、これらのユニットのみ運転するときは「換気」を選択してください。
  全熱交換器ユニットは「換気モード」、調湿外気処理ユニットは「調湿モード」にて、各ユニットの詳細の動作を設定できます。

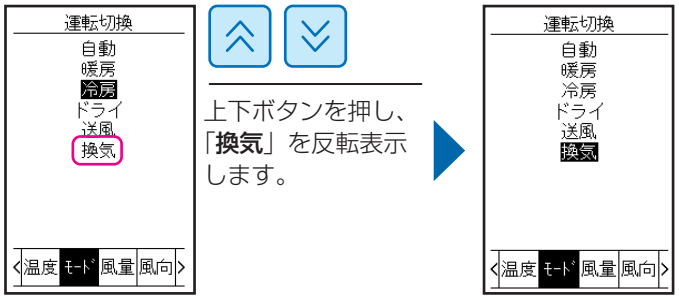
換気モードについて

換気モードの設定は、「**■換気モードを設定する**」（136 ページ）を参照してください。

調湿モードについて

調湿モードの設定は、「**■調湿モードを設定する**」（139 ページ）を参照してください。

1 換気を選択



上下ボタンを押し、「**換気**」を反転表示します。

2 運転を開始

運転 / 停止ボタンを押し、換気運転を開始します。
運転ランプ（緑）が点灯します。

■冷暖選択権とは（ビル用マルチのみ）

1 台の室外ユニットまたは BS ユニットに、複数の室内ユニットが接続されている場合、特定の室内ユニットに運転モードの切換権限をもたせることで、ほかの室内ユニットの運転切換を制御することができます。

●「**冷暖選択権**」を設定したリモコンだけが、運転モード「**冷房**」・「**暖房**」・「**自動**」を選択することができます。
（「**自動**」はビル用マルチの冷暖同時運転システムのみ選択可能です。）
●「**冷暖選択権**」をもたないリモコンは、選択権をもつリモコンの運転モードに追従します。
●「**冷暖選択権**」の設定、解除は、実際に選択権をもつリモコンと選択権を設定したいリモコン本体による設定が必要です。

冷暖選択権をもつリモコン / もたないリモコンでできる運転モード

選択権をもつリモコン または冷暖切換リモコンの運転モード	選択権をもたないリモコンが 選択できる運転モード
暖房・自動（※ 1）による暖房	暖房・送風
冷房・自動（※ 1）による冷房	冷房・ドライ・送風
ドライ（※ 1）	ドライ・冷房・送風
送風	送風

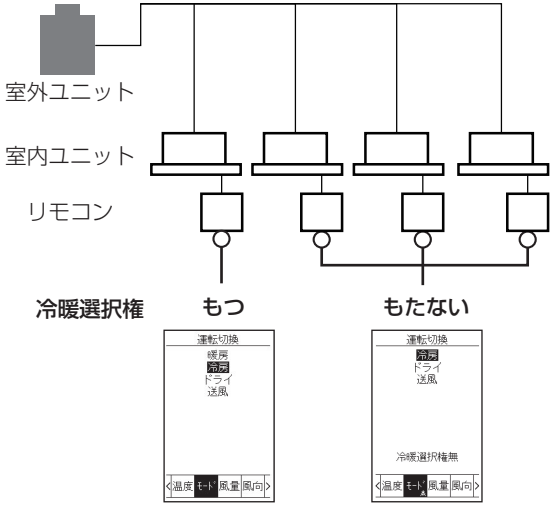
（※ 1）接続する機種によっては、「**自動**」・「**ドライ**」の運転モードがないものがあります。

■冷暖選択権の設定例（ビル用マルチのみ）

次のような場合には１台のリモコンに冷暖選択権を設定する必要があります。
ビル用マルチで同一の室外ユニットまたは冷暖同時システムで１台のＢＳユニットに複数の室内機が接続されている場合

冷暖切換運転システム

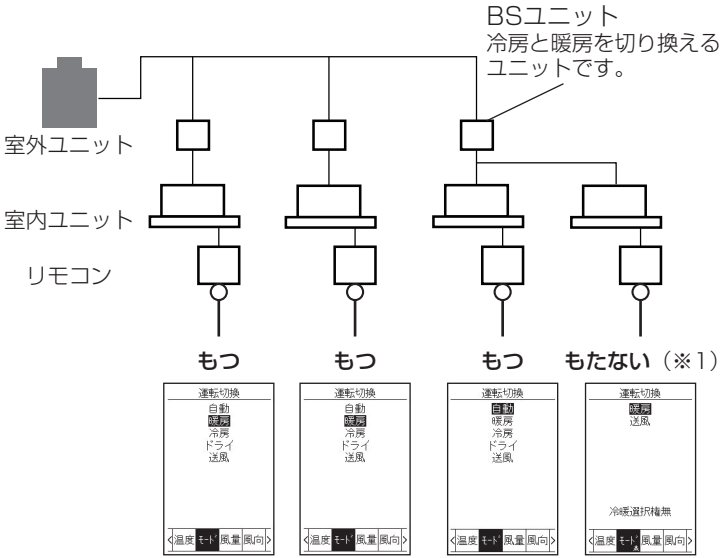
1台の室外ユニットに複数台の室内ユニットが接続されている場合
これらのリモコンのうちの1台に、冷房・暖房・送風の
選択権を設定します。



●冷暖選択権を**もたない**リモコンは、選択可能な
運転モードが限定されます。

冷暖同時運転システム

1台のBSユニットに複数台の室内ユニットが接続されている場合
これらのリモコンのうちの1台に、冷房・暖房・自動・送風の
選択権を設定します。



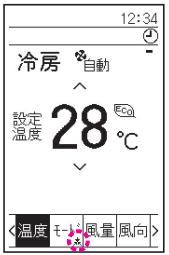
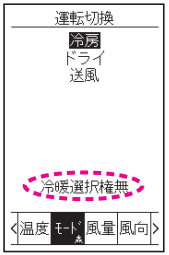
（※1）冷暖選択権をもつリモコンが「**自動**」を選択し、暖房運転（自動暖房）
になったときの冷暖選択権をもたないリモコンの表示

■冷暖選択権の確認方法（ビル用マルチのみ）

冷暖選択権をもつリモコンともたないリモコンは、基本画面または運転切換（モード）画面で判別することができます。

同一の室外ユニットまたは BS ユニットにつながっている室内ユニットのリモコンのうち、冷暖選択権をもつリモコンは 1 台のみです。
冷暖選択権をもつリモコンだけが「**冷房**」·「**暖房**」·「**自動**」を選択できます。　（「**自動**」は冷暖同時運転システムのみ可能です。）

表示のちがい

	冷暖選択権を**もつ**リモコン	冷暖選択権を**もたない**リモコン
基本画面		 **ポイント** 冷暖選択権をもたないリモコンだけに、「**モード**」の部分に下記のマークがつきます。
運転切換（モード）画面		 **ポイント** 冷暖選択権をもたないリモコンだけに、「**冷暖選択権無**」を表示します。 冷暖選択権をもたないリモコンは、選択できる運転モードが限定されるため、表示する運転モードも少なくなります。

※冷暖選択権を変更する場合は、まず冷暖選択権をもつリモコンを特定し、選択権を解放する必要があります。

■冷暖選択権を解放する

冷暖選択権を変更する場合は、まず冷暖選択権をもつリモコンを特定し、選択権を解放する必要があります。

※冷暖選択権をもつリモコンともたないリモコンのちがいは、「■冷暖選択権の確認方法」(44ページ)を参照してください。

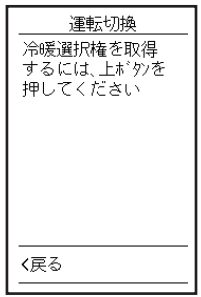
ご注意

●この手順は**冷暖選択権をもつリモコン**での操作です。
●初めて電源を入れたときは、冷暖選択権は未設定（すべてのリモコンが冷暖選択権をもたない）の状態です。
●１系統の中で、必ず１台のリモコンに冷暖選択権を設定してください。
すべてのリモコンに冷暖選択権が設定されていない場合、どのリモコンからも運転モードを変更することができません。

1 冷暖選択権の解放

右ボタンを押し、運転切換（モード）画面を表示します。

上ボタンを５秒以上長押しします。



冷暖選択権が解放されました。
同一系統内のリモコンすべてがこの表示になります。

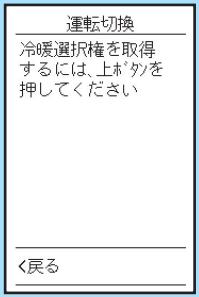
■冷暖選択権を設定する

冷暖選択権が解放中のときに、設定することができます。

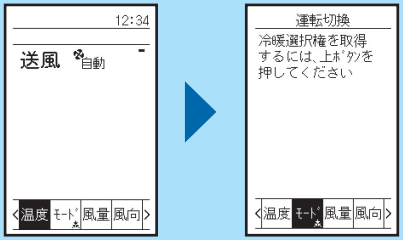
※冷暖選択権を解放する方法は、「**■冷暖選択権を解放する**」(45ページ)を参照してください。

ご注意

●この手順は、冷暖選択権が解放中に、
冷暖選択権を設定したいリモコンでの操作です。
●初めて電源を入れたときは、
冷暖選択権は未設定の状態です。
●解放中のリモコン画面は、つぎのメッセージを
表示しています。(左記画面参照)
「冷暖選択権を取得するには、上ボタンを押してください」

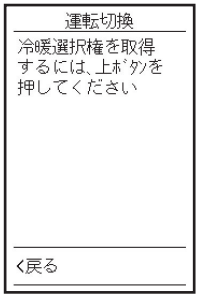


基本画面が表示されている場合



右ボタンを押して、運転切換(モード)画面を
表示してご確認ください。

1 冷暖選択権の設定



「**冷暖選択権を取得するには、上ボタンを押してください**」が表示中に上ボタンを押します。

冷暖選択権をもつ設定になりました。
このリモコンで運転モードを選択することができます。

同一系統内のほかのリモコンはすべて
冷暖選択権無をもたない設定になり、
すべてのリモコンの運転モードは
このリモコンに追従します。

■冷暖選択権をもつリモコンによる運転切換

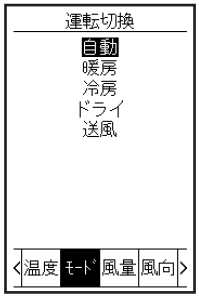
冷暖選択権をもつリモコンだけが、運転モードを選択することができます。

※冷暖選択権を設定する方法は、「**■冷暖選択権を設定する**」(46ページ)を参照してください。

ご注意

●この手順は**冷暖選択権をもつリモコン**での操作です。
●同一系統内のほかのリモコンはすべて**冷暖選択権無をもたない**設定のため、すべてのリモコンの運転モードはこのリモコンに追従します。
●「**換気**」への運転切換は冷暖選択権にかかわらず操作できます。
(全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットと連動している場合)
※冷暖切換リモコンについては、室外ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 運転モードを変更



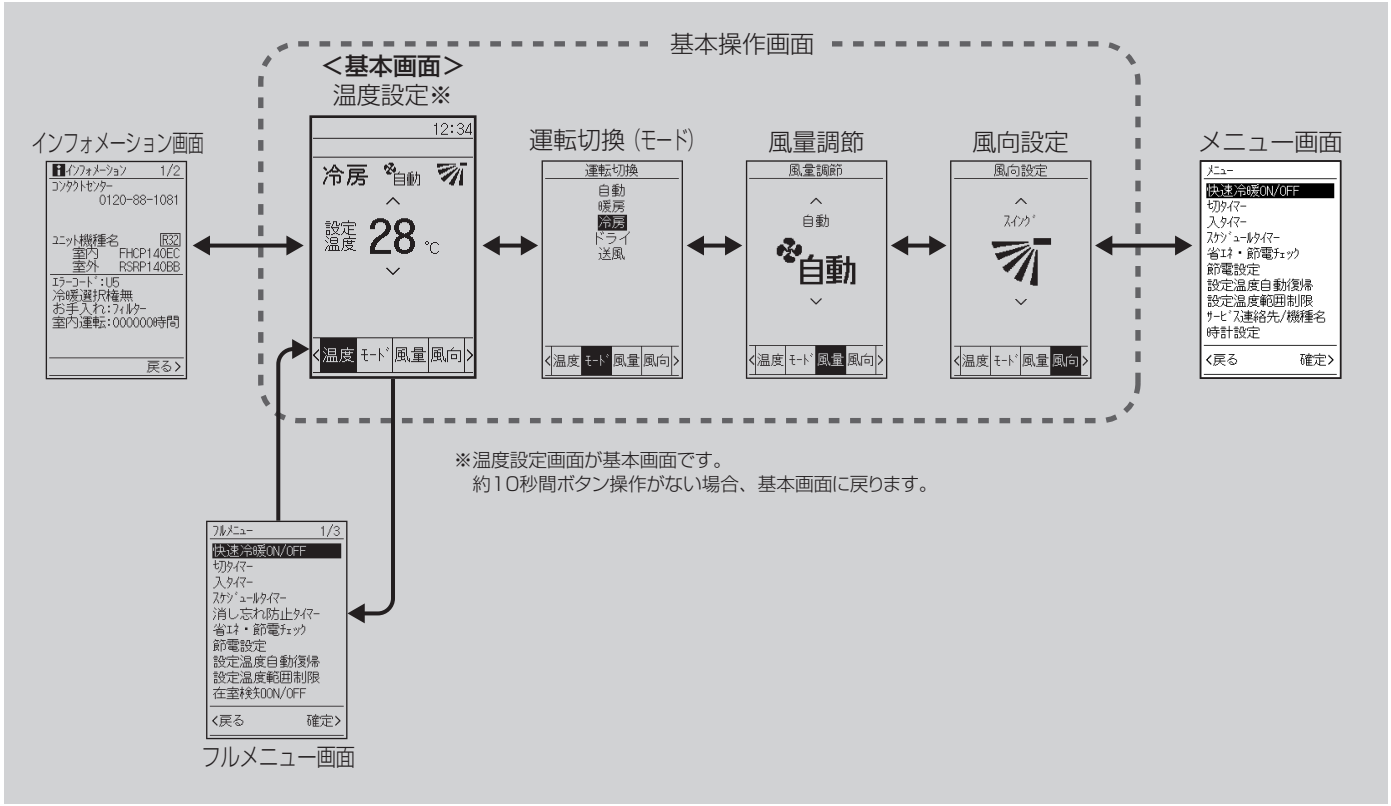
上下ボタンを押し、「**自動**」・「**暖房**」・「**冷房**」・「**ドライ**」・「**送風**」のうちご希望の運転に切り換えます。

●設定できない運転モードは表示されません。
●冷房専用タイプの場合は「**冷房**」・「**ドライ**」・「**送風**」のみ設定可能です。
●冷暖同時運転システムのみ「**自動**」の設定が可能です。
●機種によって設定できる運転モードは異なります。

メニュー操作

■メニュー操作について

メニュー画面では、いろいろな機能を設定することができます。
詳しくは、「**■メニュー 一覧**」(50～53ページ)を参照してください。



■メニュー 一覧

各メニューを設定するための必要条件については、それぞれの操作ページでご確認ください。

機種限定	各メニューを設定するための必要条件については、それぞれの操作ページでご確認ください。
換気・調湿	「ベンティエール」などの全熱交換器ユニットや「DESICA」などの調湿外気処理ユニットとの接続時のみとなります。
詳	メニュー表示設定が「詳細」モードのときにのみ表示します。「標準」モードのときは表示されません。

メニュー名				機能説明	ページ
サーキュレーション気流	機種限定			風量・風向を自動で制御し、部屋全体に気流を送ります。	55
快速冷暖ON/OFF	機種限定			室内温度をすばやく快適な温度にします。	57
風向個別設定	機種限定			室内ユニットの吹出口の風向をそれぞれ個別に設定します。	58
風向範囲切換	機種限定			風向範囲を設置場所に応じて標準・右吹き・左吹きに設定できます。	62
自動風あて・風よけ	機種限定		詳	風向自動設定時に、人を検知すると風向きを変えて人に当てたり、人をよけたりすることができます。	64
自動ドラフト低減	機種限定		詳	風向自動設定時に、人を検知すると風向を水平吹きにして風あたりによる不快感を低減させます。	66
高温みまもりモード	機種限定		詳	室温が高温になりすぎないよう、運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達すると自動で冷房運転を開始します。	67

■メニュー 一覧

各メニューを設定するための必要条件については、それぞれの操作ページでご確認ください。

メニュー名				機能説明	ページ
静音モード	機種限定		詳	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。	71
切タイマー				運転時、運転開始から停止するまでの時間を1時間単位で設定できます。	74
入タイマー				停止時、運転開始するまでの時間を1時間単位で設定できます。	76
スケジュールタイマー				曜日ごとに最大8件の動作時刻と動作内容を設定できます。	79
消し忘れ防止タイマー			詳	運転時間を10分単位で30～180分の範囲で設定できます。	94
省エネ・節電チェック	機種限定			リモコン画面上で、運転データ(消費電力量・運転率)を、一定期間(本日・前日・週・年)で表示して節電効果を確認できます。	96
節電設定	機種限定			各種設定により消費電力を制限した運転を行います。	100
エコモード設定	機種限定		詳	冷房・暖房ごとに冷媒温度を自動制御し、消費エネルギーを抑えた運転を行うことができます。	110
設定温度自動復帰	機種限定			リモコンの設定温度を変更しても一定時間後に設定した温度に戻します。	113
設定温度範囲制限	機種限定			設定温度範囲を制限します。	116
在室検知ON/OFF	機種限定		詳	人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で運転を停止したり、人を検知すると自動で運転を再開します。	119

■メニュー 一覧

各メニューを設定するための必要条件については、それぞれの操作ページでご確認ください。

メニュー名				機能説明	ページ
不在時省エネ運転モード	機種限定		詳	人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で空調目標温度を変化させて能力を制限した運転を行います。	122
待機電力低減	機種限定		詳	運転停止中にシステムの待機電力を低減することができます。	123
ディスプレイ自動OFF			詳	運転停止中にリモコンの液晶表示を消すことができます。	127
ローテーション運転	機種限定		詳	エアコンの運転時間が偏らず、機器負担を軽減するために、一定時間ごとに順番に運転を行います。（グループ制御のみ）	128
ニオイ抑制設定	機種限定		詳	冷房時、室内温度が設定温度に達したとき、においが出るのを抑えるために風量・風向を制限します。	131
換気量	機種限定	換気・調湿		換気量を「弱」または「強」に設定します。	134
換気モード	機種限定	換気・調湿		換気モードを「自動換気」・「全熱換気」・「普通換気」から選んで設定します。	136
加湿換気	機種限定	換気・調湿		加湿換気を「有効」または「停止」に設定します。	138
調湿モード	機種限定	換気・調湿		調湿モードを「調湿」・「換気」・「除湿」・「加湿」から選んで設定します。	139
時計設定				日付と時刻を設定します。	141
サービス連絡先/機種名				サービス連絡先と接続する機種名を設定し、インフォメーション画面で表示します。	145

■メニュー 一覧

各メニューを設定するための必要条件については、それぞれの操作ページでご確認ください。

メニュー名				機能説明	ページ
設定状況一覧			詳	設定状況を一覧表示します。	146
言語切換			詳	表示言語を「日本語」・「English」・「中文」から選択します。	147
ピクト表示設定			詳	基本操作画面をピクトグラムで表示します。	148
メニュー表示設定			詳	メニュー画面の表示モードを「なし」・「標準」・「詳細」から選択します。	149
お好み表示			詳	基本画面下部に表示する項目を選択します。	150
ユーザモード切換			詳	基本画面の表示モードを「標準」・「詳細」・「ホテル向け」・「かんたん」から選択します。	152
コントラスト調整			詳	液晶の濃度を調整します。	156
運転ランプ輝度調整			詳	運転ランプの明るさを調整します。	157
バックライト輝度調整			詳	バックライトの明るさを調整します。	158
フィルター自動清掃	機種限定		詳	詳細内容および操作方法は、フィルター自動清掃機能付き化粧パネル(別売品)に付属の取扱説明書をご覧ください。	—
オートグリル昇降操作	機種限定		詳	詳細内容および操作方法は、オートグリル(別売品)に付属の取扱説明書をご覧ください。	—

■メニューの有効 / 無効設定

各種機能の設定を有効または無効にします。

それぞれの機能は、メニュー画面で設定を行ったあと、「**有効**」にすることで働くしくみになっています。設定しても、「**無効**」になっているとその機能は働きません。

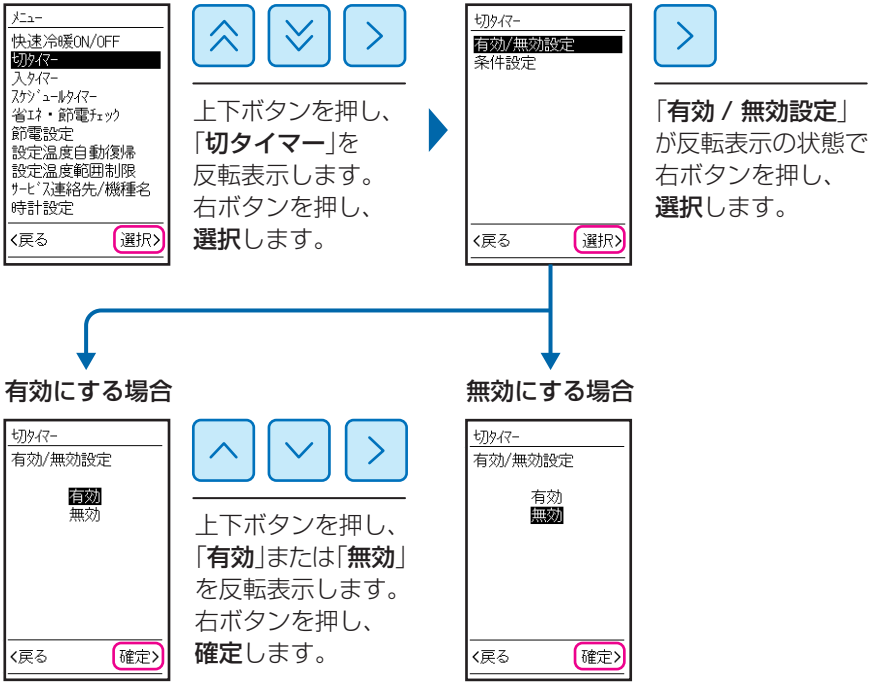
※設定のあとは必ず「**有効**」または「**無効**」になっていることをご確認ください。

設定後、「有効」にならない機能

多くの機能は、設定操作によって「**有効**」になりますが、下記の操作のあとは、「**有効**」になりません。

- スケジュールタイマー：シーズン設定
- スケジュールタイマー：スケジュール無効設定
- 節電設定：節電モード
- 節電設定：最大出力
- 節電設定：節電スケジュール
- エコモード設定：エコレベル設定（冷房時設定）
- エコモード設定：エコレベル設定（暖房時設定）

■設定のしかた　例）切タイマーの場合



■サーキュレーション気流

風量・風向を自動で制御し、部屋全体に気流を送ります。

●サーキュレーション気流は運転開始時に水平吹きと下吹き（暖房）、スイング（冷房）を交互に繰り返します。
温度や時間で機器が自動判定し、通常の風量・風向自動運転に切り換わります。

●サーキュレーション気流有効を設定中にサーキュレーション気流の動作をやめたい場合は、
基本操作画面の風量調節または風向設定画面で風量または風向を「**自動**」以外に変更してください。
ふたたびサーキュレーション気流で動作させたい場合は、基本操作画面の風量調節または
風向設定画面で風量・風向の両方を「**自動**」に変更するか、メニュー画面の
「サーキュレーション気流」からふたたび「**有効**」を選択してください。

●サーキュレーション気流を解除するときは風量・風向を「**自動**」以外に設定するか、
サーキュレーション気流を「**無効**」に設定してください。

※グループ接続の場合、設定が反映されるまでに時間がかかることがあります。
※機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
※本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログ等をご覧ください。
※本機能は初期状態で有効となります。
※グループ内の室内ユニットがすべて本機能に対応している場合のみ設定可能です。
※風向個別設定が有効である場合、サーキュレーション気流は使用できません。
※サーキュレーション気流機能のない機種や別売品との組合わせによっては、サーキュレーション気流が
表示されません。

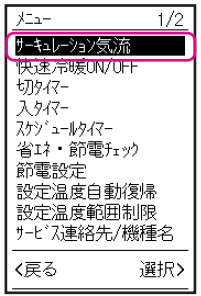
■サーキュレーション気流

風量・風向を自動で制御し、部屋全体に気流を送ります。

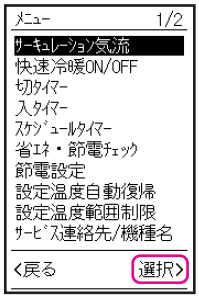
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

例）設定を有効にする

1 サーキュレーション気流を選択

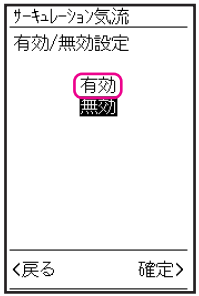


上下ボタンを押し、「**サーキュレーション気流**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

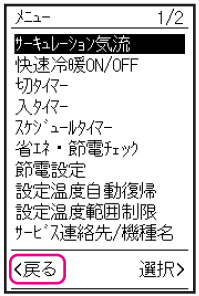
2 有効を選択



上下ボタンを押し、「**有効**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

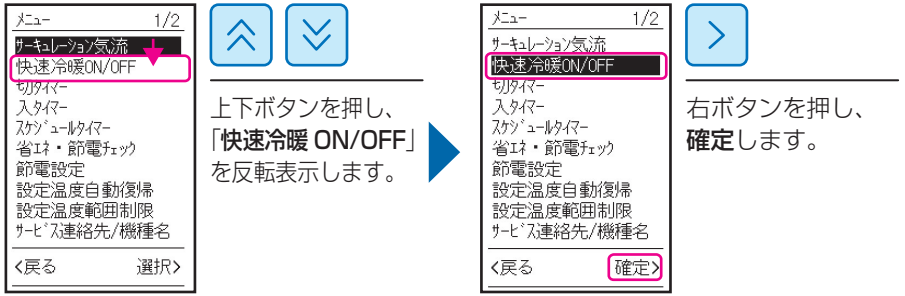
■快速冷暖 ON/OFF を設定する（スカイエアのみ）

室内ユニットの風量を自動でコントロールし、室外ユニットの能力を上げて、すばやく快適な室温にします。
「冷房」・「暖房」または「自動」で運転中に設定できます。

※メニュー画面の表示のしかたは、「■画面を切り換える」（17ページ）を参照してください。

- ●送風・マイコンドライ運転の場合は設定できません。
- ●風量表示が消灯し、風量切換ができなくなります。
- ●快速冷暖運転は最大 30 分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
- ●運転切換を行ったときも、通常運転に戻ります。
- ●暖房運転時、風量がアップし、通常より吹出温度が低くなる場合があります。お好みに合わない場合は、解除してください。

1 快速冷暖ON/OFFを選択



2 快速冷暖ONの確認

基本画面に切り換わり、「**快速冷暖**」が表示されます。
風量表示が消え風量調節ができなくなります。

※基本画面に「**快速冷暖**」を表示中に設定すると「**快速冷暖**」が消え、快速冷暖がOFFになります。

3 設定を解除する場合

ON に設定されているときに手順 *1* の操作を行うと設定が解除されます。
基本画面に風量が表示されます。

■風向を個別に設定する

室内ユニットの吹出口ごとに風向を設定します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

●吹出口付近に表示している吹出口マークに合わせてそれぞれの風向を設定します。
(□・□□・□□□・□□□□)
●吹出口の数によって設定する数が変わります。
●スカイエアの場合は、同時運転マルチで最大4台まで設定可能です。(ユニットA・B・C・D)
ビル用マルチの場合は、1グループで最大16台まで設定可能です。
(ユニット0～15)

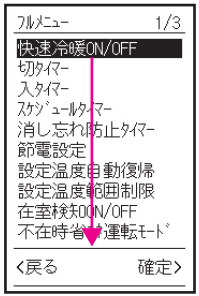
●吹出口マークは、接続する機種によって異なります。
・吹出口マークが4つの機種：
□・□□・□□□・□□□□
・吹出口マークが2つの機種：
□・□□

●設定できる風向は機種によって異なります。
●機種によっては本機能がないものがあります。

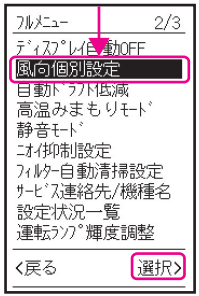
●本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログ等をご覧ください。

例) ユニットNo.1の吹出口「□□□」の風向設定をスイングにする場合

1 風向個別設定を選択



上下ボタンを押し、「**風向個別設定**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

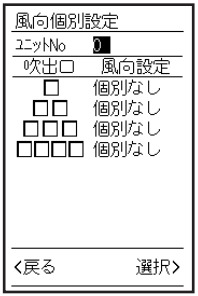
2 個別設定を選択

「**個別設定**」が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**選択**します。

■風向を個別に設定する

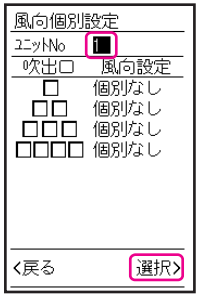
室内ユニットの吹出口ごとに風向を設定します。

3 ユニットNo.を変更



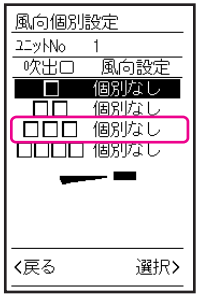
上下ボタンを押し、「1」を反転表示します。

4 吹出口マーク選択に移行



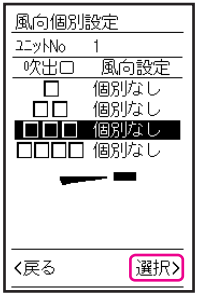
右ボタンを押し、**選択**します。

5 吹出口マークを選択



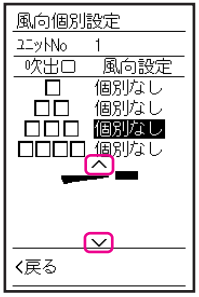
下ボタンを押し、「□□□ **個別なし**」を反転表示します。

6 風向設定に移行

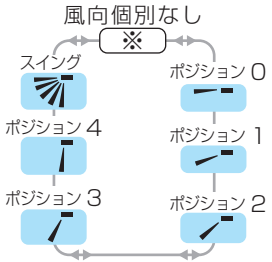


右ボタンを押し、**選択**します。

7 風向を変更



上下ボタンを押し、「**スイング**」を反転表示します。

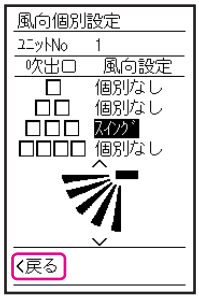


※「■風向を変更する」（36 ページ）で設定した風向を表示します。

■風向を個別に設定する

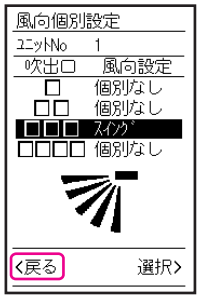
室内ユニットの吹出口ごとに風向を設定します。

8 設定を確定



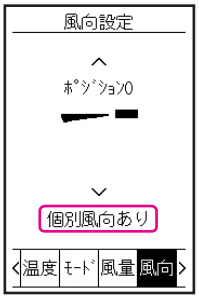
設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを押します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

9 設定の確認



風向設定画面の下に
「**個別風向あり**」が
表示されます。

■風向個別設定をオールリセットする

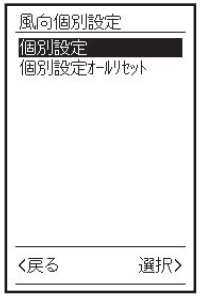
風向個別設定の内容をすべてリセットします。

※風向個別設定の画面表示のしかたは、「**■風向を個別に設定する**」(58ページ)の手順*1*を参照してください。

ご注意

●「個別設定オールリセット」を行うと、設定されたすべての風向個別設定がリセットされますのでご注意ください。

1 個別設定オールリセットを選択



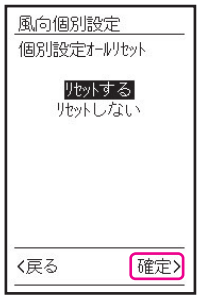
上下ボタンを押し、「**個別設定オールリセット**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

2 リセットするを選択

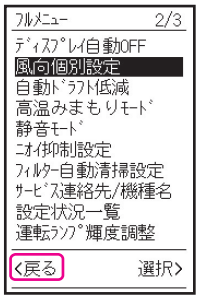
上下ボタンを押し、「**リセットする**」を反転表示します。

3 リセットを確定



右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■風向範囲を切り換える（床置用）

標準・右吹き・左吹きの3種類から風向範囲を切り換えることができます。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

設置場所に合わせて風向範囲を切り換えます。

●室内ユニットを壁面中央部に設置時は前方の左右へ送風

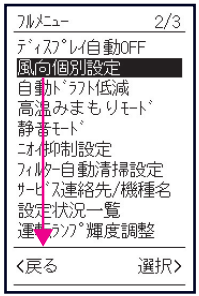
標準

●室内ユニットを部屋の隅に設置時は左方向または右方向へ送風

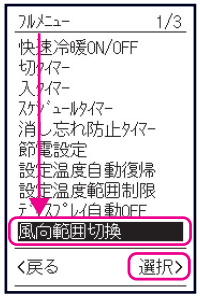
左吹き　右吹き

例）ユニットNo.1の風向を右吹きに変更する

1 風向範囲切換を選択



上下ボタンを押し、「**風向範囲切換**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

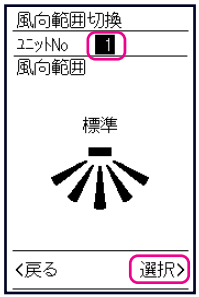
2 ユニットを選択

上下ボタンを押し、ユニットNo「**1**」を反転表示します。

■風向範囲を切り換える（床置用）

標準・右吹き・左吹きの3種類から風向範囲を切り換えることができます。

ユニットを選択



右ボタンを押し、**選択**します。

3 右吹きを選択

上下ボタンを押し、「**右吹き**」を反転表示します。

設定完了

基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■自動風あて・風よけを設定する

風向自動設定時に本機能を設定すると、
人を検知したときに風向きを変えて人に当てたり、人をよけたりすることができます。

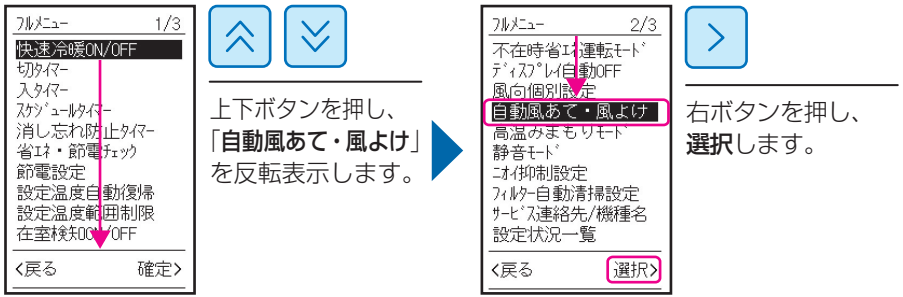
※メニュー画面の表示のしかたは、「■画面を切り換える」(17ページ)を参照してください。

- スマート学習節電時は
  冷房時：風あて
  暖房時：風よけ
  で制御します。
- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。

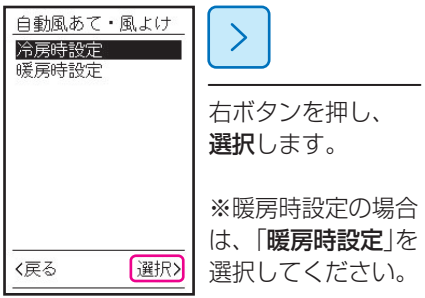
- 対応機種のみメニューが表示されます。
- 「自動風あて・風よけ」・
  「自動ドラフト低減」
  機能のどちらか一方となります。

例）冷房時に自動で風をよける場合

1 自動風あて・風よけを選択



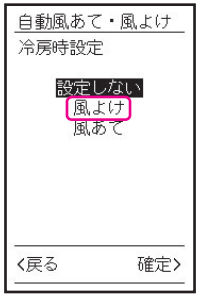
2 設定項目を選択



■自動風あて・風よけを設定する

風向自動設定時に本機能を設定すると、
人を検知したときに風向きを変えて人に当てたり、人をよけたりすることができます。

3 設定を選択



上下ボタンを押し、
「**風よけ**」を
反転表示します。

●ボタンを押すごとに切り換わります。

設定しない 機能しません。

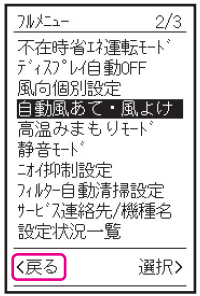
風よけ 人を検知すると人をよける風向になります。

風あて 人を検知すると人に当てる風向になります。

4 設定を確定

右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効になります。

設定完了



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

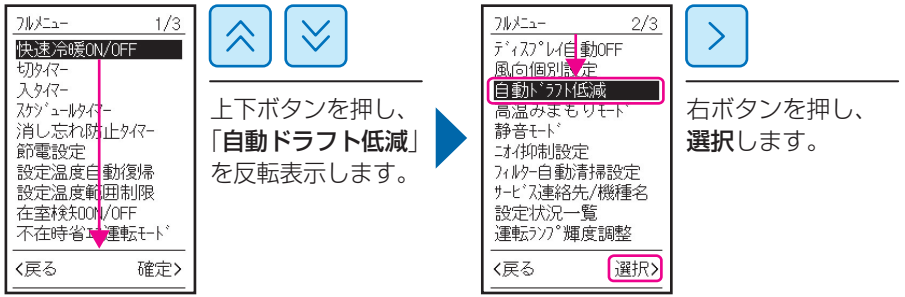
■自動ドラフト低減を設定する

風向自動設定時に、人を検知すると風向を水平吹きにして
風あたりによる不快感を低減します。

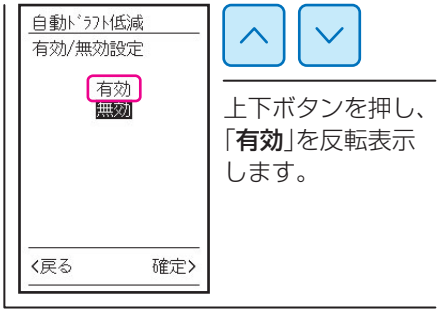
※メニュー画面の表示のしかたは、「■画面を切り換える」(17ページ)を参照してください。

- ●自動風あて・風よけ機能に対応したシステムに接続している場合は、本機能は使用できません。
- ●機種によっては本機能がないもの(一部機能が制限されるもの)があります。
- ●本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログ等をご覧ください。

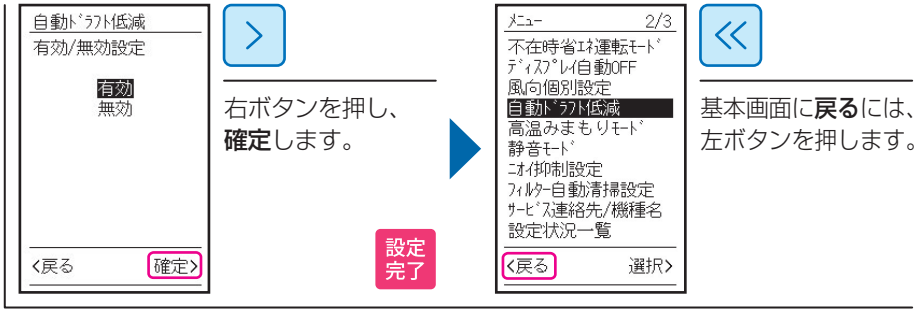
1 自動ドラフト低減を選択



2 有効を選択



3 設定を確定



■高温みまもりモードを設定する

運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達した場合、
自動で設定温度を変更して運転を開始します。30分間運転すると、自動で運転停止します。

高温みまもりモードについて

●エアコン停止中に室温が設定した開始温度以上になると、自動で高温みまもりモードによる冷房運転を開始します。このとき、設定した高温みまもりモードの目標温度を設定温度として運転し、約 30 分後に自動で運転停止します。設定温度に達しない場合、30 分以上運転することもあります。
（一度高温みまもりモードで運転すると、通常運転の設定温度も高温みまもりモードの目標温度になります。）
●高温みまもりモードは運転モードが「**冷房**」か「**自動冷房**」のときにしか動作しません。
上記以外が基本画面に表示されている場合は、運転切換（モード）から「**冷房**」か「**自動冷房**」に切り換えてください。
●高温みまもりモードの設定が有効のとき、基本画面に「」が表示されます。
●高温みまもりモードによる運転中は、基本画面の「」が点滅します。
●高温みまもりモードによる運転中に運転 / 停止ボタンを押すと、高温みまもりモードを終了し、運転停止します。
もう一度運転 / 停止ボタンを押すと通常運転を開始します。
（集中制御機器から停止された場合も同様の動作となります。）
●高温みまもりモードによる運転中に設定温度または運転モードを変更すると、高温みまもりモードを終了し、通常運転で運転を継続します。
（集中制御機器から変更された場合も同様の動作となります。）
●お使いのユニットが本機能に対応しているか確認の上、ご使用ください。

■高温みまもりモードを設定する

運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達した場合、
自動で設定温度を変更して運転を開始します。30分間運転すると、自動で運転停止します。

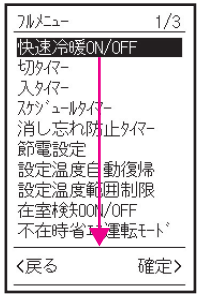
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

●設定範囲は以下のとおりです。
開始温度：25℃～37℃
目標温度：20℃～35℃

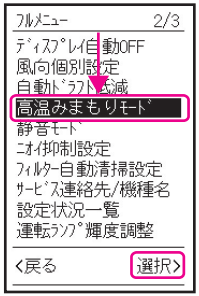
※設定温度範囲制限を有効にした場合は、本設定の上限・下限値が変わることがあります。

例）開始温度：32℃
目標温度：28℃
に設定する場合

1 高温みまもりモードを選択

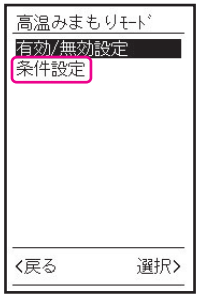


上下ボタンを押し、「**高温みまもりモード**」を反転表示します。

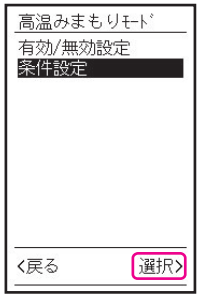


右ボタンを押し、**選択**します。

2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、「**条件設定**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

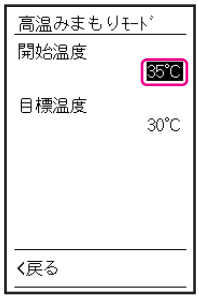
3 開始温度設定に移行

「**開始温度 35℃**」が反転表示の状態で右ボタンを押し、**選択**します。

■高温みまもりモードを設定する

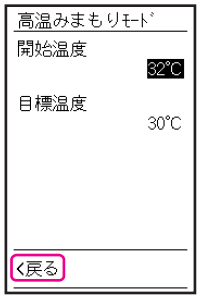
運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達した場合、
自動で設定温度を変更して運転を開始します。30分間運転すると、自動で運転停止します。

4 開始温度を変更



上下ボタンを押し、「**32℃**」を**選択**します。
開始温度は、「**25℃～37℃**」から選択できます。

5 選択画面に戻る



前の画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

6 目標温度を選択

下ボタンを押し、「**目標温度**」を反転表示します。

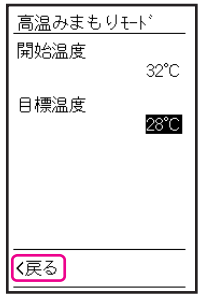
7 目標温度設定に移行

「**目標温度 30℃**」が反転表示の状態で、右ボタンを押し、**選択**します。

8 目標温度を変更

上下ボタンを押し、「**28℃**」を**選択**します。
目標温度は、「**20℃～35℃**」から選択できます。

9 選択画面に戻る



前の画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

■高温みまもりモードを設定する

運転停止中に室温があらかじめ設定した温度に達した場合、
自動で設定温度を変更して運転を開始します。30分間運転すると、自動で運転停止します。

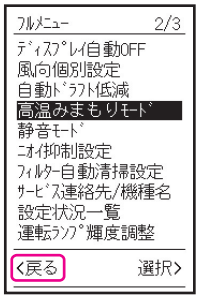
10 設定の確定に移行

設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを押します。

11 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、
上下ボタンを押して
「**いいえ**」を反転表示し、
右ボタンで
確定します。

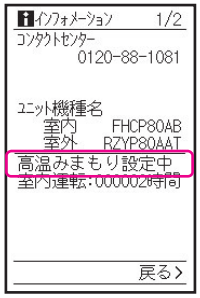
設定完了



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

12 設定の確認

基本画面の右上に
「⚠」が表示されます。



インフォメーション
画面の下段に
「**高温みまもり設定中**」
が表示されます。

13 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」
（54 ページ）を参照してください。

■静音モードを設定する

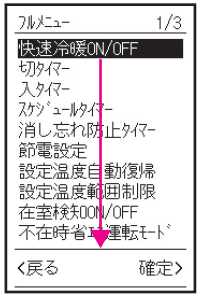
静音性を優先して運転する時間帯を設定します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

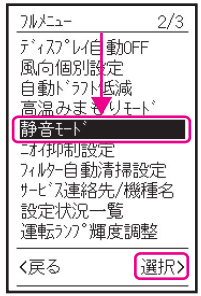
●静音運転開始～終了時刻を
30 分単位で設定可能です。
時計設定が必要です。
「**■時計を設定する**」(141 ページ)
を参照してください。

例）開始時間 20：30
終了時間 9：00
に設定する場合

1 静音モードを選択

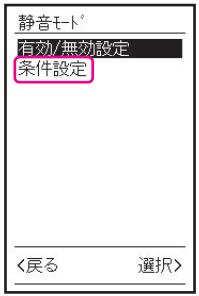


上下ボタンを押し、
「**静音モード**」を
反転表示します。

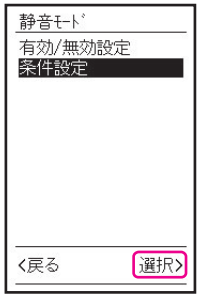


右ボタンを押し、
選択します。

2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、
「**条件設定**」を
反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

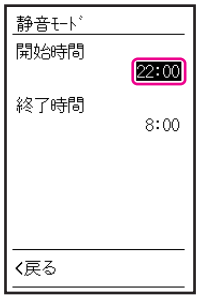
3 開始時間設定に移行

「**開始時間 22:00**」
が反転表示
した状態で、
右ボタンを押し、
選択します。

■静音モードを設定する

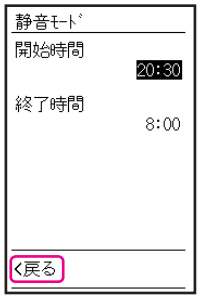
静音性を優先して運転する時間帯を設定します。

4 開始時間を変更



上下ボタンを押し、「**20:30**」を選択します。

5 選択画面に戻る



前の画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

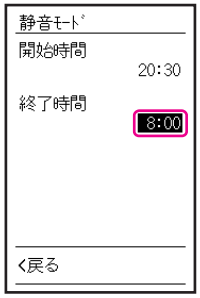
6 終了時間を選択

下ボタンを押し、「**終了時間**」を反転表示します。

7 終了時間設定に移行

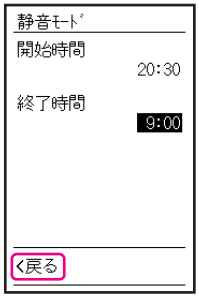
「**終了時間　8:00**」が反転表示した状態で右ボタンを押し、**選択**します。

8 終了時間を変更



上下ボタンを押し、「**9:00**」を選択します。

9 選択画面に戻る



前の画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

■静音モードを設定する

静音性を優先して運転する時間帯を設定します。

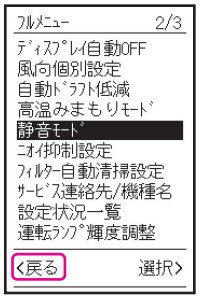
10 設定の確定に移行

設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを押します。

11 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、
上下ボタンを押して
「**いいえ**」を反転
表示し、右ボタン
で確定します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

12 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」
（54 ページ）を参照してください。

■切タイマーを設定する

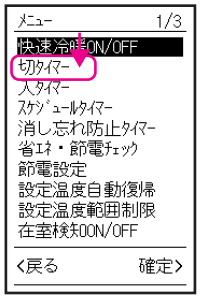
運転時に停止させるまでの時間を１時間単位で設定します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

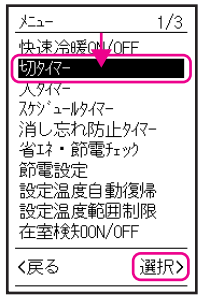
●切タイマーの設定が有効のとき、
基本画面に「🕘」が表示されます。

例）10 時間後に運転を停止する場合

1 切タイマーを選択

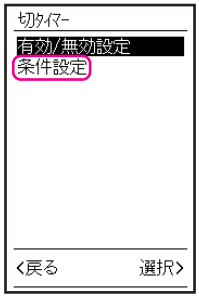


上下ボタンを押し、「**切タイマー**」を反転表示します。

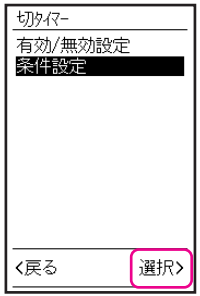


右ボタンを押し、**選択**します。

2 条件設定を選択

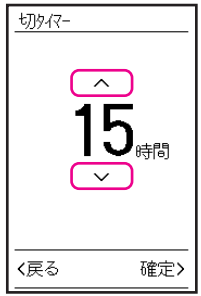


上下ボタンを押し、「**条件設定**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

3 停止する時間を選択

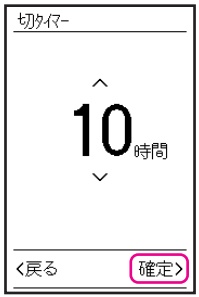


上下ボタンを押し、「**10 時間**」を選択します。
設定時間は 1 時間単位で 1～96 時間までです。

■切タイマーを設定する

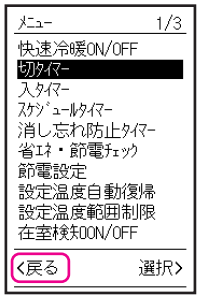
運転時に停止させるまでの時間を１時間単位で設定します。

4 設定を確定



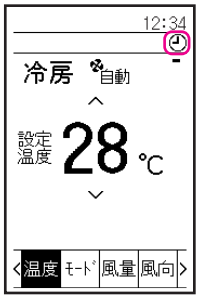
右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

5 設定の確認方法



基本画面の右上に「 」が表示されます。

6 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」
（54 ページ）を参照してください。

■入タイマーを設定する

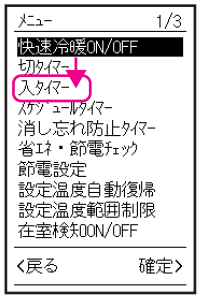
停止時に運転させるまでの時間を１時間単位で設定します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

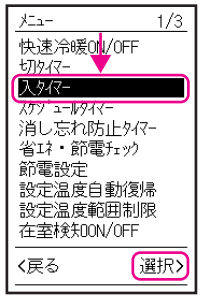
●入タイマーの設定が有効のとき、
基本画面に「🕘」が表示されます。

例）10 時間後に運転を開始する場合

1 入タイマーを選択

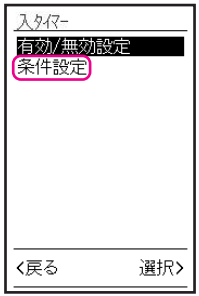


上下ボタンを押し、「**入タイマー**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

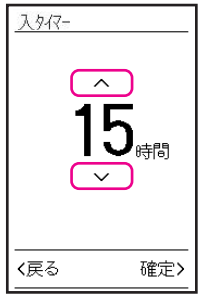
2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、「**条件設定**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

3 運転する時間を選択

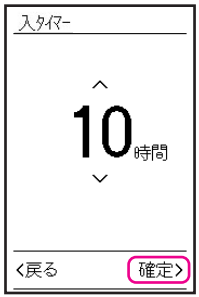


上下ボタンを押し、「**10 時間**」を選択します。
設定時間は 1 時間単位で 1 ～ 96 時間までです。

■入タイマーを設定する

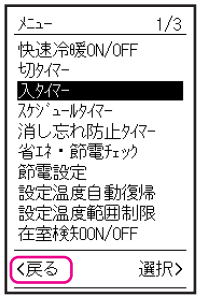
停止時に運転させるまでの時間を１時間単位で設定します。

4 設定を確定



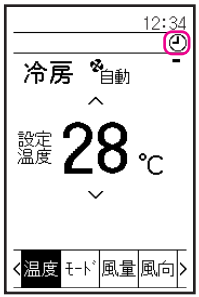
右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

5 設定の確認方法



基本画面の右上に「🕘」が表示されます。

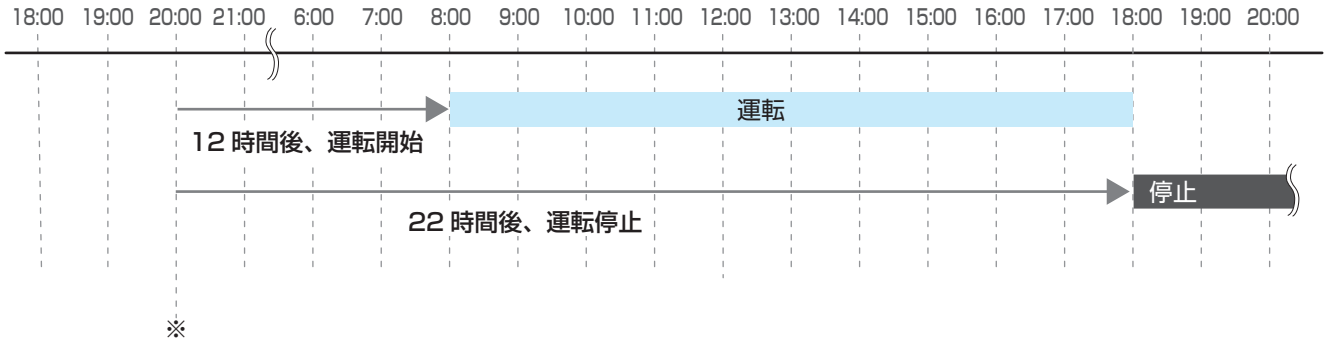
6 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」
（54 ページ）を参照してください。

■入・切タイマーの組合せ使用例

入・切タイマーはそれぞれ1回まで設定できます。

例）20:00 に
入タイマー「12 時間」・切タイマー「22 時間」
で設定した場合



※入タイマー設定時間

●選択した時間後に運転を開始します。
（例）時間を「**12時間**」に設定すると
入タイマー設定の確定（有効）から
12時間後に運転を開始します。

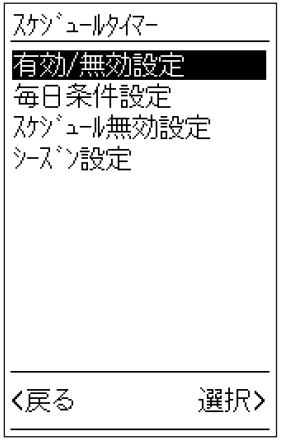
※切タイマー設定時間

●選択した時間後に運転を停止します。
（例）時間を「**22時間**」に設定すると
切タイマー設定の確定（有効）から
22時間後に運転を停止します。

（運転が停止状態でこの操作を実行した場合、
タイマーはスタートしていますので、運転ボタンを
押してからの時間より短くなります。）

■スケジュールタイマー機能について

スケジュールタイマーには下記の設定項目があります。



有効 / 無効設定 **(54 ページ)**	スケジュールタイマーは、下記「毎日条件設定」で運転動作と時刻を設定すると、その時点で有効な状態になります。 スケジュールタイマーを設定したあとで、「今はスケジュールタイマーは使わないが、設定内容は残したい」場合は、無効を選んでください。スケジュールタイマーは動作しません。 また、無効にしたあとでもう一度有効を選ぶと、同じ設定でスケジュールタイマーが動作します。
毎日条件設定 **(82 ページ)**	**曜日ごとに最大８動作の時刻設定ができます。** 例えば、「平日は休憩時間を除く就業時間中だけ運転し、土日は運転させない」などの設定ができます。
スケジュール無効設定 **(90 ページ)**	**日常的にスケジュールタイマーを使用している場合で、特定の曜日だけ無効にしたいときに使用します。** 例えば、その週の火曜日が祝日で、終日運転停止にする場合、週の初めに火曜日を無効設定にしておきます。 （ご注意：この場合、祝日の火曜日が過ぎたら、翌週の火曜日までに無効設定を解除してください。解除しないと翌週の火曜日もスケジュールタイマーは無効のままになります。）
シーズン設定 **(80 ページ)**	**「毎日条件設定」の１週間分のパターンを２種類設定することができます。**夏季と冬季などで使い分けることができます。

■シーズンを設定する

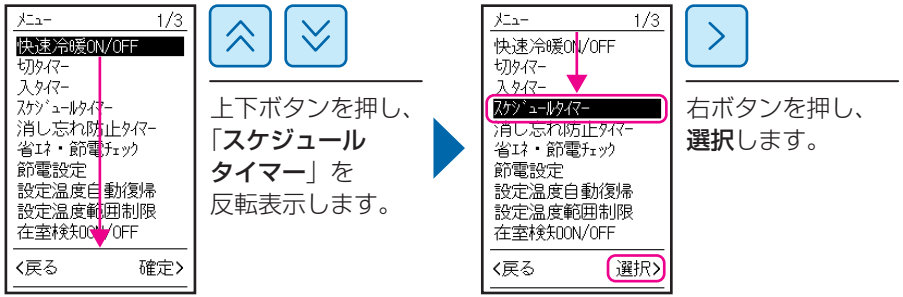
運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

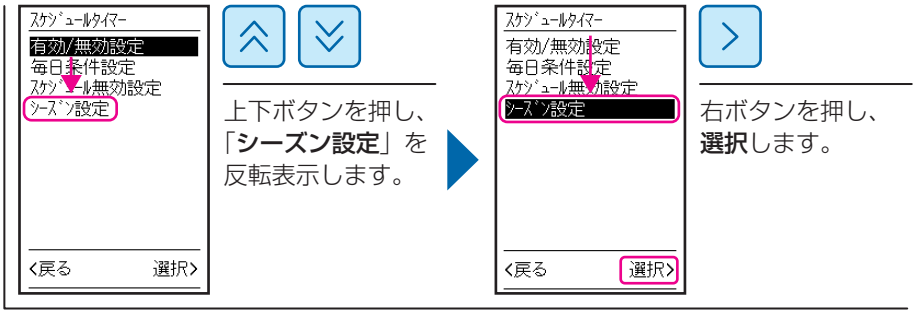
●スケジュールタイマーの設定が有効のとき、基本画面に「🕘」が表示されます。
●スケジュールタイマーは「**シーズン1**」・「**シーズン2**」の2種類を設定することができます。
●スケジュールタイマーの設定(次ページ)は、ここで選択されたシーズンの設定が対象になります。

例）シーズン1を設定する場合

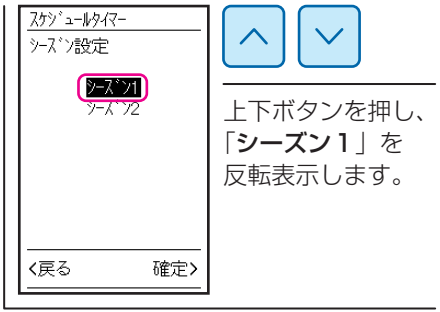
1 スケジュールタイマーを選択



2 シーズン設定へ移行



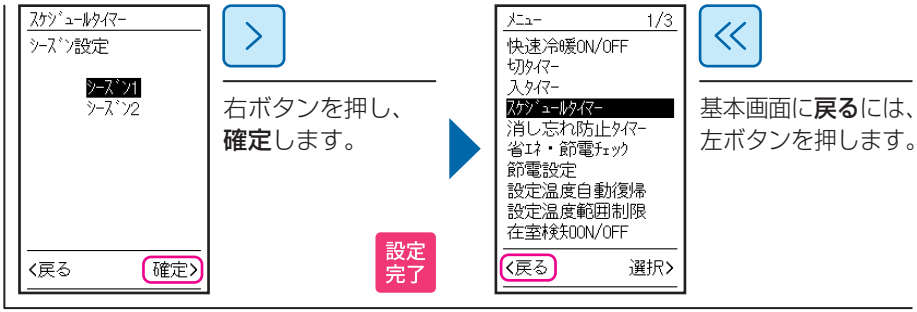
3 シーズン1を選択



■シーズンを設定する

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

シーズン１を選択



右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了

基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

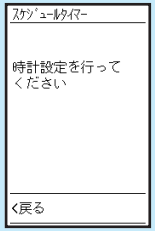
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

●曜日ごとに８つの動作が設定可能です。
●祭日および臨時休業など、便利なスケジュール無効設定が可能です。

※集中制御機器（別売品）が接続されている場合はメニューが表示されないことがあります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

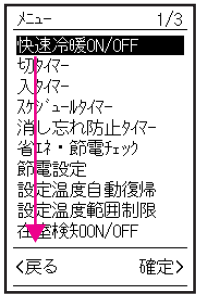
スケジュールタイマーを設定するには
時計設定が必要です。
時計設定をしていない場合は、
下記のような画面が表示されます。

時計設定→「■時計を設定する」
（141 ページ）を参照してください。

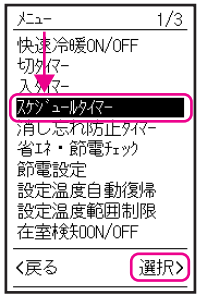


オフィスでの使用例の内容に設定する場合
例）シーズン１の営業日（92 ページ）

1 スケジュールタイマーを選択

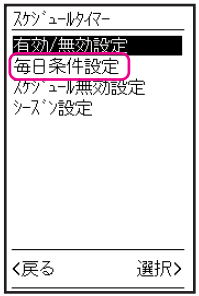


上下ボタンを押し、「**スケジュールタイマー**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 毎日条件設定を選択

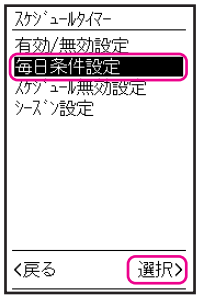


下ボタンを押し、「**毎日条件設定**」を反転表示します。

■毎日条件設定

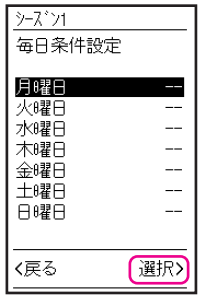
運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

毎日条件設定を選択



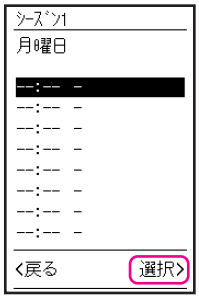
右ボタンを押し、**選択**します。

3 月曜日の設定画面に移行



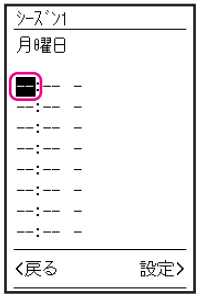
「**月曜日**」が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**選択**します。

4 時間の設定の項目に移行



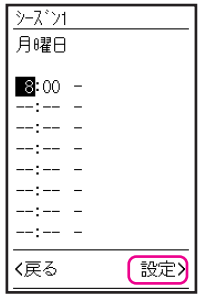
1 段目が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**選択**します。

5 8時を選択



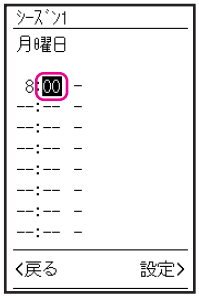
上下ボタンを押し、「8」を**選択**します。

※1 時間ずつ進みます。



右ボタンを押し、**設定**します。

6 00分を設定



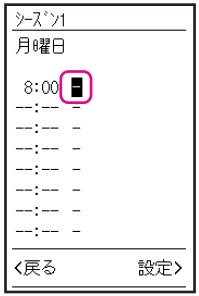
「00」が反転表示された状態で右ボタンを押し、**設定**します。

※上下ボタンを押すと1分ずつ進みます。

■毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

7 冷房を設定

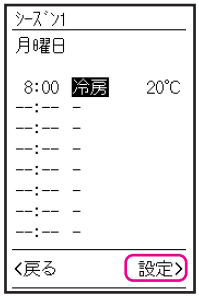


上下ボタンを押し、「**冷房**」を選択します。

選択できる動作

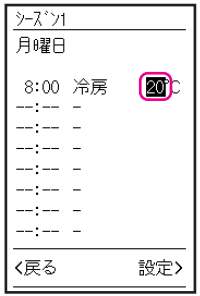
ON	設定時刻になると、基本画面に表示されている設定で運転を開始します。 ●運転モードや設定温度を確実に決めておきたい場合は、ON を選ばずに、運転モードと設定温度を毎回設定することをおすすめします。
OFF	設定時刻になると運転を停止します。
送風	送風運転を開始します。
冷房▸温度	設定した温度で冷房運転を開始します。
暖房▸温度	設定した温度で暖房運転を開始します。

冷房を設定

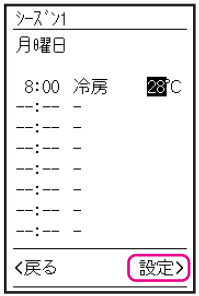


右ボタンを押し、**設定**します。

8 28℃を設定



上下ボタンを押し、「**28**」を選択します。

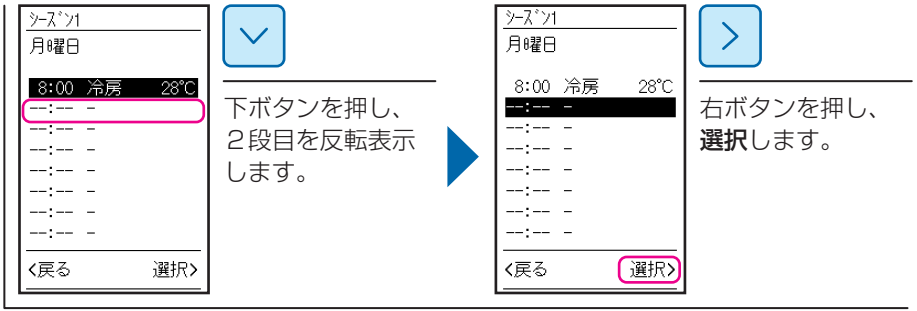


右ボタンを押し、**設定**します。

■毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

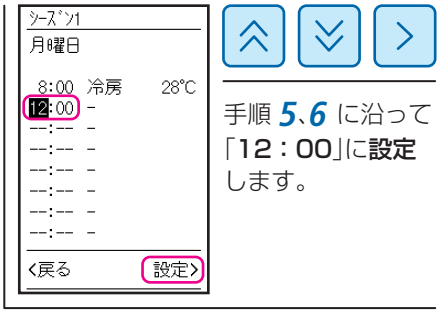
9 2段目の設定欄を選択



下ボタンを押し、2段目を反転表示します。

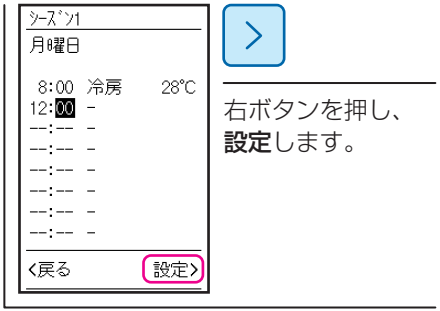
右ボタンを押し、**選択**します。

10 12：00に設定



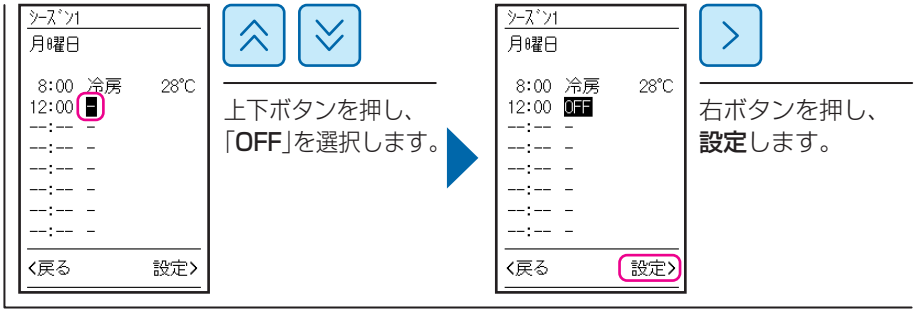
手順 *5*、*6* に沿って「**12：00**」に**設定**します。

12：00に設定



右ボタンを押し、**設定**します。

11 OFFを設定



上下ボタンを押し、「**OFF**」を選択します。

右ボタンを押し、**設定**します。

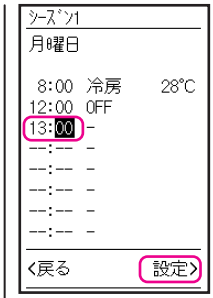
■毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

12 3段目の設定欄を選択

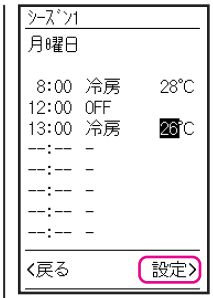
手順 **9** に沿って3段目を**選択**します。

13 13：00に設定



手順 **5**、**6** に沿って「**13：00**」に**設定**します。

14 冷房26℃を確定



手順 **7**、**8** に沿って「**冷房 26℃**」に**設定**します。

15 4段目の設定欄を選択

手順 **9** に沿って4段目を**選択**します。

16 16：00に設定

手順 **5**、**6** に沿って「**16：00**」に**設定**します。

17 冷房28℃を確定

手順 **7**、**8** に沿って「**冷房 28℃**」に**設定**します。

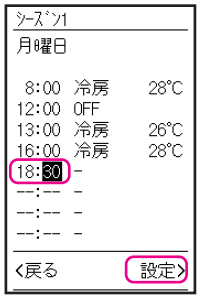
■毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

18 5段目の設定欄を選択

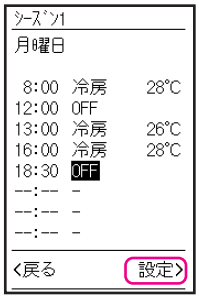
手順 **9** に沿って5段目を**選択**します。

19 18：30に設定



手順 **5**、**6** に沿って「**18：30**」に**設定**します。

20 OFFを選択

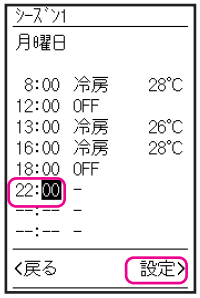


手順 **11** に沿って「**OFF**」に**設定**します。

21 6段目の設定欄を選択

手順 **9** に沿って6段目を**選択**します。

22 22：00に設定



手順 **5**、**6** に沿って「**22：00**」に**設定**します。

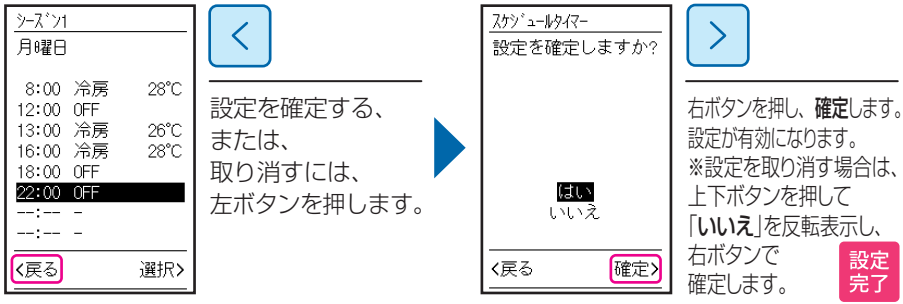
23 OFFを選択

手順 **11** に沿って「**OFF**」に**設定**します。

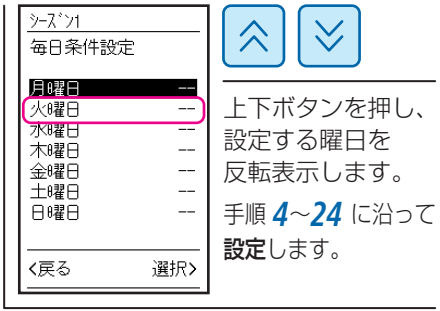
■毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

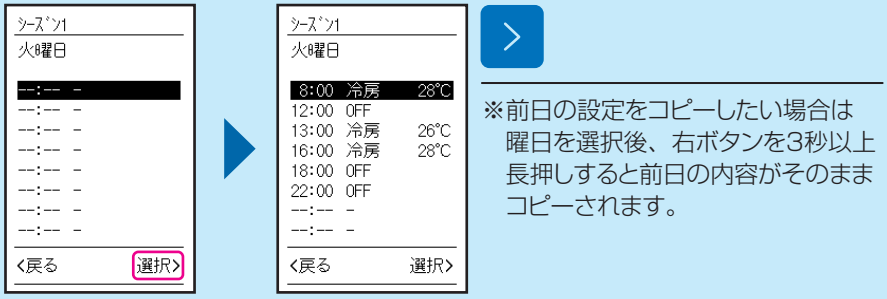
24 設定を確定



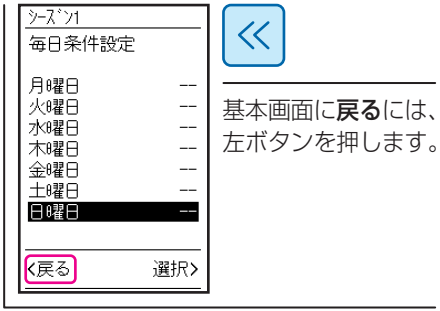
25 ほかの曜日の設定



前日の設定をコピーする場合



26 基本画面に戻る



■毎日条件設定

運転のスケジュールを、曜日ごとに1日8回まで設定可能です。

27 有効/無効の確認・変更

「■メニューの有効 / 無効設定」
（54 ページ）を参照してください。

■スケジュール無効設定（曜日単位）

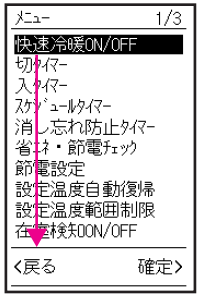
特定の曜日だけ無効にしたいときに使用します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

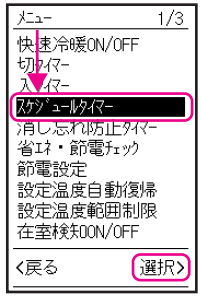
例）火曜日の設定を無効にする

※スケジュールタイマー自体を無効にしたい場合
「**■メニューの有効 / 無効設定**」(54 ページ)

1 スケジュールタイマーを選択

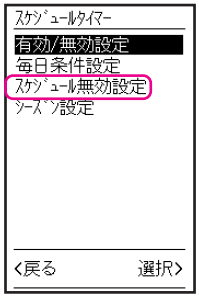


上下ボタンを押し、「**スケジュールタイマー**」を反転表示します。

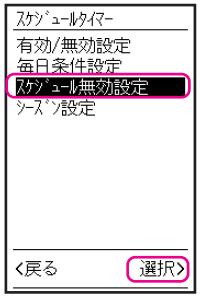


右ボタンを押し、**選択**します。

2 スケジュール無効設定へ移行

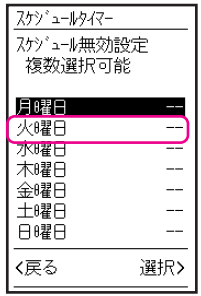


上下ボタンを押し、「**スケジュール無効設定**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

3 火曜日を選択

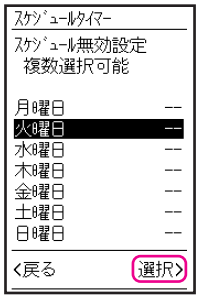


下ボタンを押し、「**火曜日**」を反転表示します。

■スケジュール無効設定（曜日単位）

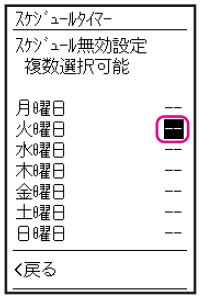
特定の曜日だけ無効にしたいときに使用します。

火曜日を選択

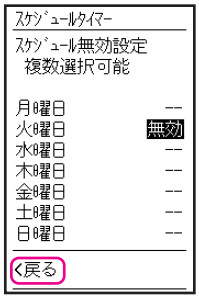


右ボタンを押し、**選択**します。

4 無効を選択

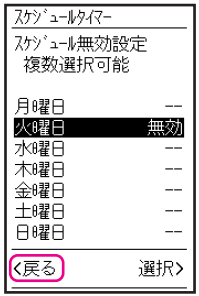


上下ボタンを押し、「**無効**」を反転表示します。



前の画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

5 設定を確認



前の画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

右ボタンを押し、**確定**します。
※設定を取り消す場合は、上下ボタンを押して「いいえ」を反転表示し、右ボタンで確定します。

設定完了

■スケジュールタイマー使用例

シーズン別に曜日パターンを設定して、日常の運転管理を自動的に行うことができます。

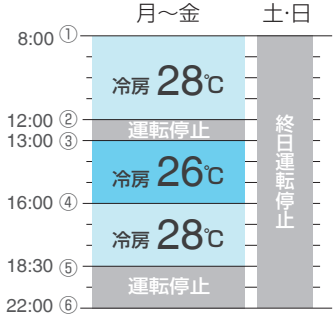
■オフィス

営業日	月～金曜日　9：00～18：00	休業日	土・日曜日

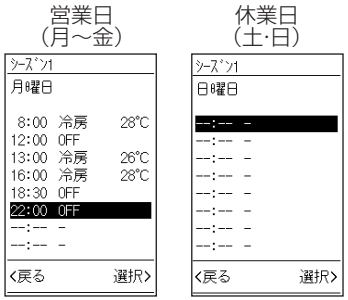
シーズン1 夏

①始業時刻の１時間前に冷房運転を開始する。
②お昼の休憩時間は節電のため運転を停止する。
③暑くなる日中は、午前より設定温度を 2℃下げて運転開始する。
④日が落ちる夕刻は、設定温度を 2℃上げる。
⑤終業時刻の３０分後に運転を停止する。
⑥残業などで手動運転した場合の消し忘れを防止するために、
夜間に再度運転停止を設定する。

温度スケジュール



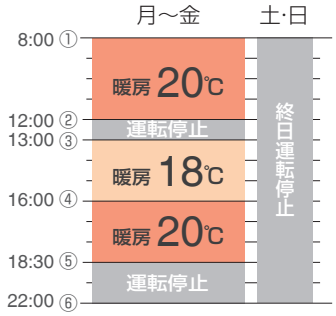
設定画面



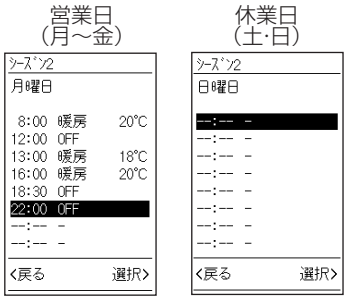
シーズン2 冬

①始業時刻の１時間前に暖房運転を開始する。
②お昼の休憩時間は節電のため運転を停止する。
③暖かい日中は設定温度を 2℃下げて運転開始する。
④冷え込む夕刻は、設定温度を 2℃上げる。
⑤終業時刻の３０分後に運転を停止する。
⑥残業などで手動運転した場合の消し忘れを防止するために、
夜間に再度運転停止を設定する。

温度スケジュール



設定画面



■スケジュールタイマー使用例

シーズン別に曜日パターンを設定して、日常の運転管理を自動的に行うことができます。

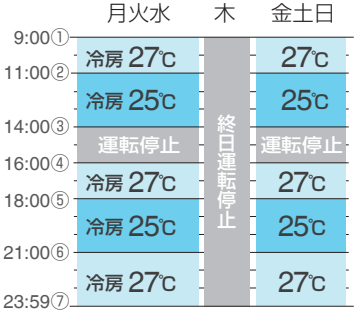
■飲食店

営業日	月～水・金曜日	ランチ　11：00～14：00 ディナー17：00～22：00	休業日	木曜日
	土・日曜日	ランチ　11：00～14：00（夏季のみ） ディナー17：00～22：00		

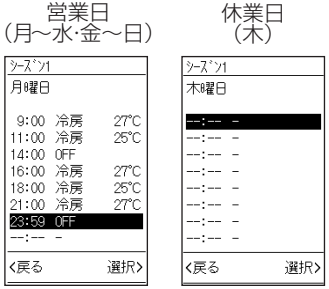
シーズン1 夏

①ランチ営業時間の2時間前（準備中）に冷房運転を開始する。
②混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
③営業時間外は運転を停止する。
④ディナー営業時間の1時間前に冷房運転を開始する。
⑤混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
⑥気温の下がる夜は設定温度を 2℃上げる。
⑦営業時間の2時間後（後片付け）に運転を停止する。

温度スケジュール



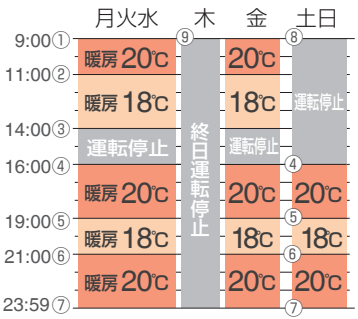
設定画面



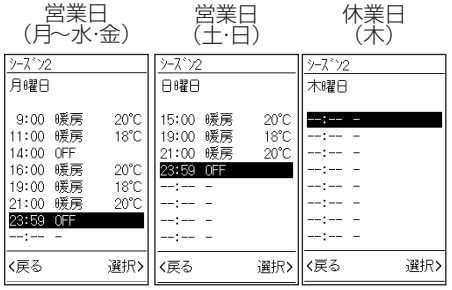
シーズン2 冬

①ランチ営業時間の2時間前（準備中）に暖房運転を開始する。
②混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
③営業時間外は運転を停止する。
④ディナー営業時間の1時間前に暖房運転を開始する。
⑤混雑して室内温度が上昇する時間帯は設定温度を2℃下げる。
⑥気温の下がる夜は設定温度を 2℃上げる。
⑦営業時間の2時間後（後片付け）に運転を停止する。
⑧土日はディナー営業のみのため、午前中は運転を停止する。
⑨木曜日は終日運転を停止する。

温度スケジュール



設定画面



■消し忘れ防止タイマーを設定する

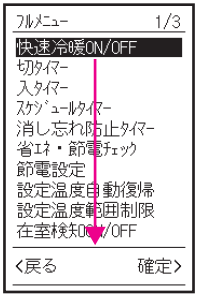
運転開始～停止までの時間を設定します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

- ●消し忘れ防止タイマーの設定が有効のとき、基本画面に「🕘」が表示されます。
- ●運転開始から設定された時間後に毎回自動で運転を停止します。
- ●解除されるまでは毎回有効になります。
- ●手動で運転開始したときのみ運転を停止します。スケジュールタイマーや集中制御機器で運転開始した場合は、停止しません。

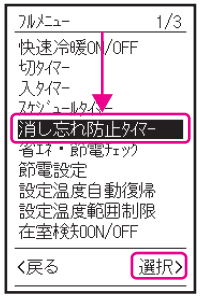
例）80 分後に運転を停止する場合

1 消し忘れ防止タイマーを選択



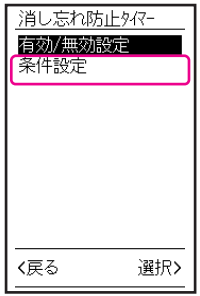
上下ボタンを押し、「**消し忘れ防止タイマー**」を反転表示します。

消し忘れ防止タイマーを選択



右ボタンを押し、**選択**します。

2 条件設定画面を選択



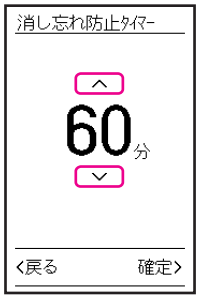
上下ボタンを押し、「**条件設定**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

■消し忘れ防止タイマーを設定する

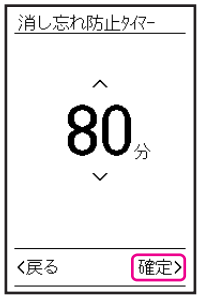
運転開始～停止までの時間を設定します。

3 運転停止時間を選択



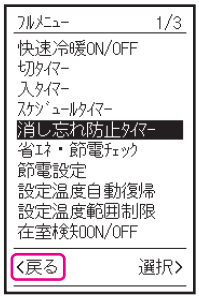
上下ボタンを押し、「**80分**」を選択します。運転開始から何分後に自動で停止させるかを設定します。
設定は10分単位で30～180分までです。

4 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

5 設定の確認方法

基本画面の右上に「🕘」が表示されます。

6 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」（54ページ）を参照してください。

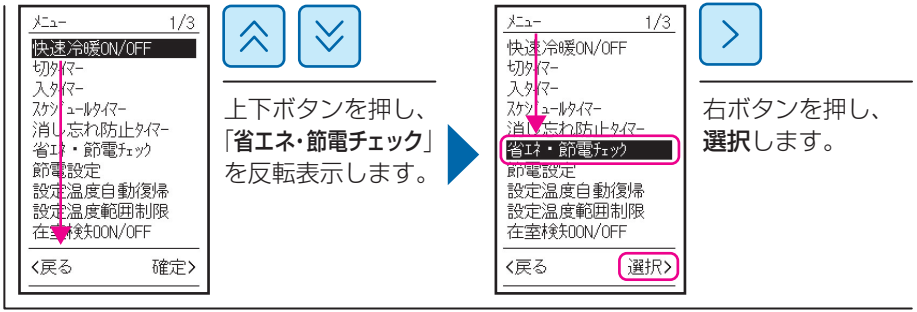
■消費電力量を確認する

過去の消費電力量を本日・前日(2時間単位)、および週(1日単位)、年(1ヶ月単位)で確認することができます。

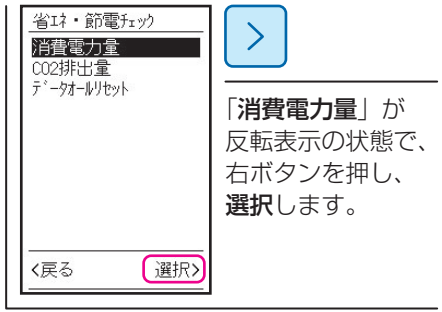
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

- 本機能はあくまでも比較のための参考値になりますので、電力料金の算出や契約電力の検討および法律に基づく温室効果ガス排出量の算出目的に、用いないでください。
  簡易的に消費電力量を算出しているため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。
- 時計設定が必要です。
  「**■時計を設定する**」(141 ページ)を参照してください。
- 機種によっては本機能がないもの(一部機能が制限されるもの)があります。
- グループ制御時は本機能をご使用になれません。

1 省エネ・節電チェックを選択



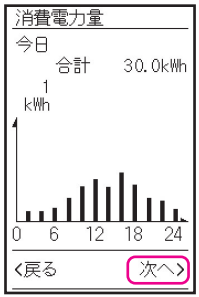
2 消費電力量を選択



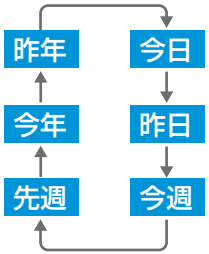
■消費電力量を確認する

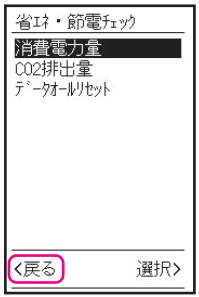
過去の消費電力量を本日・前日(２時間単位)、および週(１日単位)、
年(１ヶ月単位)で確認することができます。

3 消費電力量の確認



右ボタンを押すごとに表示が切り換わります。





基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

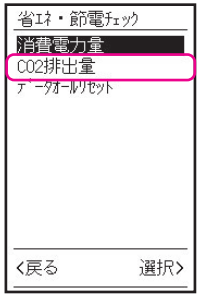
■ CO_2 排出量を確認する

消費電力量をもとにCO_2排出量を表示します。

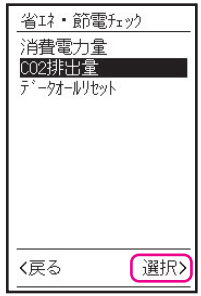
※省エネ・節電チェックの画面表示のしかたは、「**■消費電力量を確認する**」(96ページ)を参照してください。

●あくまでも比較のための参考値になりますので、電力料金の算出や契約電力の検討および法律に基づく温室効果ガス排出量の算出目的に、本機能は用いないでください。
簡易的に消費電力量を算出しているため、電力計などによる計測結果とは異なる場合があります。
●時計設定が必要です。
「**■時計を設定する**」(141 ページ)を参照してください。

1 CO_2排出量を選択

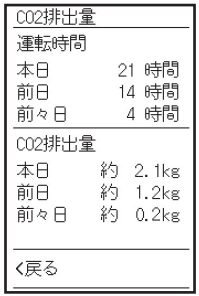


上下ボタンを押し、「**CO2 排出量**」を反転表示します。

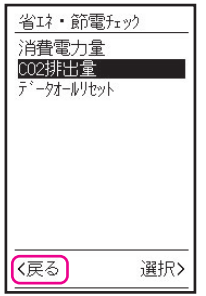


右ボタンを押し、**選択**します。

2 CO_2排出量を確認



CO_2排出量を確認します。



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

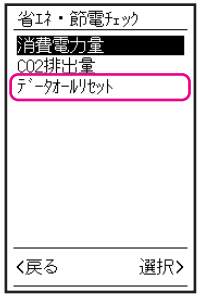
■データをリセットする

過去に記録していた消費電力量、CO_2排出量をすべてリセットします。

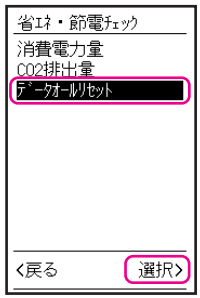
※省エネ・節電チェックの画面表示のしかたは、「**■消費電力量を確認する**」(96ページ)を参照してください。

例）消費電力量・CO_2排出量をリセットする

1 データオールリセットを選択

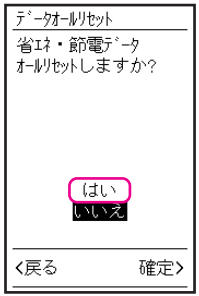


上下ボタンを押し、「**データオールリセット**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

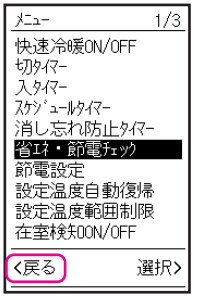
2 データをリセット



上下ボタンを押し、「**はい**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■節電モードを設定する

スマート学習節電(自動)、マニュアル節電(手動)、スケジュール節電(手動)のモードで消費電力を制限した運転を行うことができます。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

●節電中は消費電力のピークを制限するため、室温が設定温度に至らない場合があります。
快適性を優先したい場合は節電モードを無効にするか最大出力を調整してください。
(サーバールームなど人のいない環境でご使用の場合は、必ず本設定が解除されていることを確認してください。)
●節電設定を有効にすると「節　電」、動作中は「節電中」が表示されます。

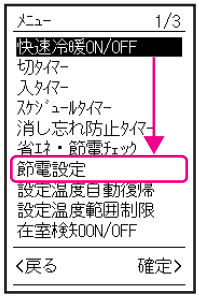
マニュアル節電　定格電力を 100% として設定した最大出力 (%) 以下で節電します。

スケジュール節電　スケジュールにしたがってマニュアル節電と同じ動作を行います。時計設定が必要です。「**■時計を設定する**」(141 ページ) を参照してください。

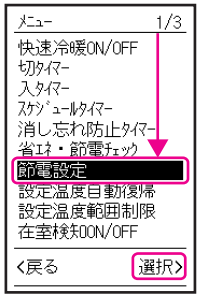
スマート学習節電　実際のピーク電力を予測し、そのピーク電力を 100% として設定した最大出力 (%) 以下で節電します。

例)「スケジュール節電」に設定する

1 節電設定を選択

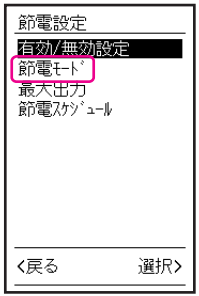


上下ボタンを押し、「**節電設定**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 節電モードを選択

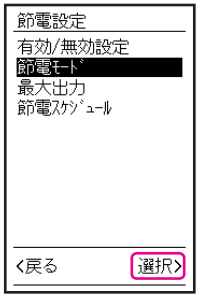


上下ボタンを押し、「**節電モード**」を反転表示します。

■節電モードを設定する

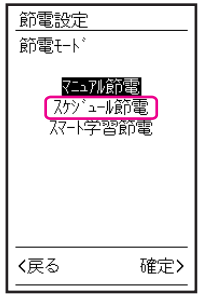
スマート学習節電(自動)、マニュアル節電(手動)、スケジュール節電(手動)のモードで消費電力を制限した運転を行うことができます。

3 節電モードに移行



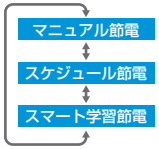
右ボタンを押し、**選択**します。

4 節電モードを選択



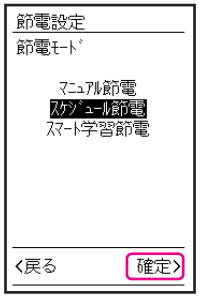
「**スケジュール節電**」を選択します。

●上下ボタンを押すごとに「**マニュアル節電**」・「**スケジュール節電**」・「**スマート学習節電**」が切り換わります。



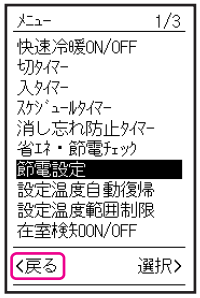
●設定可能なモードのみ表示されます。
●冷暖自動・ドライ運転時はスマート学習節電機能はご使用になれません。
●各節電モードの詳細は次ページを参照してください。

5 設定を確定



右ボタンを押し、設定を**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

6 有効/無効の確認・変更

「■メニュー設定の有効 / 無効」（54 ページ）を参照してください。

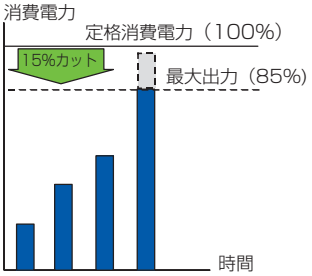
■節電モードを設定する

スマート学習節電(自動)、マニュアル節電(手動)、スケジュール節電(手動)
のモードで消費電力を制限した運転を行うことができます。

マニュアル・スケジュール節電およびスマート学習節電について

【マニュアル・スケジュール節電】

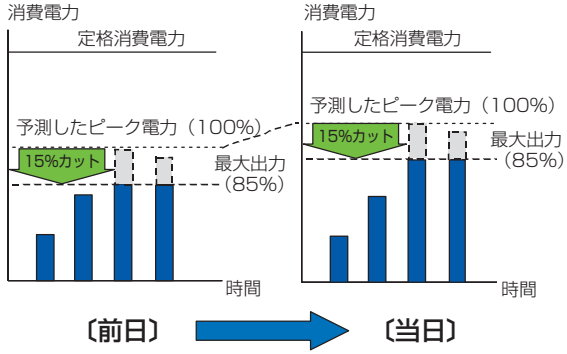
定格消費電力を100%とし、設定した最大出力を超えないように制御します。



マニュアル・スケジュール節電
（例：最大出力85%設定時）

【スマート学習節電】

予測したピーク電力を100%とし、設定した最大出力を超えないように制御します。



スマート学習節電
（例：最大出力85%設定時、前日の負荷が高いとき）

- ●スマート学習節電は、前日の負荷から予測したピーク電力を基準としているため、消費電力量が増減する場合があります。
- ●極端に運転率の低い環境下においては学習データが更新されません。
- ●スマート学習節電中の風向制御は工場出荷時、冷房運転時「スイング」、暖房運転時「水平吹き」になります。
  （お好みに応じて任意の風向設定が可能です。）※風向制御に対応した機種のみ。

■最大出力を設定する

最大出力を40～100%の範囲（5%刻み）で設定できます。

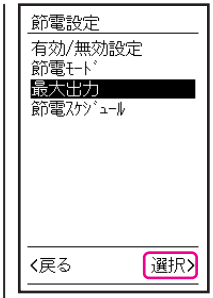
※節電設定画面の表示のしかたは、「**■節電モードを設定する**」（100ページ）手順*1*を参照してください。

●最大出力 100%は定格時の出力となります。実際には周囲環境の影響などにより定格値以上で運転する場合があるため、100%で設定しても出力に制限がかかります。制限をかけずに通常の運転を行いたい場合は、節電設定を無効にしてください。
●機種によっては 40%、70%のみの対応となります。

●スマート学習節電時は、極端な能力低下をさけるため室内の温度がリモコン設定温度から大きく外れた場合、節電を一時的に解除します。最大出力 70 ～ 100% の範囲でのご使用をおすすめします。

例）最大出力 70%に設定する場合

1 最大出力モードに移行



右ボタンを押し、**選択**します。

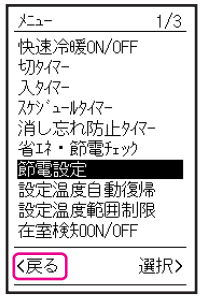
2 最大出力を変更

上下ボタンを押し、「**70%**」を選択します。

3 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■節電スケジュールを設定する

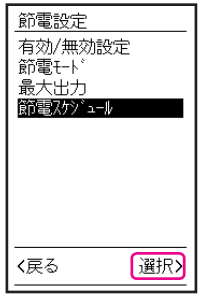
曜日ごとに４件の節電スケジュールを登録できます。

※節電設定画面の表示のしかたは、「**■節電モードを設定する**」(100ページ)手順**1**を参照してください。

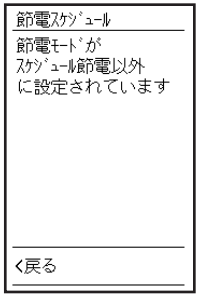
●曜日ごとの時間スケジュールに40 ～ 100%の範囲(５%刻み)で最大出力 (%) を設定できます。(スケジュール節電モード時)

例）月曜日～金曜日
9:30 最大出力　90%
12:00 最大出力　OFF
13:00 最大出力 100%
17:30 最大出力　70%
に設定する場合

1 節電スケジュールに移行



右ボタンを押し、**選択**します。

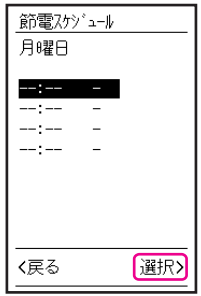


節電モードで、スケジュール節電を選択してください。「**■節電モードを設定する**」(100ページ)を参照してください。

2 曜日を選択

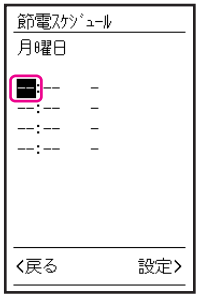
右ボタンを押し、**選択**します。

3 時間設定に移行



右ボタンを押し、**選択**します。

4 時間を設定

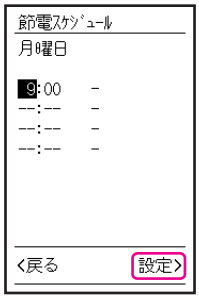


上下ボタンを押し、「**9**」を選択します。

■節電スケジュールを設定する

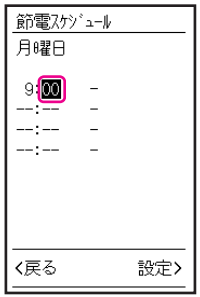
曜日ごとに４件の節電スケジュールを登録できます。

5 分設定に移行



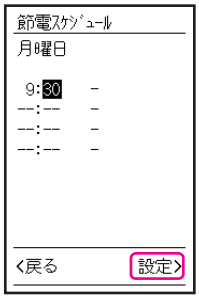
右ボタン押し、**設定**します。

6 分を設定



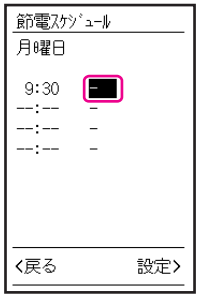
上下ボタンを押し、「**30**」を選択します。

7 最大出力設定に移行



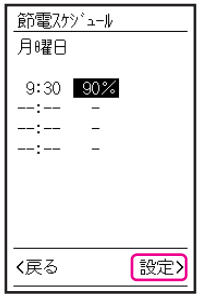
右ボタンを押し、**設定**します。

8 最大出力を設定



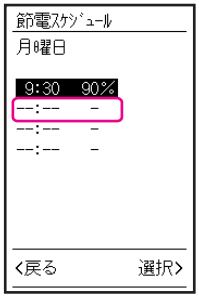
上下ボタンを押し、「**90%**」を選択します。

9 設定を確定



右ボタンを押し、**設定**します。

10 次の設定に移行

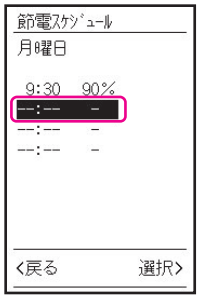


下ボタンを押し、移動します。

■節電スケジュールを設定する

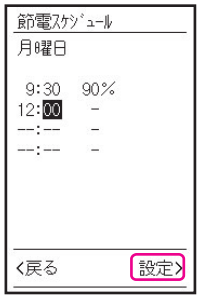
曜日ごとに４件の節電スケジュールを登録できます。

11 時刻を設定



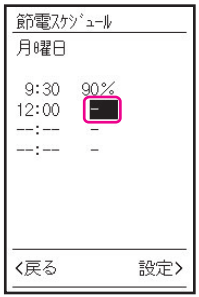
手順**3**～**7**に沿って、時刻を「**12:00**」に設定します。

12 最大出力設定に移行



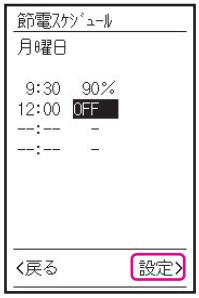
右ボタンを押し、**設定**します。

13 最大出力を設定



下ボタンを押し、「**OFF**」を選択します。

14 設定を確定



右ボタンを押し、**設定**します。

15 次の設定に移行

下ボタンを押し、移動します。

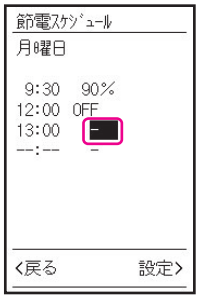
16 時刻を設定

手順**3**～**7**に沿って、時刻を「**13:00**」に設定します。

■節電スケジュールを設定する

曜日ごとに4件の節電スケジュールを登録できます。

17 最大出力を設定

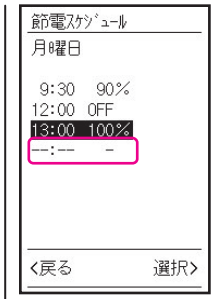


下ボタンを押し、「100%」を選択します。

18 設定を確定

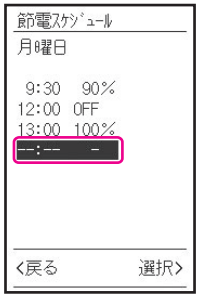
右ボタンを押し、**設定**します。

19 次の設定に移行



下ボタンを押し、移動します。

20 時刻を設定



手順 *3*~*7* に沿って、時刻を「17:30」に設定します。

21 最大出力を設定

下ボタンを押し、「70%」を選択します。

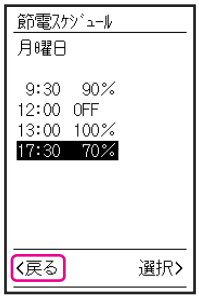
22 設定を確定

右ボタンを押し、**設定**します。

■節電スケジュールを設定する

曜日ごとに４件の節電スケジュールを登録できます。

23 設定の確定に移行



設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを
押します。

24 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。
※設定を取り消す場合は、
上下ボタンを押して
「いいえ」を反転表示し、
右ボタンで
確定します。

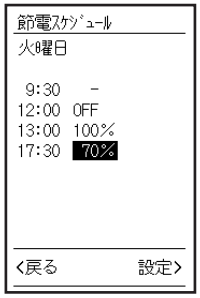
設定完了

25 曜日を設定

下ボタンを押し、
設定する曜日を
反転表示します。

26 ほかの曜日の設定

右ボタンを押し、
選択します。
手順 ***3***～***24*** に
沿って設定します。

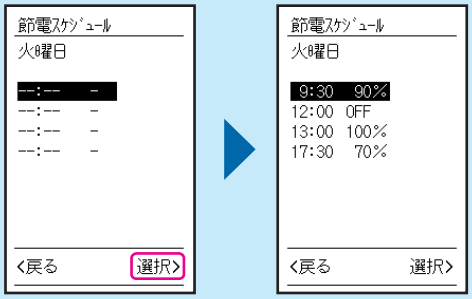


その他の曜日も
同様の手順で設定
してください。

■節電スケジュールを設定する

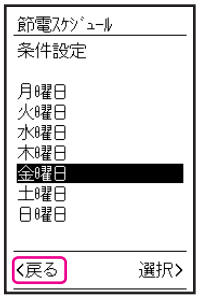
曜日ごとに４件の節電スケジュールを登録できます。

前日の設定をコピーする場合



※前日の設定をコピーしたい場合は曜日を選択後、右ボタンを3秒以上長押しすると前日の内容がそのままコピーされます。

27 基本画面に戻る



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

28 有効/無効の確認・変更

「**■メニュー設定の有効 / 無効**」（54 ページ）を参照してください。

■エコモードを設定する

冷房、暖房ごとに冷媒温度を自動制御し、消費エネルギーを抑えた運転を行うことができます。
省エネ性の優先度合い(エコレベル)は、標準・弱から選択できます。

●冷房時に湿度などが気になる場合は、エコレベルを弱にするか、冷房のエコモード設定を無効にしてください。
暖房時に吹き出す風が寒く感じる場合は、エコレベルを弱にするか、暖房のエコモード設定を無効にしてください。

●エコモードを有効にすると「ECO」、エコモードで運転中は「ECO」が表示されます。

●機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。

エコレベル設定について

●エコレベル設定の切換えにより、省エネ性の優先度合いを変更できます。

エコレベル設定

標準：室内ユニットの設定温度と室内温度から必要な能力を見張って省エネ性を優先した運転を行う設定です。
弱　：標準設定での空調時に湿度が高く感じられる（冷房）、吹き出し温度が低い（暖房）など不快に感じられた場合は本設定としてください。省エネ制御を弱めます。

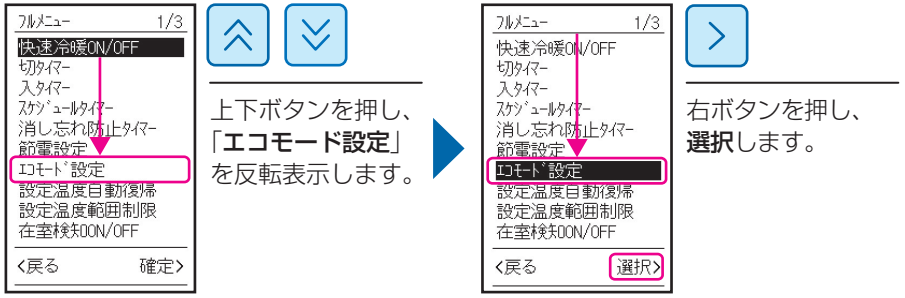
■エコモードを設定する

冷房、暖房ごとに冷媒温度を自動制御し、消費エネルギーを抑えた運転を行うことができます。
省エネ性の優先度合い(エコレベル)は、標準・弱から選択できます。

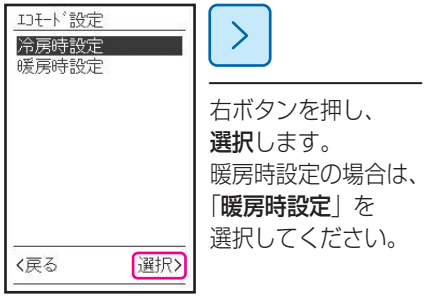
※メニュー画面の表示のしかたは、「■画面を切り換える」(17ページ)を参照してください。

例）冷房設定時
エコレベル設定を
弱にする場合

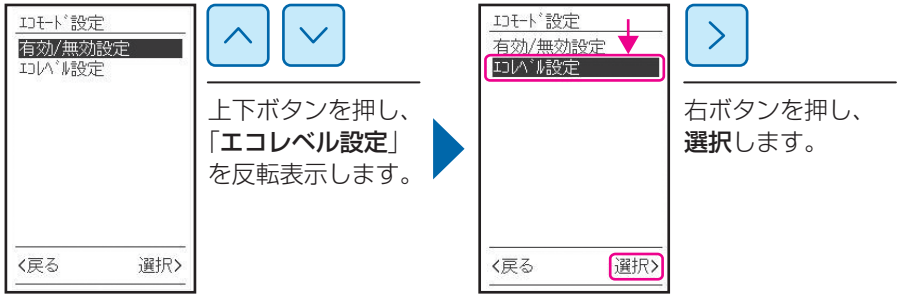
1 エコモード設定を選択



2 設定項目を選択



3 エコレベル設定を選択



■エコモードを設定する

冷房、暖房ごとに冷媒温度を自動制御し、消費エネルギーを抑えた運転を行うことができます。
省エネ性の優先度合い(エコレベル)は、標準・弱から選択できます。

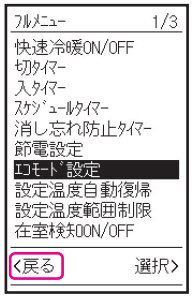
4 エコレベル設定を変更

上下ボタンを押し、「**弱**」を選択します。

5 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

6 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」
(54 ページ) を参照してください。

■設定温度自動復帰を設定する

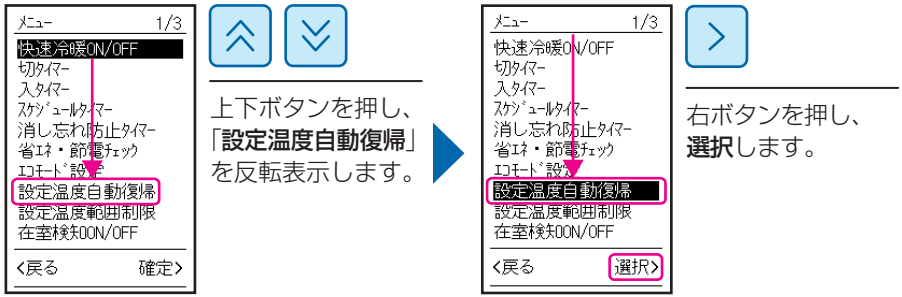
リモコンの設定温度を変更しても一定時間後に設定した温度に戻します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

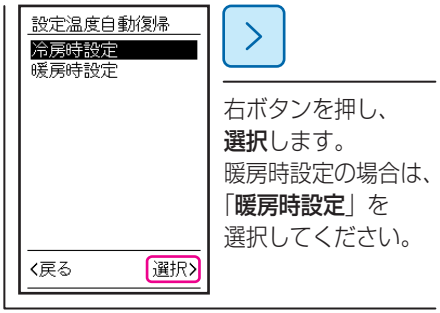
●設定時間は 30 分単位で 30 ～ 120 分まで選択可能です。
(冷暖自動運転時は機能しません。)

例) 冷房設定時
60 分後に 28℃に
設定温度自動復帰
させる場合

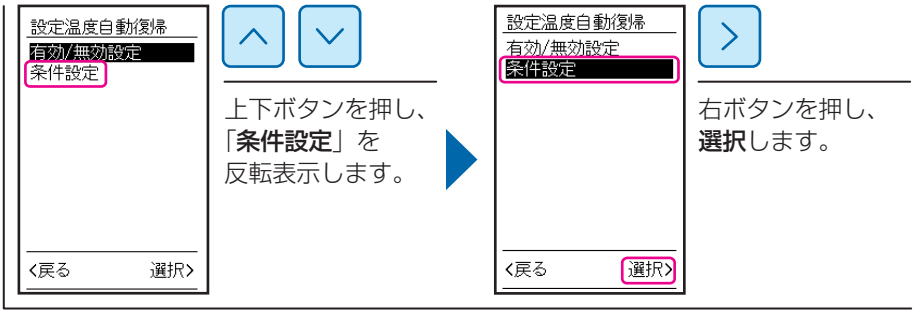
1 設定温度自動復帰を選択



2 設定項目を選択



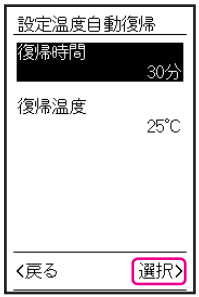
3 条件設定を選択



■設定温度自動復帰を設定する

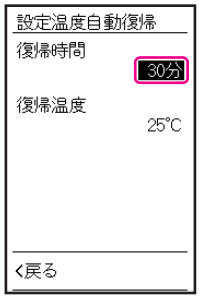
リモコンの設定温度を変更しても一定時間後に設定した温度に戻します。

4 復帰時間設定に移行



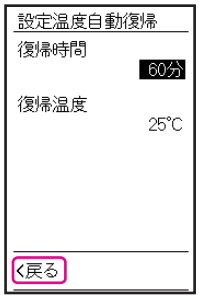
「**復帰時間**」が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**選択**します。

5 復帰時間を選択



上下ボタンを押し、「**60分**」を選択します。
復帰時間は、「**30分 60分 90分 120分**」から選択できます。

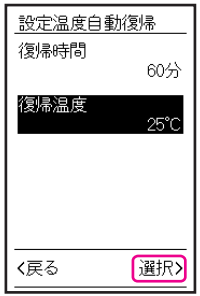
6 選択画面に戻る



前の画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

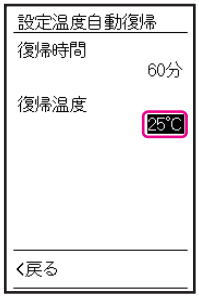
7 復帰温度を選択

上下ボタンを押し、「**復帰温度**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

8 復帰温度を変更



上下ボタンを押し、「**28℃**」を選択します。
復帰温度は、
冷房時：20℃～35℃
暖房時：15℃～30℃
から選択できます。

■設定温度自動復帰を設定する

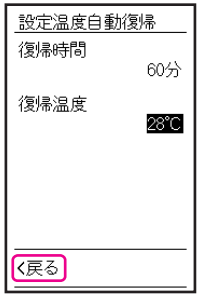
リモコンの設定温度を変更しても一定時間後に設定した温度に戻します。

復帰温度を変更

●室内ユニットの設定温度可能範囲と同じですが、機種によってはこれと異なる場合があります。

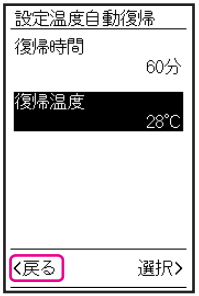
※親機の室内ユニットからの指定設定です。

9 選択画面に戻る



選択画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

10 設定の確定に移行

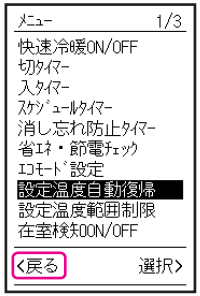


設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを押します。

11 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、
上下ボタンを押して
「いいえ」を反転表示し、
右ボタンで
確定します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

12 有効／無効の確認・変更

「■メニュー設定の有効／無効」
（54 ページ）を参照してください。

■設定温度範囲制限を設定する

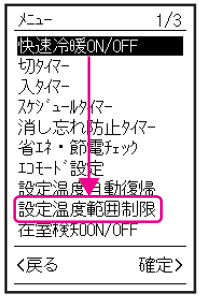
設定温度範囲を制限します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

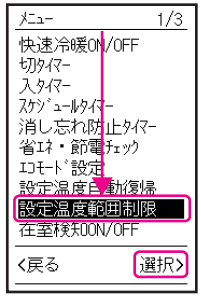
●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。
(冷暖自動運転時は機能しません。)

例）冷房温度範囲を
上限 30℃
下限 25℃
に設定する場合

1 設定温度範囲制限を選択

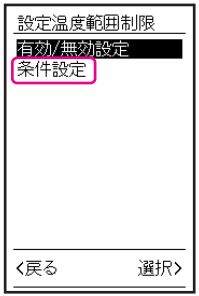


上下ボタンを押し、「**設定温度範囲制限**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

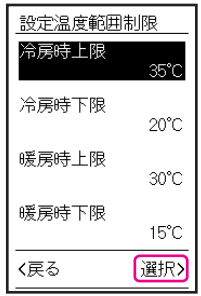
2 条件設定を選択



上下ボタンを押し、「**条件設定**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

3 冷房上限設定に移行



「**冷房時上限**」が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**選択**します。

■設定温度範囲制限を設定する

設定温度範囲を制限します。

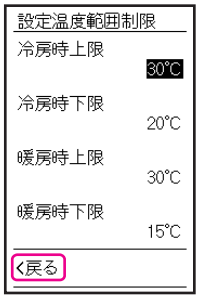
4 冷房上限温度を変更

上下ボタンを押し、「**30℃**」を選択します。
上限温度は、「**20℃～35℃**」の間で選択できます。

●設定できる温度範囲は、以下のとおりです。
冷房時：下限 20℃ 上限 35℃
暖房時：下限 15℃ 上限 30℃

●室内ユニットの設定温度可能範囲と同じですが、機種によってはこれと異なる場合があります。
※下限・上限とも親機の室内ユニットからの指定設定です。

5 選択画面に戻る

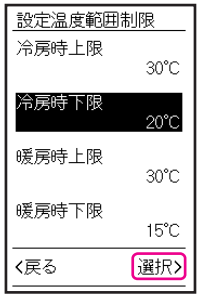


選択画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

6 冷房時下限を選択

下ボタンを押し、「**冷房時下限 20℃**」を反転表示します。

7 冷房下限設定に移行



右ボタンを押し、**選択**します。

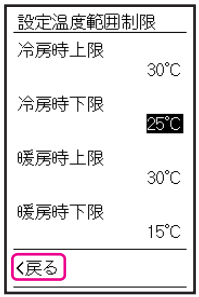
8 冷房下限温度を変更

上下ボタンを押し、「**25℃**」を選択します。
下限温度は、「**20℃～35℃**」の間で選択できます。

■設定温度範囲制限を設定する

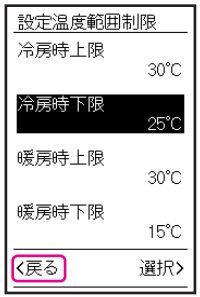
設定温度範囲を制限します。

9 設定を完了



選択画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。暖房時の温度範囲を制限する場合は、手順 *3*~*8* と同様に設定します。

10 設定確定に移行



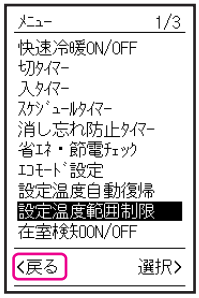
設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを押します。

11 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、
上下ボタンを押して
「いいえ」を反転表示し、
右ボタンで
確定します。

設定完了

設定を確定



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

12 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」
（54 ページ）を参照してください。

■在室検知 ON/OFF について

人のいる・いないを検知して、自動で運転の停止または復帰を行います。

「不在時 OFF のみ」・「不在時 OFF・在室時 ON」のどちらかの機能を選択できます。
どちらの機能も、不在を検知する時間は、30・60・90・120・150・180 分から選択できます。

※機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
※本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログ等をご覧ください。
※サーバールームなど人のいない環境でご使用の場合は、必ず本設定が無効となっていることを確認してください。

不在時 OFF のみ **…人の不在を検知して、自動で運転停止します。**

●不在を検知して運転停止すると、運転ランプは消灯し、システム全体が停止します。
●運転を再開したい場合は、運転 / 停止ボタンを押してください。
●グループ制御時は設定できません。（※1）

不在時 OFF・在室時 ON **…人の不在を検知して運転停止し、その後、在室を検知すると自動で運転を開始します。**

●不在を検知して運転停止したあとも、運転ランプは点灯し、運転待機状態となります。
●待機電力低減機能は働きません。
●タイマー設定や運転 / 停止ボタンを押してシステム全体を停止させた場合、本機能は働きません。
●機械保護のため、運転待機状態の室内ユニットが運転することがあります。
●グループ接続時も設定が可能です。
　グループ接続の場合、不在時OFF・在室時ONの制御は個々の室内ユニットで行います。

※1 室内ユニットが 1 台、または同時運転マルチが 1システムのみの場合は、全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットとのグループ接続が可能です。

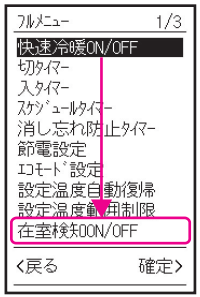
■在室検知 ON/OFF を設定する

人のいる・いないを検知して、自動で運転の停止または復帰を行います。

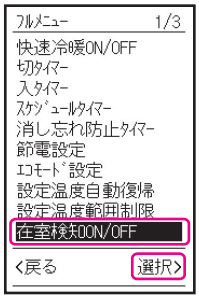
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

例）下記の設定にする
■不在時　60 分後に運転 OFF
■在室時　運転 ON

1 在室検知ON/OFFを選択



上下ボタンを押し、「**在室検知 ON/OFF**」を反転表示します。

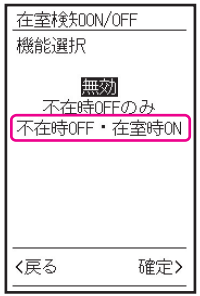


右ボタンを押し、**選択**します。

2 機能選択を選択

「**機能選択**」が反転表示した状態で右ボタンを押し、**選択**します。

3 不在時OFF・在室時ONを選択



上下ボタンを押し、「**不在時 OFF・在室時 ON**」を反転表示します。

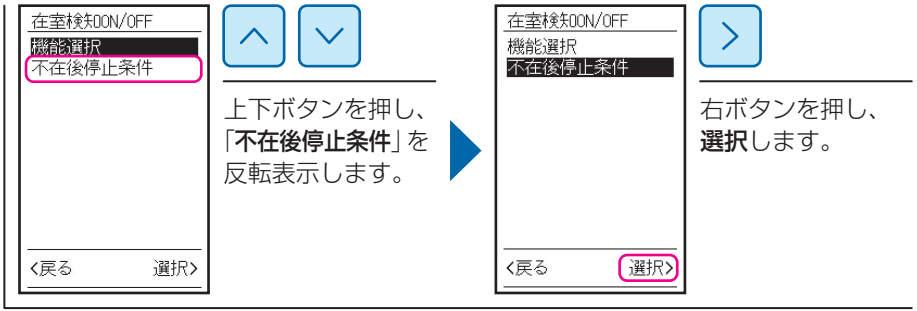
4 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。

■在室検知 ON/OFF を設定する

人のいる・いないを検知して、自動で運転の停止または復帰を行います。

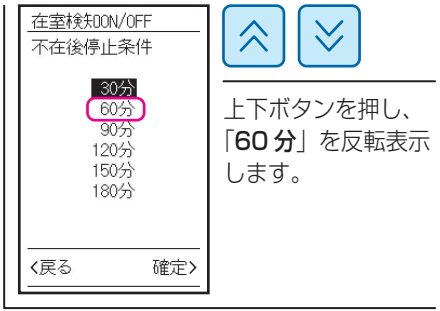
5 不在後停止条件を選択



上下ボタンを押し、「**不在後停止条件**」を反転表示します。

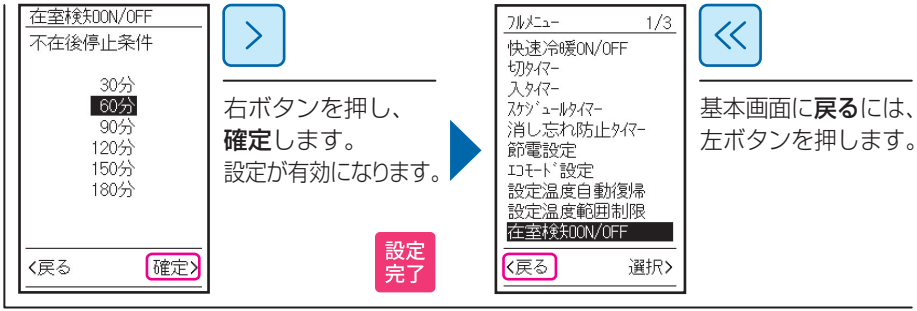
右ボタンを押し、**選択**します。

6 不在後停止条件を設定



上下ボタンを押し、「**60 分**」を反転表示します。

7 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。

設定完了

基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

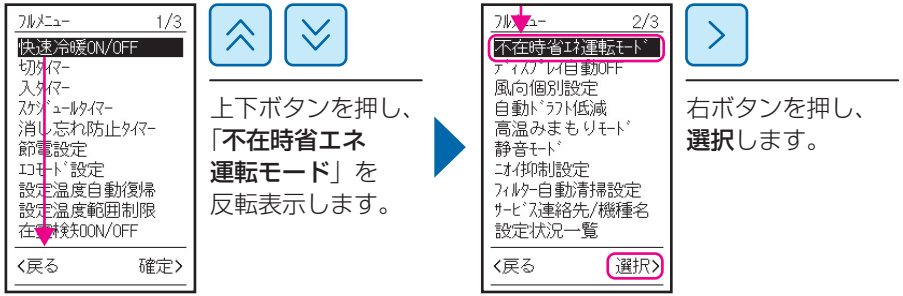
■不在時の省エネ運転モードを設定する

人がいない状態が一定時間続いた場合、自動で空調目標温度を変化させて
能力を制限した運転を行います。人を検知すると通常の設定温度に戻します。

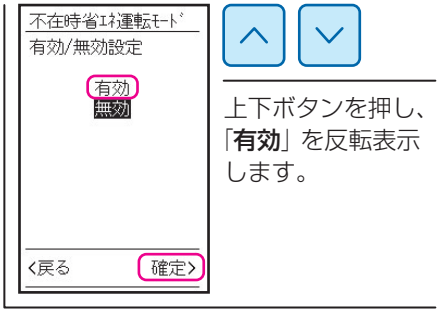
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

- ●機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- ●本機能の有無については、室内ユニットに付属の取扱説明書・カタログ等をご覧ください。
- ●サーバールームなど人のいない環境でご使用の場合は、必ず本設定が無効となっていることを確認してください。
- ●グループ制御時は本機能はご使用になれません。

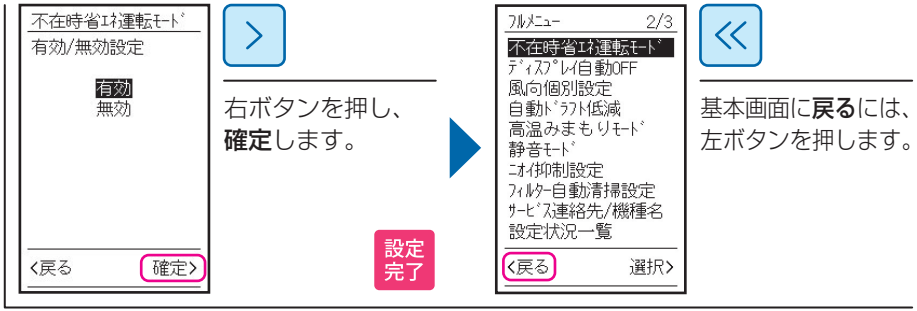
1 不在時省エネ運転モードを選択



2 有効/無効設定



3 設定を確定



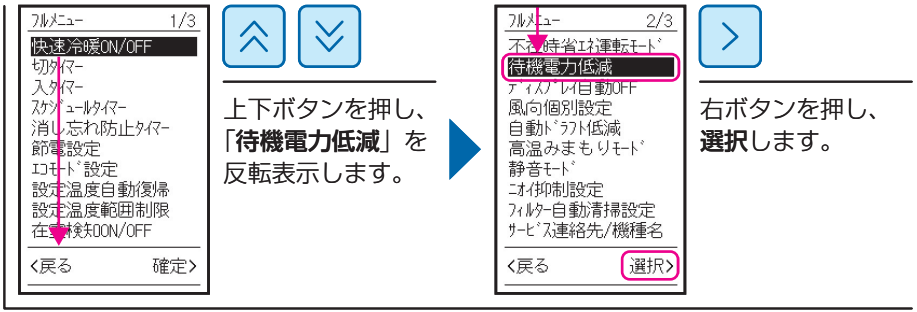
■待機電力低減を設定する

運転停止中にシステムの待機電力を低減することができます。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

- ●メニューリストから設定の有効／無効が選択できます。
  本機能がないシステムについては表示されません。
- ●グループ制御時は本機能はご使用になれません。
- ●待機電力低減機能は、対応可能な室内ユニットと室外ユニットの組合わせで動作します。
  対応可能機種につきましては、お買い上げの販売店にお問合わせください。
- ●機器保護のため電源投入後６時間および圧縮機予熱中は待機電力機能に入りません。
- ●待機電力低減機能を有効にするためには、リモコンの設定と室外ユニットの設定が必要です。
  (「**■待機電力設定の確認をする**」(125 ページ))

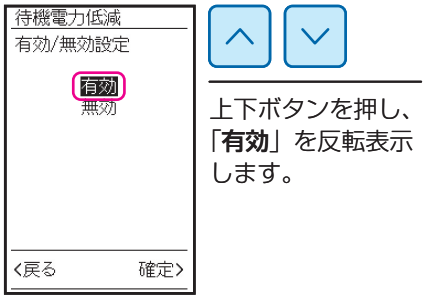
1 待機電力低減を選択



上下ボタンを押し、「**待機電力低減**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

2 有効/無効の選択



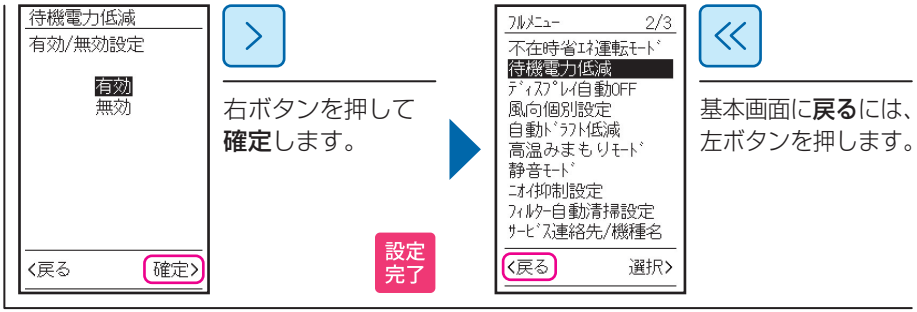
上下ボタンを押し、「**有効**」を反転表示します。

■待機電力低減を設定する

運転停止中にシステムの待機電力を低減することができます。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

3 設定を確定



右ボタンを押して**確定**します。

設定完了

基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■待機電力設定の確認をする

リモコンの設定と室外ユニットの設定が必要です。
室外ユニットが設定されていない場合は、基本画面で「**待機電力　未設定**」を表示します。

基本画面のメッセージ

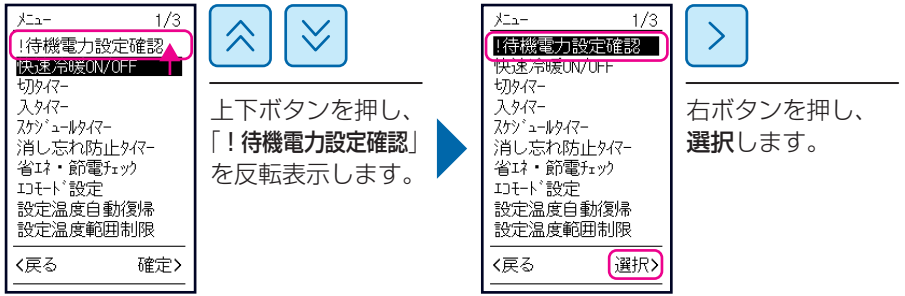
基本画面に「**待機電力　未設定**」の表示がある場合は、待機電力低減機能が使用できません。

待機電力低減機能を使用する場合	待機電力低減機能を使用しない場合
●販売店にご連絡のうえ、この表示が出ていることをお知らせください。	●次の手順で表示を消すことができます。これにより基本画面の表示が消えます。 ●メニュー画面から「**！待機電力設定確認**」「**待機電力低減**」が消えます。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17 ページ）を参照してください。

例）基本画面より「待機電力　未設定」の表示を消す場合

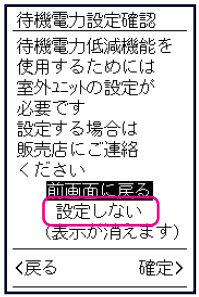
1　！待機電力設定確認を選択



■待機電力設定の確認をする

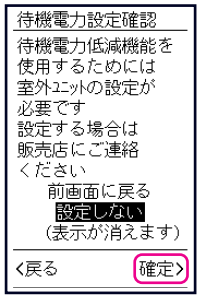
リモコンの設定と室外ユニットの設定が必要です。
室外ユニットが設定されていない場合は、基本画面で「**待機電力　未設定**」をお知らせします。

2 設定しないを選択



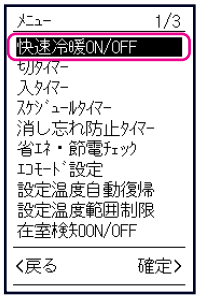
上下ボタンを押し、「**設定しない**」を反転表示します。

3 設定を確定



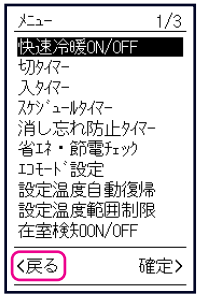
右ボタンを押し、設定を**確定**します。
設定を確定すると次回より変更ができなくなります。

設定完了



メニューから「**！待機電力設定確認**」の表示が消えます。

4 設定の確認



基本画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

基本画面から「**待機電力　未設定**」の表示が消えます。

■ディスプレイ自動 OFF を設定する

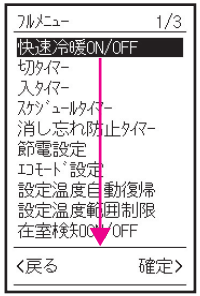
運転停止中にリモコンの液晶表示を消すことができます。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

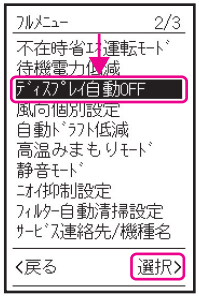
●いずれかのボタンを押すと再表示します。
※「**10 分**」・「**30 分**」・「**60 分**」・「**OFF**」を選択できます。
初期設定は 30 分です。
※運転停止中でも換気運転を行っているときはリモコンの液晶は消えません。

例）60 分後にリモコンの液晶を自動で OFF させる場合

1 ディスプレイ自動OFFを選択する

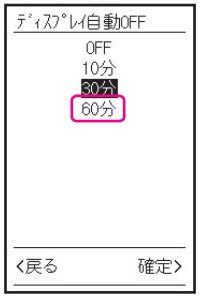


上下ボタンを押し、**「ディスプレイ自動 OFF」**を反転表示します。



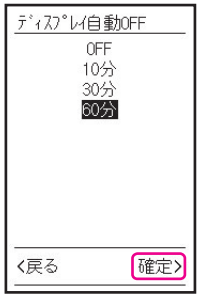
右ボタンを押し、**選択**します。

2 時間を選択



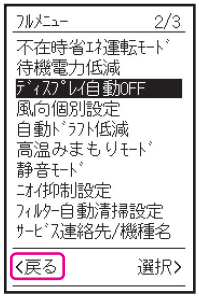
上下ボタンを押し、**「60 分」**を反転表示します。

3 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■ローテーション運転について

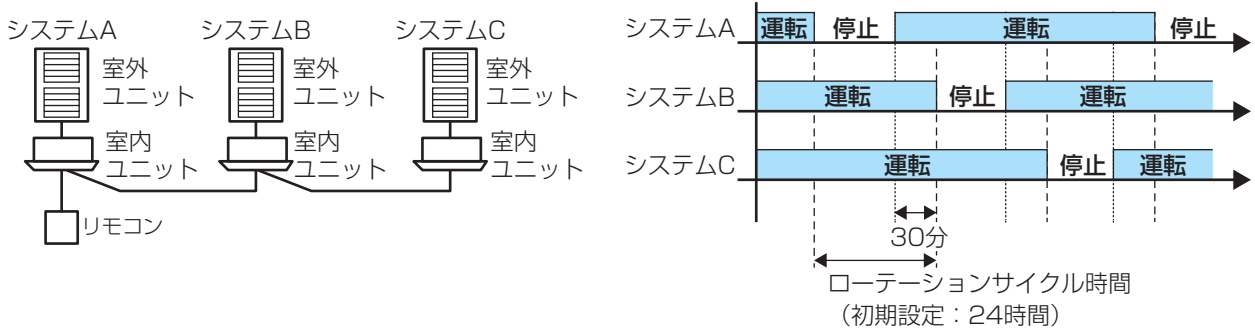
エアコンの運転時間が偏らないように制御します。

グループ制御時に、リモコンで設定したローテーションサイクルの周期で、1システムのユニットを順に停止(※)させることで、運転時間の偏りを低減します。
適切な負荷選定を行ったうえでご使用ください。

※システム上は運転状態で、ファンと圧縮機を停止します。

- ローテーションサイクル時間は、「**12 時間・24 時間・48 時間・72 時間・96 時間**」から選択できます。
- グループ内のユニットが異常で停止した場合、ローテーション中のユニットの運転を開始して、異常停止したユニットの能力を補います。
- 機械保護のため、停止している室内ユニットが運転することがあります。
- 運転状態を安定させてローテーションの切換えを行うため設定した停止時間より 30 分早く運転を始めます。
- 機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- 全熱交換器ユニットが接続されている場合は、本機能を設定できません。
- グループ内の室内ユニットがすべて本機能に対応している場合のみ設定可能です。

（例）



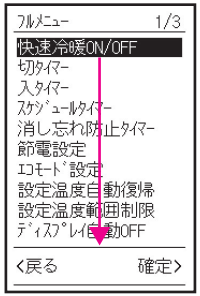
■ローテーション運転を設定する

エアコンの運転時間が偏らないように制御します。

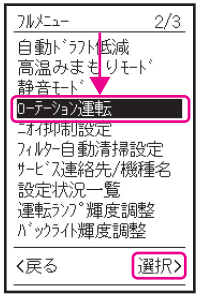
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

例）12時間置きに
ローテーション運転を
設定する

1 ローテーション運転を選択

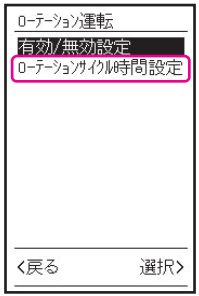


上下ボタンを押し、
「**ローテーション運転**」
を反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 ローテーションサイクル時間設定を選択



上下ボタンを押し、
「**ローテーション
サイクル時間設定**」
を反転表示します。

右ボタンを押し、
選択します。

3 時間を選択

上下ボタンを押し、
「**12時間**」を
反転表示します。

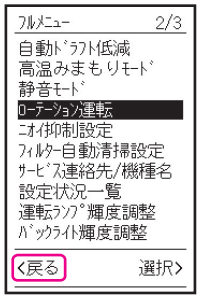
■ローテーション運転を設定する

エアコンの運転時間が偏らないように制御します。

4 設定を確定

右ボタンを押し、
確定します。
設定が有効になります。

設定完了



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

5 有効/無効の確認・変更

「**■メニューの有効 / 無効設定**」
（54 ページ）を参照してください。

■ニオイ抑制設定を使う

冷房時、室温が設定温度に達したとき、においが出るのを抑えるために風量・風向を制限します。

ニオイ抑制設定とは冷房時、室温が設定温度に達したとき、においが出るのを抑えるために風量・風向を制限します。

対象機種

●お使いの室内ユニットが本機能に対応しているかを確認の上、ご使用ください。

●本機能に対応していない室内ユニットには設定しない

元の設定に戻らなくなります。

複数台接続

●スカイエア

・同時運転マルチで対象機種以外の室内ユニットが接続されている場合、本機能を設定しないでください。

●グループ接続時（スカイエア、ビル用マルチ共用）

・対象機種以外の室内ユニットが 1 台でも接続されている場合、本機能を設定しないでください。

■ニオイ抑制設定を使う

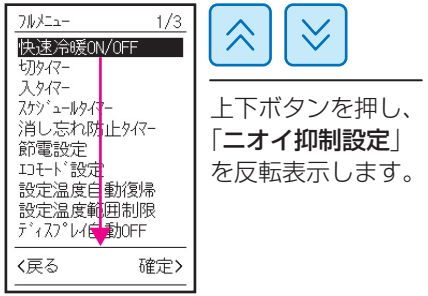
冷房時、室温が設定温度に達したとき、においが出るのを抑えるために風量・風向を制限します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「■画面を切り換える」(17ページ)を参照してください。

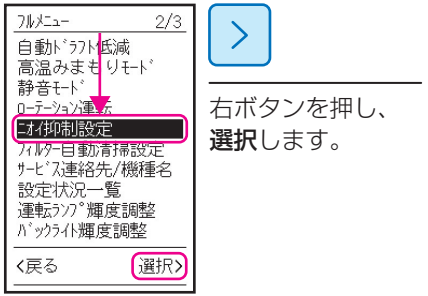
- ●機種によっては本機能がないもの（一部機能が制限されるもの）があります。
- ●サーバールームなど人のいない環境で使用される場合、設定温度に至らない可能性がありますので、ご注意ください。

例）ニオイ抑制設定を「設定 2」にする場合

1 ニオイ抑制設定を選択

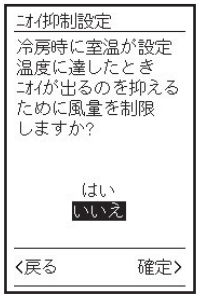


上下ボタンを押し、「**ニオイ抑制設定**」を反転表示します。

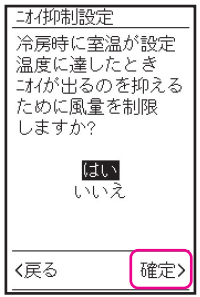


右ボタンを押し、**選択**します。

2 「はい」を選択

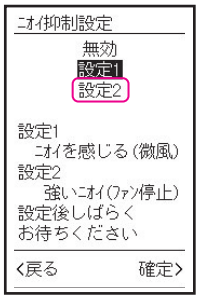


上下ボタンを押し、「**はい**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**確定**します。

3 設定項目を選択



上下ボタンを押し、「**設定2**」を反転表示します。

■ニオイ抑制設定を使う

冷房時、室温が設定温度に達したとき、においが出るのを抑えるために風量・風向を制限します。

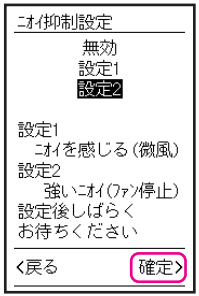
設定項目を選択

無効 ニオイ抑制設定を解除します。
（風量、風向をリモコン設定に戻します。）

設定 1 においを感じるときに設定します。
（冷房時、室温が設定温度に達したとき、風量を微風、風向を水平吹出しにする場合があります。）

設定 2 強いにおいを感じるときに設定します。
（冷房時、室温が設定温度に達したとき、ファンを停止する場合があります。）
※冷房時：ファン停止中、気流の影響で冷えないと感じる場合があります。
暖房時：床温度センサーが効かなくなるため、暖まりにくくなる場合があります。

4 設定項目を確定

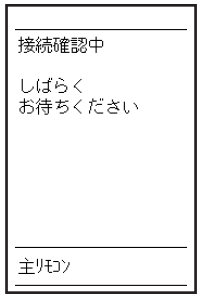


右ボタンを押し、**確定**します。

5 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、上下ボタンを押して「いいえ」を反転表示し、右ボタンで確定します。

設定完了



画面表示が「**しばらくお待ちください**」に切り換ります。
しばらくすると、基本画面に戻ります。

■換気量を変更する

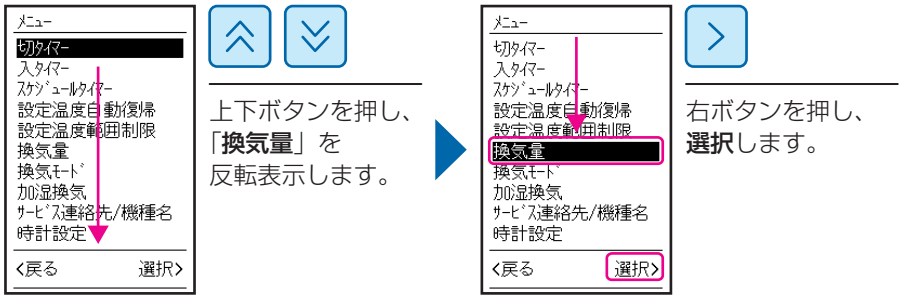
（エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合）

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

●フレッシュアップ
室内への給気量と室外への排気量は通常は同風量ですが、対応機種では
フレッシュアップ設定をすることにより給気量と排気量に差をつけることができます。
フレッシュアップ設定をすることにより、室内への臭気や湿気の流入を抑えたり、
室内で発生した臭気や湿気が流出することを防ぐのに効果的な運転ができます。
対応機種の確認や設定は販売店へお問い合わせください。

例）換気量を強にする

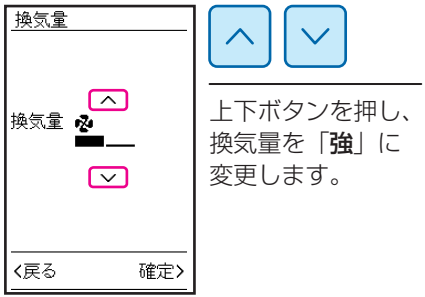
1 換気量を選択



上下ボタンを押し、「**換気量**」を反転表示します。

右ボタンを押し、**選択**します。

2 換気量を変更

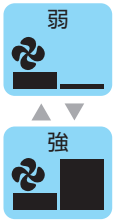


上下ボタンを押し、換気量を「**強**」に変更します。

■換気量を変更する

（エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合）

換気量を変更

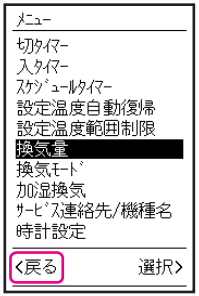


●上下ボタンを押すごとに「**弱**」と「**強**」が切り換わります。

3 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。

設定完了



基本画面に戻るには、左ボタンを押します。

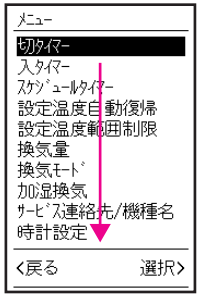
■換気モードを変更する

（エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合）

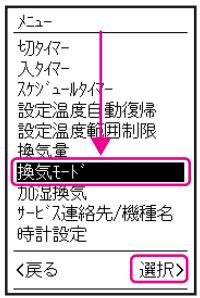
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

例）全熱換気に設定する場合

1 換気モードを選択

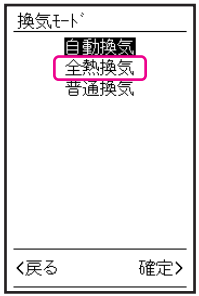


上下ボタンを押し、「**換気モード**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 換気モードを変更



上下ボタンを押し、「**全熱換気**」を反転表示します。

●ボタンを押すごとに変わります。

換気モードについて

自動換気：エアコンからの情報（冷房・暖房・送風および設定温度）と全熱交換器ユニットの情報（室内・室外温度）により「全熱換気」・「普通換気」の自動切換運転をします。

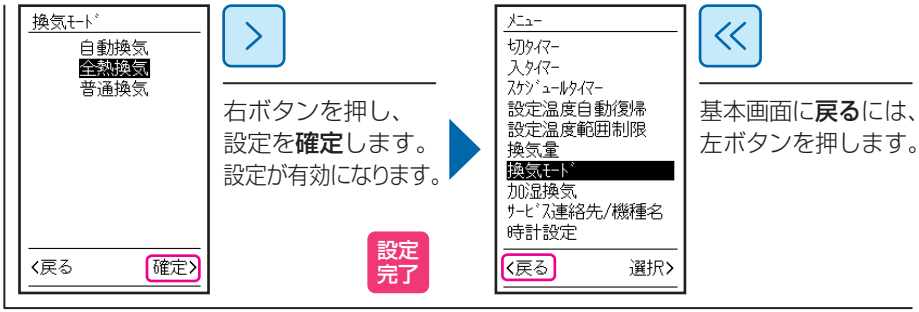
全熱換気：外気は熱交換されて室内に供給されます。

普通換気：外気は熱交換されずに室内に供給されます。

■換気モードを変更する

（エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合）

3 設定を確定



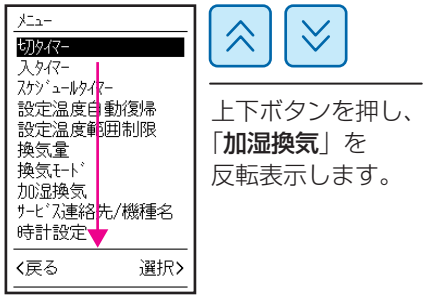
■加湿換気を有効にする

（エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合）

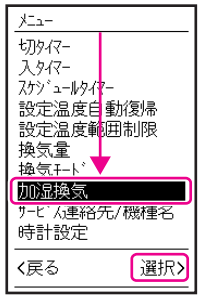
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

例）加湿換気を有効にする

1 加湿換気を選択

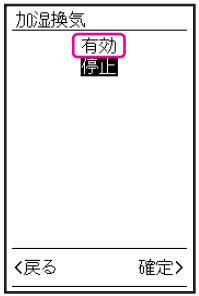


上下ボタンを押し、「**加湿換気**」を反転表示します。



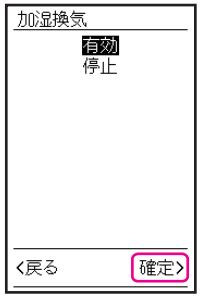
右ボタンを押し、**選択**します。

2 有効を選択



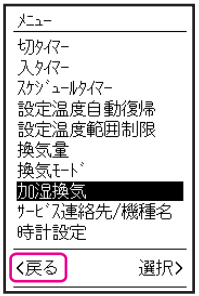
上下ボタンを押し、「**有効**」を反転表示します。

3 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

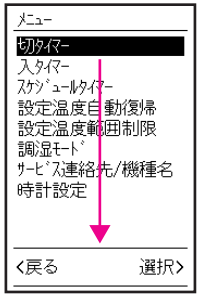
■調湿モードを変更する

（エアコンと調湿外気処理ユニットを連動させている場合）

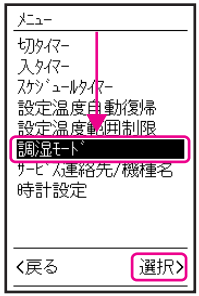
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

例）調湿モードを除湿にする

1 調湿モードを選択

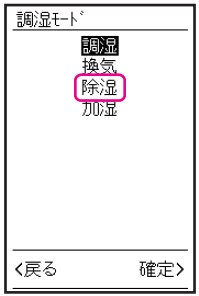


下ボタンを押し、「**調湿モード**」を反転表示します。



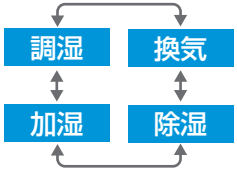
右ボタンを押し、**選択**します。

2 調湿モードを変更



上下ボタンを押し、「**除湿**」を反転表示します。

●ボタンを押すごとに変わります。



調湿モードについて

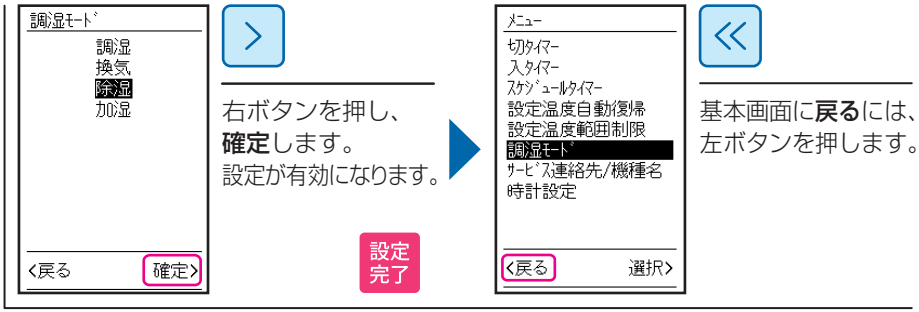
調湿：室内と室外の湿度により「**除湿**」・「**加湿**」・「**換気**」を自動で切り換えて、外気を調湿し室内に供給します。
換気：外気をそのまま室内に供給します。
除湿：室内の湿度を下げるために「**除湿**」・「**換気**」を切り換えて外気を調湿して室内に供給します。
加湿：室内の湿度を上げるために「**加湿**」・「**換気**」を切り換えて外気を調湿して室内に供給します。

■調湿モードを変更する

（エアコンと調湿外気処理ユニットを連動させている場合）

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

3 設定を確定



■時計を設定する

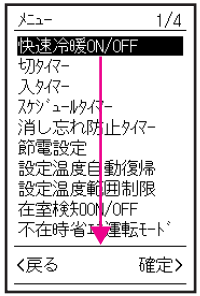
日付・時刻の設定および修正を行います。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

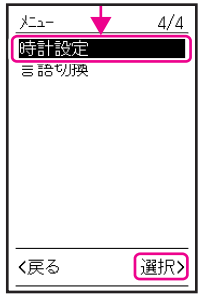
- 時刻は 24 時間表示です。
- 時計精度は ±30 秒／月以内です。
- 48 時間以内の停電の場合、内蔵のバックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。
  48 時間を超える停電の場合、再設定が必要です。

例）2018 年 4 月 15 日 15:30 に設定する場合

1 時計設定を選択



上下ボタンを押し、「**時計設定**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 西暦設定に移行

「**年**」が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**選択**します。

3 西暦を変更

上下ボタンを押し、「**2018**」を選択します。

4 西暦を確定

選択画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

■時計を設定する

日付・時刻の設定および修正を行います。

5 月を選択

上下ボタンを押し、「**月**」を反転表示します。

6 月の設定に移行

右ボタンを押し、**選択**します。

7 月を変更

上下ボタンを押し、「**4**」を選択します。

8 月を確定

選択画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

9 日を選択

上下ボタンを押し、「**日**」を反転表示します。

10 日の設定に移行

右ボタンを押し、**選択**します。

■時計を設定する

日付・時刻の設定および修正を行います。

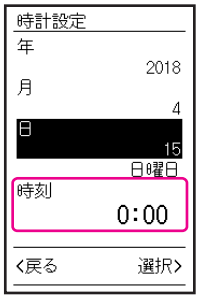
11 日を変更

上下ボタンを押し、「15」を選択します。

12 日を確定

選択画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

13 時刻を選択



上下ボタンを押し、「**時刻**」を反転表示します。

14 時刻の設定に移行

右ボタンを押し、**選択**します。

15 時間を変更

上下ボタンを押し、「15」を選択します。

16 分の設定に移行

右ボタンを押し、分の設定に移動します。

■時計を設定する

日付・時刻の設定および修正を行います。

17 分を変更

上下ボタンを押し、
「30」を選択します。

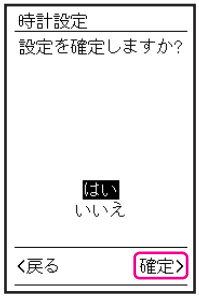
18 分を確定

右ボタンを押し、
次へ移行します。

19 設定の確定に移行

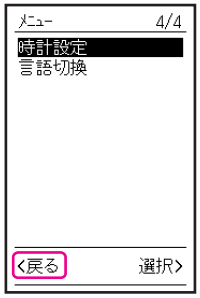
設定を確定する、
または、
取り消すには、
左ボタンを
押します。

20 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。
設定が有効になります。
※設定を取り消す場合は、
上下ボタンを押して
「いいえ」を反転表示し、
右ボタンで
確定します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

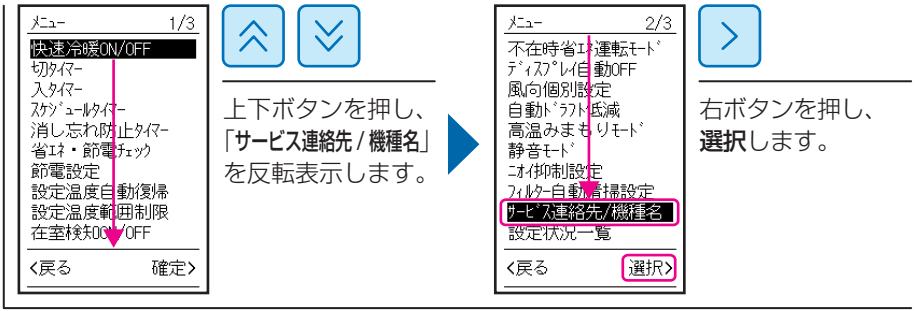
■サービス連絡先と機種名を確認する

サービス連絡先と機種名を表示します。

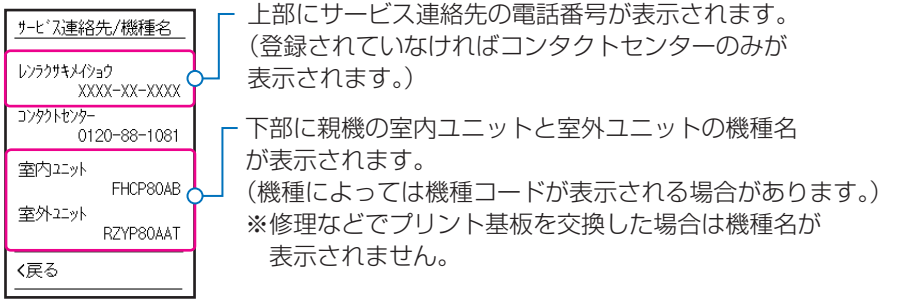
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

●画面右上に R32 アイコンが表示されることがあります。(接続中のシステムがすべて R32 冷媒対応機種の場合に表示されます。それ以外は表示されません。)

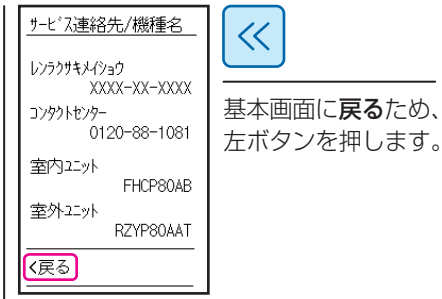
1 サービス連絡先/機種名を選択



2 サービス連絡先と機種名を確認



3 基本画面に戻る



■設定状況一覧の操作方法

設定可能な項目の設定状況一覧を表示します。

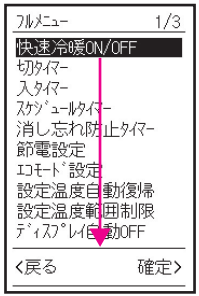
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

■表示される設定項目

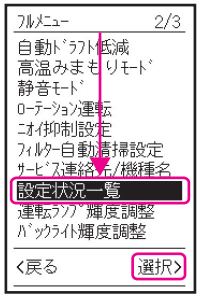
サーキュレーション気流	消し忘れ防止タイマー	在室検知ON/OFF	フィルター自動清掃
換気量	節電モード	不在時省エネ運転モード	
換気モード	節電モード状態	自動ドラフト低減	
加湿換気	エコモード設定	自動風あて・風よけ	
調湿モード	待機電力低減	高温みまもりモード	
切タイマー	ディスプレイ自動OFF	ローテーション運転	
入タイマー	設定温度自動復帰	快速冷暖ON/OFF	
スケジュールタイマー	設定温度範囲制限	静音モード	

※機種によっては表示項目が異なります。設定可能項目のみ表示されます。

1 設定状況一覧を選択

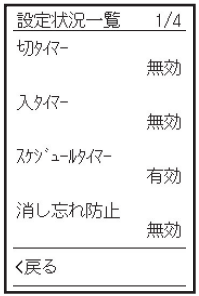


上下ボタンを押し、「**設定状況一覧**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 設定を確認



上下ボタンを押し、各設定を表示します。

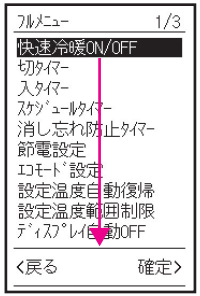
■表示言語を切り換える

リモコンの表示言語(日本語・英語・中国語)を切り換えます。

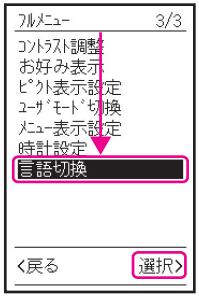
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

例）日本語表示を
英語表示に
切り換える場合

1 言語切換を選択



上下ボタンを押し、
「**言語切換**」を
反転表示します。

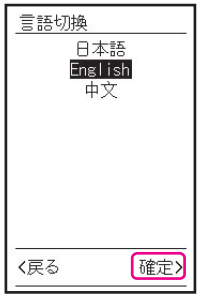


右ボタンを押し、
選択します。

2 表示言語を選択

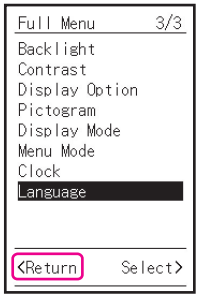
上下ボタンを押し、
「**English**」を
反転表示します。

3 設定を確定



右ボタンを押し、
設定を**確定**します。

設定完了



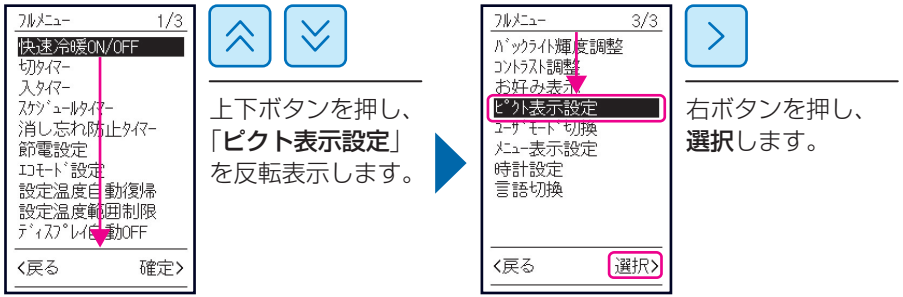
基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

■画面表示をピクト表示に変更する

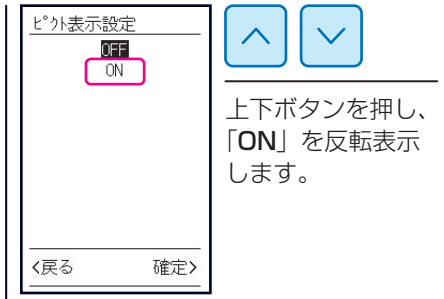
基本操作画面をピクトグラムで表示します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

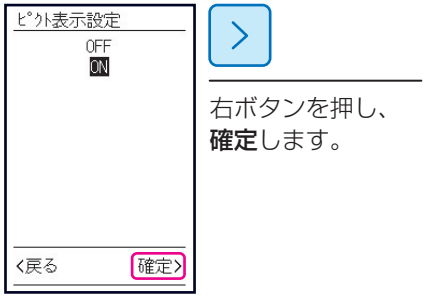
1 ピクト表示設定を選択



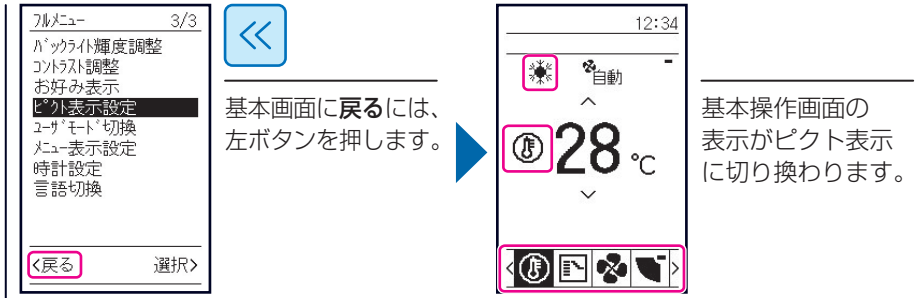
2 ONを選択



3 設定を確定



4 表示の確認



■メニュー表示設定

メニューに表示する項目を「**なし**」・「**標準**」・「**詳細**」から選択します。

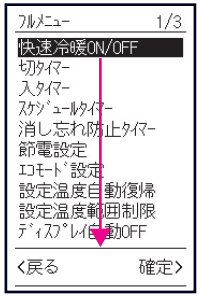
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

なし	メニュー画面そのものを表示しません。
標準	よく使うメニューのみを表示します。
詳細	設定可能なすべてのメニューを表示します。

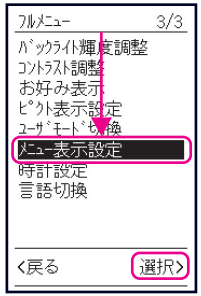
※初期設定では、「標準」表示設定となっています。

例）メニュー表示を「詳細」にする

1 メニュー表示設定を選択

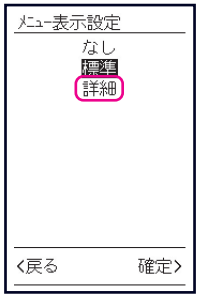


上下ボタンを押し、「**メニュー表示設定**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 詳細を選択

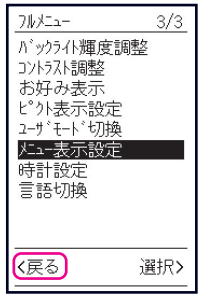


上下ボタンを押し、「**詳細**」を反転表示します。

3 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了

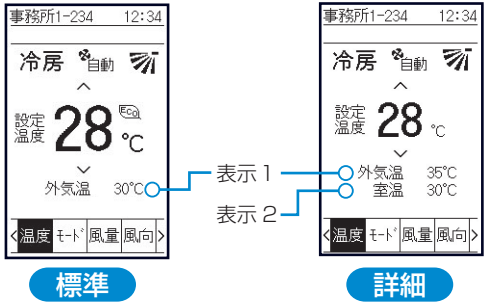


基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■お好み表示で表示設定をする

基本画面に選択した項目を表示することができます。
<なし・外気温・室温・系統・室内湿度・外気湿度・CO_2濃度・冷暖選択権無・連絡先電話番号・コンタクトセンター電話番号>

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。



●表示項目
下記の項目を表示することができます。

なし・外気温・室温・系統・
室内湿度・外気湿度・CO_2濃度・
冷暖選択権無・連絡先電話番号・
コンタクトセンター電話番号

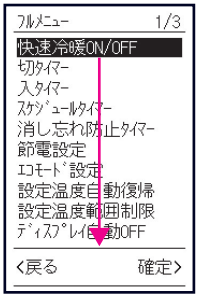
●お好み表示で選択した機能がお使いのユニットにない場合は、値が表示されません。

●選択した機能をもっているユニットであっても機種によっては表示できない場合があります。

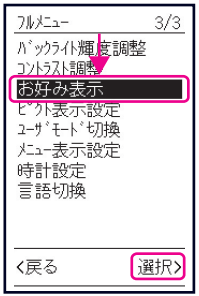
●全熱交換器ユニットや調湿外気処理ユニットが接続されていると、換気モードと調湿モードを優先して表示します。
(標準表示では表示1、詳細表示では表示2が表示されなくなります。)

例）標準モード時に外気湿を表示させる

1 お好み表示を選択

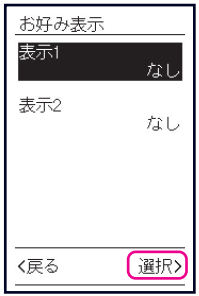


上下ボタンを押し、「**お好み表示**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 表示1を選択

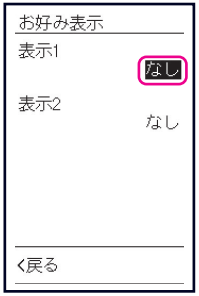


右ボタンを押し、**選択**します。

■お好み表示で表示設定をする

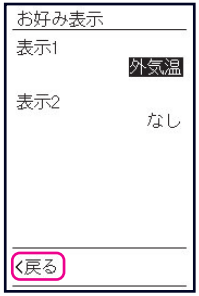
基本画面に選択した項目を表示することができます。
<なし・外気温・室温・系統・室内湿度・外気湿度・CO_2濃度・冷暖選択権無・連絡先電話番号・コンタクトセンター電話番号>

3 外気湿を選択



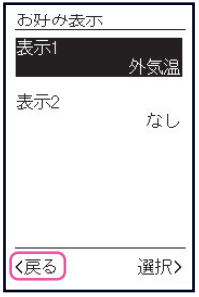
上下ボタンを押し、「**外気湿**」を反転表示します。

4 表示選択画面に戻る



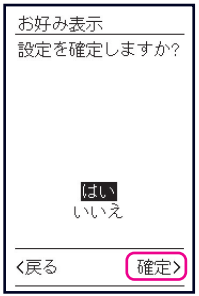
前の画面に**戻る**ため、左ボタンを押します。

5 設定の確定に移行



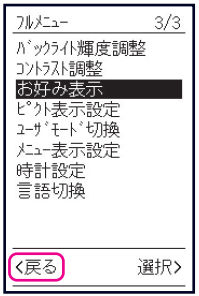
設定を確定する、または、取り消すには、左ボタンを押します。

6 設定を確定



右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

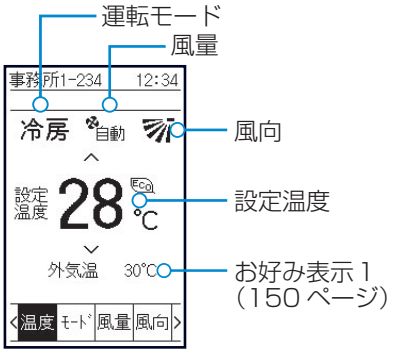
7 設定の確認

基本画面に「**外気湿**」が表示されます。

■ユーザモードを切り換える

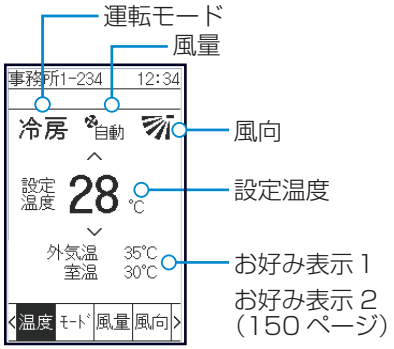
基本画面を４つの表示モードに切り換えることが可能です。

標準



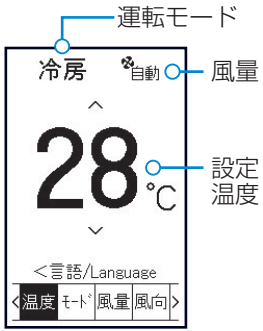
詳細

●お好み表示をもう１種類追加できます。



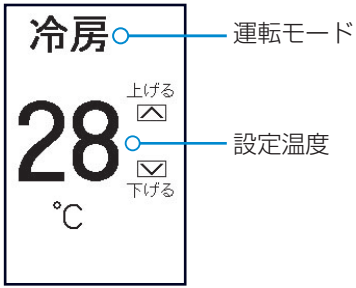
ホテル向け

●標準モードよりもシンプルな表示です。
●設定温度・運転モード・風量・風向の設定と、言語を切り換えることができます。
●メニュー操作はできません。



かんたん

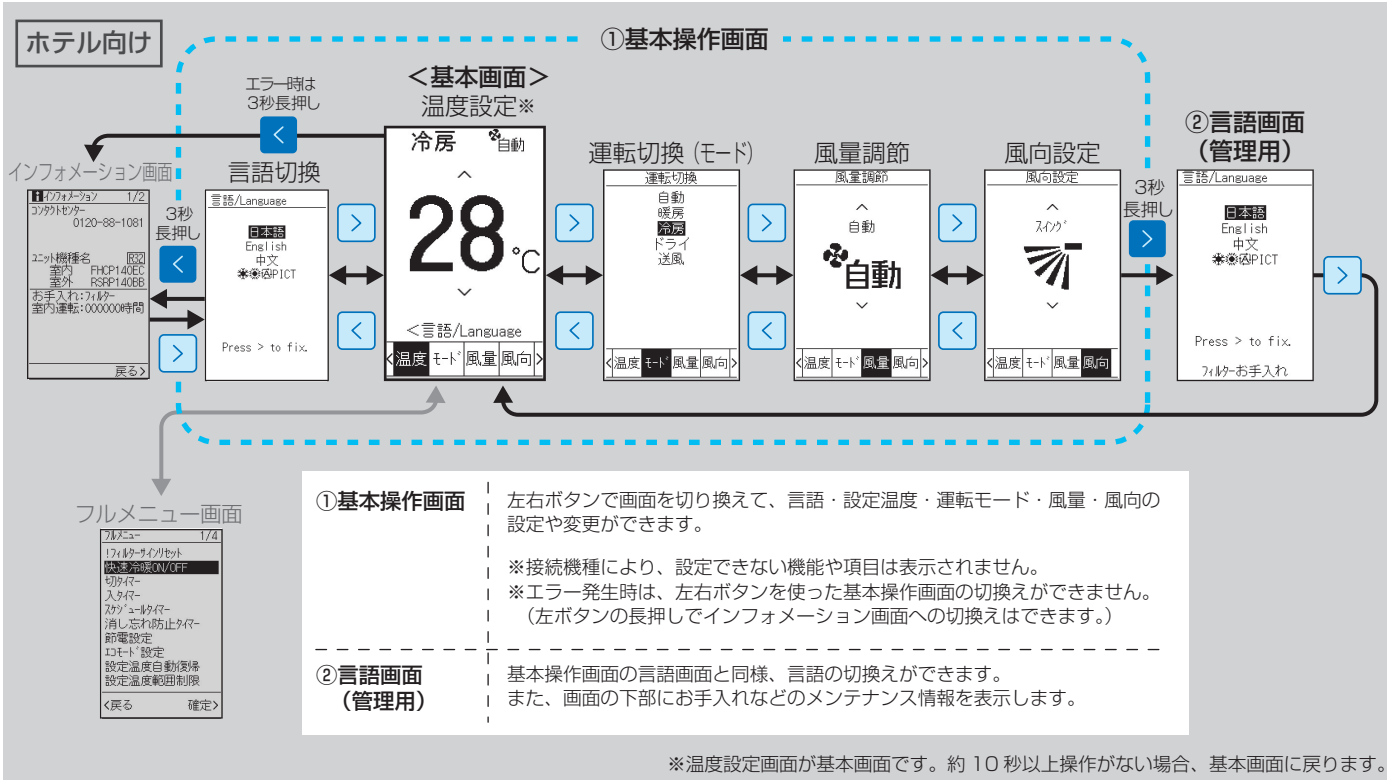
●設定温度と運転モードのみを表示します。



■ユーザモードを切り換える

ホテル向けモードは、ホテルの客室で使用することを想定した画面表示です。

清掃係や客室係などの従業員の方は、長押し操作で②言語画面(管理用) を表示し、
言語の切換やメンテナンス情報の確認ができます。



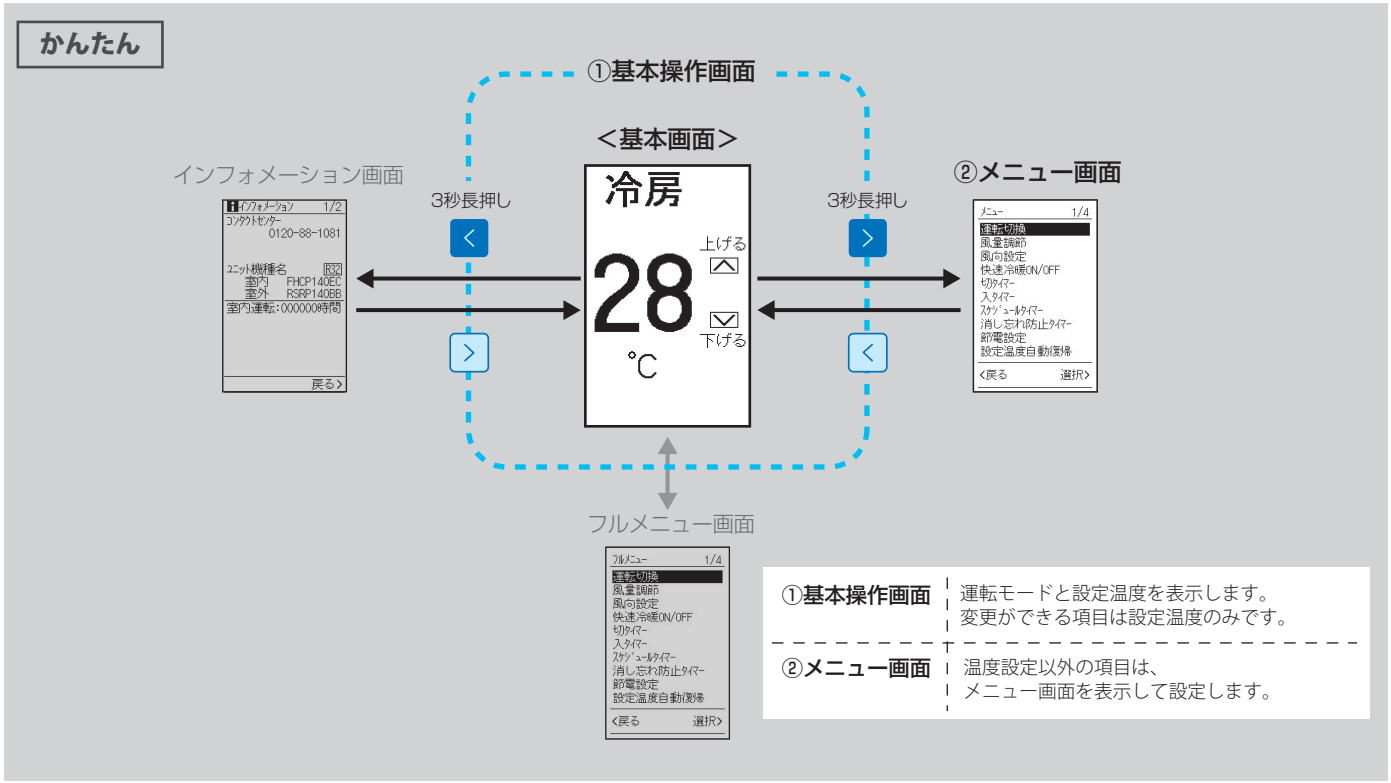
①基本操作画面	左右ボタンで画面を切り換えて、言語・設定温度・運転モード・風量・風向の設定や変更ができます。 ※接続機種により、設定できない機能や項目は表示されません。 ※エラー発生時は、左右ボタンを使った基本操作画面の切換えができません。（左ボタンの長押しでインフォメーション画面への切換えはできます。）
②言語画面（管理用）	基本操作画面の言語画面と同様、言語の切換えができます。 また、画面の下部にお手入れなどのメンテナンス情報を表示します。

※温度設定画面が基本画面です。約 10 秒以上操作がない場合、基本画面に戻ります。

■ユーザモードを切り換える

かんたんモードは、設定温度と運転モードのみを表示したもっともシンプルな画面です。

基本画面では設定温度のみ設定できます。温度設定以外の項目は、メニュー画面で設定してください。



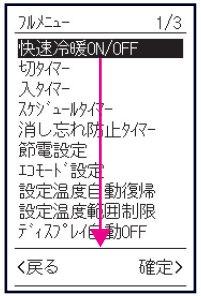
■ユーザモードを切り換える

基本画面を４つの表示モードに切り換えることが可能です。

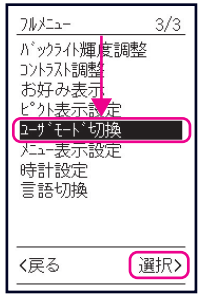
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

例）詳細モードに切り換える

1 ユーザモード切換を選択

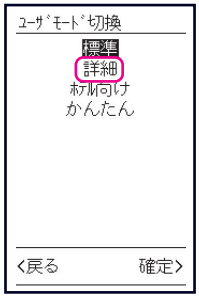


上下ボタンを押し、「**ユーザモード切換**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 詳細を選択

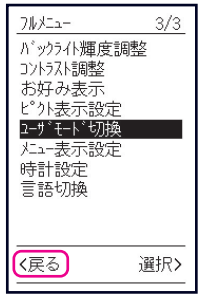


上下ボタンを押し、「**詳細**」を反転表示します。

3 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



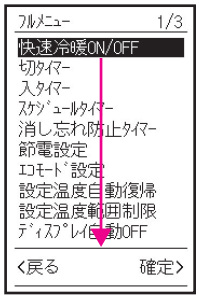
基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■コントラストの調整をする

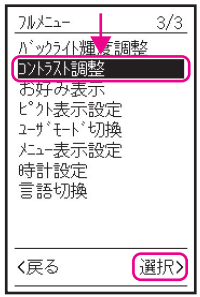
液晶の濃度調整を行います。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

1 コントラスト調整を選択

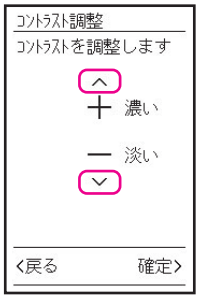


上下ボタンを押し、「**コントラスト調整**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

2 コントラストを調整

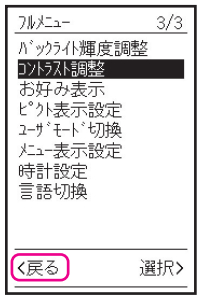


上下ボタンを押し、コントラストを調整します。

3 設定を確定

右ボタンを押し、**確定**します。

設定完了



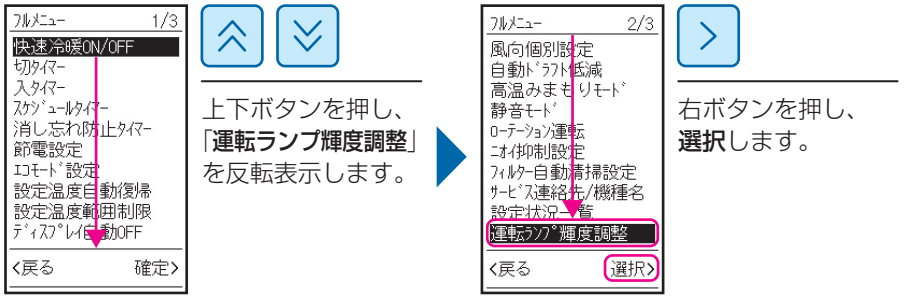
基本画面に**戻る**には、左ボタンを押します。

■運転ランプの輝度を調整をする

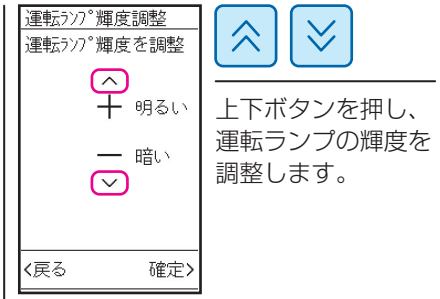
運転ランプの明るさを調整します。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

1 運転ランプ輝度調整を選択

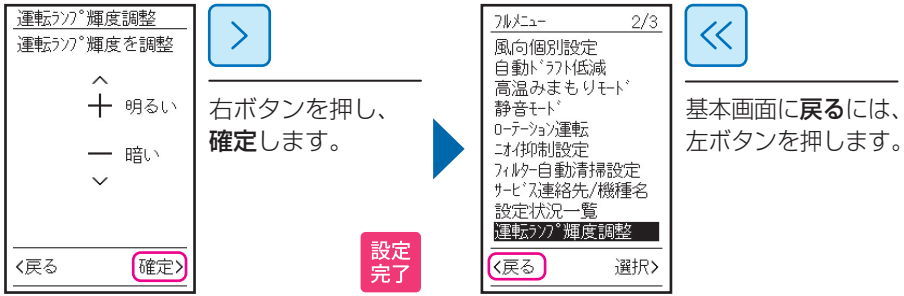


2 輝度を調整



※暗くしすぎると運転ランプの点灯が見えにくくなるのでご注意ください。

3 設定を確定



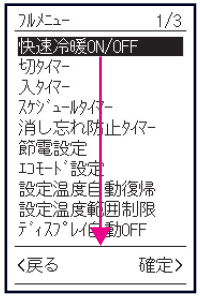
■バックライトの輝度を調整する

バックライトの明るさを調整します。

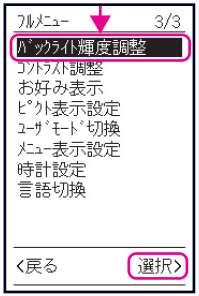
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

例）文字が見えにくいので
バックライトの明るさを
調整する

1 バックライト輝度調整を選択

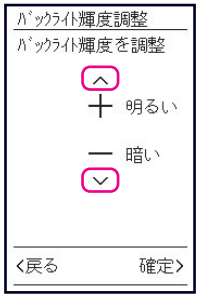


上下ボタンを押し、
「**バックライト輝度調整**」
を反転表示します。



右ボタンを押し、
選択します。

2 輝度を調整

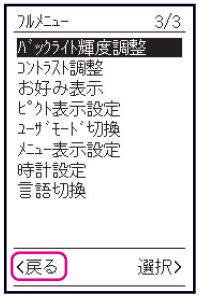


上下ボタンを押し、
バックライトの
輝度を調整します。

3 設定を確定

右ボタンを押し、
確定します。

設定完了



基本画面に**戻る**には、
左ボタンを押します。

お手入れについて

■脱臭フィルターサインをリセットする

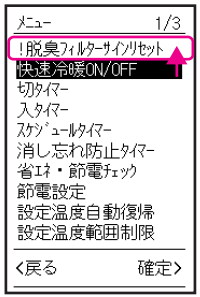
基本画面に「**脱臭フィルター交換**」が表示されたら、脱臭フィルターを交換してください。
交換後はこの表示を消す(リセットする)ために、次の操作をしてください。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

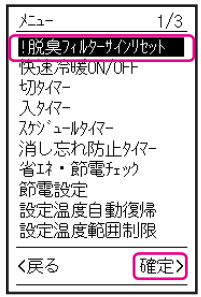
1 基本画面の確認

基本画面に「**脱臭フィルター交換**」が表示されたら、脱臭フィルターを交換し、サインのリセットを行ってください。
詳細は空気清浄ユニットの取扱説明書をご覧ください。

2 !脱臭フィルターサインリセットを選択



上下ボタンを押し、「**！脱臭フィルターサインリセット**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**確定**します。

!脱臭フィルターサインリセットを選択

基本画面から「**脱臭フィルター交換**」の表示が消えます。

■フィルター交換サインをリセットする

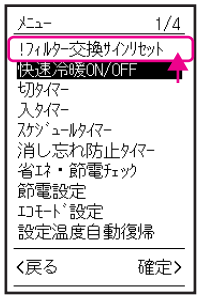
基本画面に「**フィルター交換**」が表示されたら、フィルターを交換してください。
交換後はこの表示を消す(リセットする)ために、次の操作をしてください。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

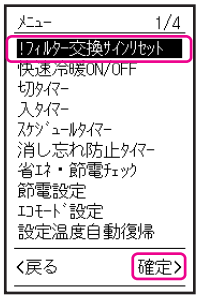
1 基本画面の確認

基本画面に「**フィルター交換**」が表示されたら、フィルターを交換し、サインのリセットを行ってください。
詳しくは室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

2 !フィルター交換サインリセットを選択



上下ボタンを押し、「**！フィルター交換サインリセット**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**確定**します。

!フィルター交換サインリセットを選択

基本画面から「**フィルター交換**」の表示が消えます。

■フィルターサインをリセットする

基本画面に「**フィルターお手入れ**」または「**エレメントお手入れ**」が表示されたら、お手入れをしてください。
お手入れ後はこの表示を消す（リセットする）ために、次の操作をしてください。

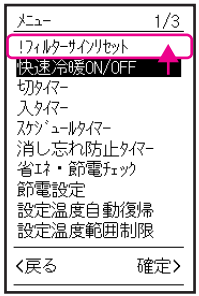
※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」（17ページ）を参照してください。

1 基本画面の確認

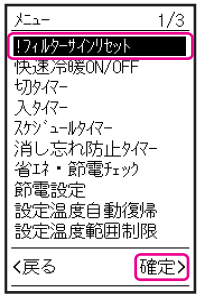
基本画面に「**フィルターお手入れ**」または、「**エレメントお手入れ**」が表示されたら、フィルターまたはエレメントを洗浄・清掃し、サインのリセットを行ってください。

フィルターについては室内ユニット、エレメントについては空気清浄ユニットの取扱説明書をご覧ください。

2 !フィルターサインリセットを選択



上下ボタンを押し、「**！フィルターサインリセット**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**確定**します。

基本画面から「**フィルターお手入れ**」または、「**エレメントお手入れ**」の表示が消えます。

■ダストボックスサインをリセットする

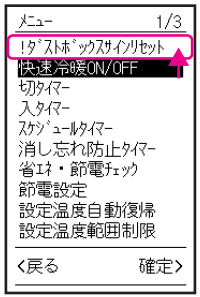
基本画面に「**ホコリ回収**」が表示されたら、ダストボックスのホコリを回収してください。
回収後はこの表示を消す(リセットする)ために、次の操作をしてください。

※メニュー画面の表示のしかたは、「**■画面を切り換える**」(17ページ)を参照してください。

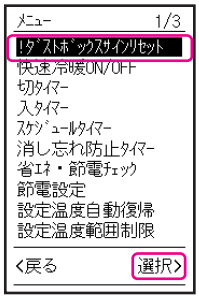
1 基本画面の確認

基本画面に「**ホコリ回収**」が表示されたら、ダストボックスのホコリを回収し、サインのリセットを行ってください。

2 !ダストボックスサインリセットを選択

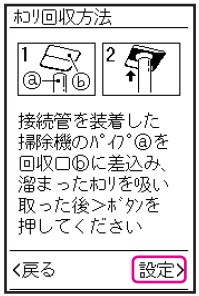


上下ボタンを押し、「**！ダストボックスサインリセット**」を反転表示します。



右ボタンを押し、**選択**します。

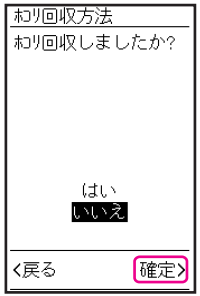
3 リセット設定に移行



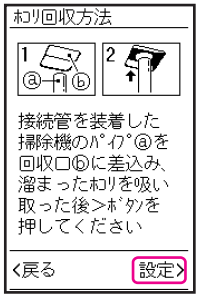
右ボタンを押し、**設定**します。

ホコリ回収が完了の場合は、手順 ***5*** に進みます。

4 ホコリの回収が未完



「**いいえ**」が反転表示した状態で、右ボタンを押し、**確定**します。

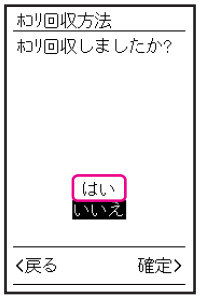


ホコリの回収後に、右ボタンを押し、**設定**します。

■ダストボックスサインをリセットする

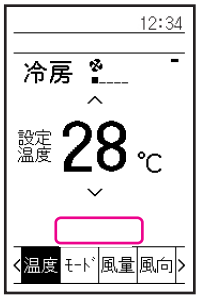
基本画面に「**ホコリ回収**」が表示されたら、ダストボックスのホコリを回収してください。
回収後はこの表示を消す(リセットする)ために、次の操作をしてください。

5 ホコリの回収が完了



上下ボタンを押し、
「**はい**」を選択します。

右ボタンを押し、
確定します。



基本画面から
「**ホコリ回収**」の
表示が消えます。

■液晶表示部・本体のお手入れのしかた

●リモコンの液晶表示部および本体が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
●汚れがとれないときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞り
汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い

●シンナー・有機溶剤・強酸系などは使用しないでください。

⚠ 警　告

禁止　**可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない**
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

知っておいてください

■エラーコードの表示方法について

次の場合は販売店にご連絡ください。

⚠ 警　告

異常時（焦げ臭いなど）は、
運転を停止して
電源ブレーカーを遮断する

異常のまま運転を続けると、
故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。

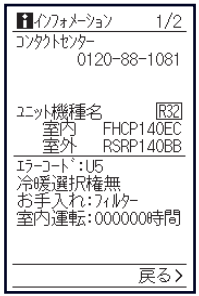
エラーの場合、ユーザモードごとに、基本画面に次の表示が点滅します。

●標準・詳細の場合
『**エラー：<を押す**』　※運転ランプの点滅あり
『**警報：<を押す**』　※運転ランプの点滅なし

●ホテル向けの場合
『**エラー発生中**』　※運転ランプの点滅あり

●かんたんの場合
『**エラー発生中**』　※運転ランプの点滅あり
『**警報発生中**』　※運転ランプの点滅なし

1　インフォメーション画面を表示



左ボタンを押し、
インフォメーション
画面を表示します。
※ホテル向け·かんたん
の場合は左ボタンを
3秒長押しします。

●次の情報が表示されます。
画面上段・・・連絡先と接続しているユニット機種名
画面下段・・・エラーコード（点滅）とその他の設定情報・お手入れ情報など

●お買い上げの販売店またはコンタクトセンターに、「エラーコード」「機種名」をお知らせください。

※「ユニット機種名」が表示されない場合もあります。（プリント基板を交換した場合など）
「ユニット機種名」が表示されない場合は、保証書に記載の「機種名」をお知らせください。

■故障かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

症状		原因と処置
運転しない	停止後、すぐに再運転したいとき	運転ランプ点灯であれば正常です。 機械に無理がかからないよう制御しているためです。 約3～5分後に自動で運転を開始します。
	上下ボタンで温度調節して、 すぐ元に戻したとき	
	電源を入れた直後	運転準備のためです。 複数台で運転するシステムの場合、約10分間お待ちください。
	室外ユニットが停止	室温が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転となります。
ときどき止まる	エラー内容に「U4」「U5」と 表示される	エアコン以外の機器からのノイズによりユニット間の通信が 遮断されて停止しているためです。 ノイズがなくなると自動で運転を再開します。
風量が設定どおりに ならない	風量調節を行っても風量が 変わらない	暖房時、室温が設定温度に達したときは、 室内ユニットは微風運転となります。
風向が設定どおりに ならない	冷房時、リモコンの風向表示と 風向羽根の向きが異なる	下吹出しに設定されていると羽根がぬれないように一定の間、 水平方向となります。
	暖房時、リモコンの風向表示と 風向羽根の向きが異なる	運転開始直後や設定温度により室温が高いときに不快な風が 当たらないように風向を制御しているためです。

■故障かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

症状		原因と処置
設定温度が変わってしまう	「自動冷房」「自動暖房」運転表示中	冷房と暖房が切り換わると自動で設定温度も変更されるように制御しているためです。
	一定時間後、同じ設定温度に変わる	設定温度自動復帰が設定されているためです。管理者にご相談ください。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき（油分やホコリの多い場所）	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。内部の洗浄が必要ですので、販売店にご相談ください。
	除霜運転中および除霜終了後暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。
音が出る	運転開始直後の「ジーン」という音	風向羽根を動かす電動機が作動している音です。約1分で音が小さくなります。
	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音	エアコン内部にガス（冷媒）が流れている音です。
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス（冷媒）の流れが止まる音、および流れが変わる音です。

■故障かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

症状		原因と処置
音が出る	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排水装置が作動している音です。
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。
	(室内ユニット)電源を入れた直後の「ジーン」という音	複数台で運転するシステムの場合、室内ユニットに流れるガス(冷媒)の流量を調整する弁が作動する音です。 約1分で音が小さくなります。
	(室内ユニット)停止中に出る「サー」、「チョロチョロ」というかすかな音	複数台で運転するシステムの場合、ほかの室内ユニットが運転しているときに発生します。 油や冷媒が滞留するのを防ぐための音です。
	(室内ユニット)運転音の音程が変わる	圧縮機が回転数を変更するためです。
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。
においが出る	運転中	部屋のにおい、たばこのにおいなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。

■故障かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

症状		原因と処置
冷暖の運転切換ができない	リモコンの基本画面下部に冷暖選択権無のアイコンが表示されているとき	このリモコンでは冷暖切換ができません。 冷暖選択権無のアイコン表示がないリモコンから操作してください。
ドレン水が出る	暖房運転中	空気中に含まれる水分が室外ユニット熱交換器に結露するためです。
	除霜運転中	暖房運転中に室外ユニット熱交換器に付いた霜が溶けて流れでてくるためです。
室外ユニット内部が熱い	停止中	機械の始動を円滑にするため、圧縮機を暖めているためです。
室外ユニット圧縮機が止まらない	運転停止後	油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。 約5～10分間で停止します。
室外ファンが止まらない	運転停止後	油や冷媒が滞留するのを防ぐためです。 約5～10分間で停止します。
室外ファンが回らない	運転中	製品の運転を最適な状態にするためにファンの回転数を制御しているからです。
停止しているのに暖気が出る	停止中に暖かい空気を感じる	複数台で運転するシステムの場合、ほかの室内ユニットを運転しているとき、停止機にわずかな冷媒を流しているからです。

■故障かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

※お使いのユニットによっては、表示される項目が異なります。

表示された症状と同じであれば、故障ではありません。

症状		原因と処置
運転するとすぐに止まる	室内、室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか?	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか?	エアフィルターの清掃をしてください。
よく冷えない、よく暖まらない	室内、室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか?	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか?	エアフィルターの清掃をしてください。
	「ドライ」運転表示中	マイコンドライ運転は、室温をできるだけ下げないような運転をするためです。
	節電中または Ⓢ マークが点灯している	節電・静音モードで運転中、または外部から運転制御中で、能力を制限した運転をしています。

■アフターサービスについて

⚠ 警　告

分解や改造・修理をしない
故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- ●機種名
- ●据付年月日
- ●故障状況 —— できるだけ詳しく
- ●ご住所、お名前、お電話番号

■移設について

専門の技術が必要ですので必ずお買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。なお、この場合は、移設に必要な実費をいただきます。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
（保証期間…据付け日から 1 年）

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日　　年　　月　　日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター
（お客様総合窓口）

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。
（修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など）

1205

ダイキン工業株式会社

本　　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル　　東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル
郵便番号　530-8323　　郵便番号　108-0075

3P474632-1　M16A015　[1701] HT